

大学番号：国039

注3

[平成28年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

意見伺い

福井大学 国際地域学部

注2

## 【意見伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 福井大学  
令和元年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名 総合戦略部門経営戦略課

職名・氏名 キカクタントウ シュサ コイケ ミズエ  
企画担当 主査・小池 瑞絵

電話番号 0776-27-8055

（夜間） 0776-27-8055

F A X 0776-27-8518

e-mail s-keiei@ad.u-fukui.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に  
( ) 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 国際地域学部

＜国際地域学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	29
4. 既設大学等の状況	30
5. 教員組織の状況	32
6. 附帯事項等に対する履行状況等	63
7. その他全般的事項	69

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 福井大学

## (2) 大学名

福井大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒910-8507

福井県福井市文京3丁目9番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(マユミ ミツフミ) 眞弓 光文 (平成25年4月)	(ウエダ タカノリ) 上田 孝典 (平成31年4月)	平成31年3月31日任期満了に伴い交代(元)
学部長	(テラオカ ヒデオ) 寺岡 英男 (平成28年4月)	(キムラ リョウ) 木村 亮 (平成30年4月)	平成29年3月31日任期満了に伴い交代(30)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。  
 ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)  
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
国際地域学部 国際地域学科 学士(国際地域)	学際領域	4年	60人	0人	240人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	60 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	60 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	60 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	1.05倍	- 倍	
志願者数	- ( ) [ ]	- ( ) [ ]	227 ( ) [ ]	- ( ) [ ]	245 ( ) [ ]	- ( ) [ ]	223 ( ) [ ]	- ( ) [ ]	372 ( ) [ ]	- ( ) [ ]			
受験者数	- ( ) [ ]	- ( ) [ ]	152 ( ) [ ]	- ( ) [ ]	144 ( ) [ ]	- ( ) [ ]	138 ( ) [ ]	- ( ) [ ]	236 ( ) [ ]	- ( ) [ ]			
合格者数	- ( ) [ ]	- ( ) [ ]	73 ( ) [ ]	- ( ) [ ]	70 ( ) [ ]	- ( ) [ ]	72 ( ) [ ]	- ( ) [ ]	72 ( ) [ ]	- ( ) [ ]			
B 入学者数	- ( ) [ ]	- ( ) [ ]	64 ( ) [ ]	- ( ) [ ]	61 ( ) [ ]	- ( ) [ ]	65 ( ) [ ]	- ( ) [ ]	63 ( ) [ ]	- ( ) [ ]			
入学定員超過率 B/A	-		1.06		1.01		1.08		1.05				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。  
 ・ ( ) 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ [ ] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。  
 ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	-	-	64	-	61	-	65	-	63				
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ 3 ]	[ ]	[ ]	[ ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
2年次	/		-	-	64	-	61	-	65				
			[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ ]	[ ]	
			( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
3年次	/		/		-	-	63	-	61				
					[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ ]	[ ]	
					( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
4年次	/		/		/		-	-	62				
							[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ ]	[ ]		
							( - )	( - )	( - )	( - )	( - )		
計	-		64		125		189		251				
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ 3 ]	[ ]	[ ]		
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成27年度	— 人	— 人	平成27年度	— 人	— 人	
平成28年度	64 人	0 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	0 人	0 人	
平成29年度	125 人	1 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	1 人	0 人	進路再考のため
			平成29年度	0 人	0 人	
平成30年度	189 人	1 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	1 人	0 人	除籍
			平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
令和元年度	251 人	0 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	0 人	0 人	
			平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
合 計		2 人		2 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{64} = \boxed{0} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{125} = \boxed{0.8} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{189} = \boxed{0.52} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{251} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<国際地域学部 国際地域学科>

### (1) ① 授業科目表

#### 【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
入門科目	大学教育入門セミナー	1①・②	2			3	4	2				
	小計(1科目)	—	2	0	0	3	4	2	0	0	0	
基礎教育科目	情報処理基礎	1①・②	2				1					
	英語 I	1①	1						1		2	
	英語 II	1①	1								3	
	英語 III	1①	1				1				2	
	英語 IV	1①	1						2		1	
	英語 V	1②	1						1		2	
	英語 VI	1②	1								3	
	英語 VII	1②	1				1				2	
	英語 VIII	1②	1					2			1	
	ドイツ語 I	2①		1			1					
	ドイツ語 II	2②		1			1					
	ドイツ語 III	2③		1			1					
	ドイツ語 IV	2④		1			1					
	フランス語 I	2①		1		1						
	フランス語 II	2②		1		1						
	フランス語 III	2③		1		1						
	フランス語 IV	2④		1		1						
	中国語 I	2①		1			1					1
	中国語 II	2②		1			1					
	中国語 III	2③		1								1
	中国語 IV	2④		1								1
	日本語 A	3①・②		1								1
	日本語 B	3③・④		1								1
	日本語 C	3①・②		1								1
	日本語 D	3③・④		1								1
	日本語 E	3①・②		1								1
	日本語 F	3③・④		1								1
	日本語 G	3①・②		1								1
	日本語 H	3③・④		1								1
小計(29科目)	—	10	20	0	1	5	0	2	0	0	10	
共通教育科目	<地域コア科目群>											
	ものづくり・産業展開・技術経歴分野											
	現代社会とビジネス	2①・②		2								1
	現代社会とキャリア・アントレプレナーシップ	2③・④		2								1
	科学技術と社会	2①・②		2								1
	衣生活の現状	2①・②		2								1
	ロボットの知能と学習	2①・②		2								1
	進化する繊維の技術	2①・②		2								3
	現場で役立つ機器分析	2①・②		2								1
	半導体の科学	2③・④		2								1
	繊維の世界	2③・④		2								5
	新素材の世界	2③・④		2								3
	持続可能な社会・環境づくり分野											
	こども環境学入門	2③・④		2								1
	環境問題と社会	2①・②		2								0
	まちづくり論	2①・②		2								3
	都市と建築の環境	2③・④		2								4
	科学技術と環境	2①・②		2								4
	科学技術と倫理	2③・④		2								1
	地域の局地気象	2①・②		2								1

#### 【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
入門科目	大学教育入門セミナー	1①・②	2			3	4	2				
	小計(1科目)	—	2	0	0	3	4	2	0	0	0	
基礎教育科目	情報処理基礎	1①・②	2				1					
	英語 I	1①	1						1		2	
	英語 II	1①	1								3	
	英語 III	1①	1				1				2	
	英語 IV	1①	1						2		1	
	英語 V	1②	1						1		2	
	英語 VI	1②	1								3	
	英語 VII	1②	1				1				2	
	英語 VIII	1②	1					2			1	
	ドイツ語 I	2①		1			1					
	ドイツ語 II	2②		1			1					
	ドイツ語 III	2③		1			1					
	ドイツ語 IV	2④		1			1					
	フランス語 I	2①		1		1						
	フランス語 II	2②		1		1						
	フランス語 III	2③		1		1						
	フランス語 IV	2④		1		1						
	中国語 I	2①		1			1					1
	中国語 II	2②		1			1					
	中国語 III	2③		1								1
	中国語 IV	2④		1								1
	日本語 A	3①・②		1								1
	日本語 B	3③・④		1								1
	日本語 C	3①・②		1								1
	日本語 D	3③・④		1								1
	日本語 E	3①・②		1								1
	日本語 F	3③・④		1								1
	日本語 G	3①・②		1								1
	日本語 H	3③・④		1								1
小計(29科目)	—	10	20	0	1	5	0	2	0	0	10	
共通教育科目	<地域コア科目群>											
	ものづくり・産業展開・技術経歴分野											
	現代社会とビジネス	2①・②		2								1
	現代社会とキャリア・アントレプレナーシップ	2③・④		2								1
	科学技術と社会	2①・②		2								1
	衣生活の現状	2①・②		2								1
	ロボットの知能と学習	2①・②		2								1
	進化する繊維の技術	2①・②		2								4
	現場で役立つ機器分析	2①・②		2								1
	半導体の科学	2③・④		2								1
	繊維の世界	2③・④		2								5
	新素材の世界	2③・④		2								3
	地方創生推進モデルの事例研究—前江学—	2③・④		2								1
	ふくいを知る・見る・考える II	2③・④		2								1
	持続可能な社会・環境づくり分野											
	こども環境学入門	2③・④		2								1
	環境問題と社会	2①・②		2								0
	まちづくり論	2①・②		2								3
	都市と建築の環境	2③・④		2								4
	科学技術と環境	2①・②		2								4
科学技術と倫理	2③・④		2								1	
地域の局地気象	2①・②		2								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通教育科目	自然史と生物	2①・②	2								1
	日本海地域の自然と環境	2①・②	2								1
	地球の環境	2③・④	2								1
	福井の経済と経営者	2①・②	2								1
	コミュニティと住民組織	2①・②	2				1				
	地域科学コミュニケーション	2①・②	2								2
	原子力・エネルギー分野										
	電磁波と物質	2①・②	2								4
	エネルギー科学	2③・④	2								1
	生活の中の熱とエネルギー	2③・④	2								1
	熱と流れ	2③・④	2								2
	エネルギーと環境	2③・④	2								1
	災害の科学	2③・④	2								6
	災害ボランティア論	2③・④	2								1
	東日本大震災をどう受け止めるか	2③・④	2			1					4
	放射線利用－医学と産業－	2①・②	2								6
	地域の防災・危機管理	2①・②	2								3
	<教養教育科目群>										
	人間情報・英語コミュニケーション分野										
	批判的思考を伸ばす	2①・②	2								1
	「社会がわかる」とは？	2①・②	2								1
	心を探る（人間関係論）	2①・②	2								1
	こころの発達と健康	2①・②	2								1
	人間の科学特別演習A（教育学）	2③・④	2								1
	人間の科学特別演習B（心理学）	2③・④	2								3
	人間の科学特別演習C（障害児）	2③・④	2								2
	子どもと学校	2③・④	2								1
	教えることと学ぶこと	2③・④	2								1
	生まれること、産むこと	2①・②	2								1
	健康科学・医科学概論	2③・④	2								15
	ニューススポーツと健康生活	2①・②	2								1
	アウトドアスポーツとバリアフリー	2①・②	2								1
	健康メディアリテラシー	2③・④	2								1
	ネット型球技（バレーボール）指導の理論と実際	2③・④	2								0
	哲学的人間学Ⅰ	2③・④	2								1
	哲学的人間学Ⅱ	2③・④	2								1
	日本思想	2①・②	2								1
	宗教と哲学	2①・②	2								1
	哲学入門	2①・②	2			1					
	哲学とは何か	2③・④	2				1				1
スピーキングⅠ	2①・②	2				1					
リスニングⅡ	2①・②	2					1			1	
ライティングⅠ	2①・②	2						1		1	
ライティングⅡ	2③・④	2				1					
リーディング	2③・④	2								1	
ヨーロッパの言語事情	2①・②	2			1						
多文化コミュニケーションA（異文化コミュニケーションA）	2③・④	2								1	
多文化コミュニケーションB（日本語コミュニケーションB）	2①・②	2								1	
多文化コミュニケーションC（異文化コミュニケーションC）	2①・②	2								1	
言語生活論	2①・②	2								1	
言語表現	2③・④	2								1	
応用日本語Ⅰ	2①・②	2								1	
応用日本語Ⅱ	2③・④	2								1	
中国語の世界1	2①・②	2								1	
中国語の世界2	2③・④	2								1	
中国語の世界3	2①・②	2				1				1	
中国語の世界4	2③・④	2				1				1	

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通教育科目	自然史と生物	2①・②	2								1
	日本海地域の自然と環境	2①・②	2								1
	地域の自然と環境（福井や日本海地域を中心に）	2①・②	2								1
	地球の環境	2③・④	2								1
	福井の経済と経営者	2①・②	2								1
	コミュニティと住民組織	2③・④	2					1			
	地域科学コミュニケーション	2①・②	2								2
	これからの地方創生と経営学	2①・②	2								1
	ふくいを知る・見る・考える	2①・②	2								1
	原子力・エネルギー分野										
	電磁波と物質	2①・②	2								2
	エネルギー科学	2③・④	2								1
	生活の中の熱とエネルギー	2③・④	2								1
	熱と流れ	2③・④	2								2
	エネルギーと環境	2③・④	2								1
	災害の科学	2③・④	2								7
	災害ボランティア論	2③・④	2								1
	東日本大震災をどう受け止めるか	2③・④	2					1			5
	放射線利用－医学と産業－	2①・②	2								6
	地域の防災・危機管理	2①・②	2								3
	<教養教育科目群>										
	人間情報・英語コミュニケーション分野										
	批判的思考を伸ばす	2①・②	2								0
	「社会がわかる」とは？	2①・②	2								1
	心を探る（人間関係論）	2①・②	2								1
	こころの発達と健康	2①・②	2								1
	人間の科学特別演習A（教育学）	2③・④	2								1
	人間の科学特別演習B（心理学）	2③・④	2								3
	人間の科学特別演習C（障害児）	2③・④	2								3
	子どもと学校	2③・④	2								1
	教えることと学ぶこと	2③・④	2								1
	アクティブ・ラーニングと生涯学習	2③・④	2								4
	学問の入り口	2③・④	2								1
	生まれること、産むこと	2①・②	2								0
	健康科学・医科学概論	2③・④	2								15
	ニューススポーツと健康生活	2①・②	2								1
	アウトドアスポーツとバリアフリー	2①・②	2								1
	健康メディアリテラシー	2③・④	2								1
	ネット型球技（バレーボール）指導の理論と実際	2③・④	2								0
	哲学的人間学Ⅰ	2③・④	2								1
哲学的人間学Ⅱ	2③・④	2								1	
日本思想	2①・②	2								1	
宗教と哲学	2①・②	2								1	
哲学入門	2①・②	2			1						
哲学とは何か	2③・④	2					1			1	
スピーキングⅠ	2①・②	2					1				
リスニングⅡ	2①・②	2						1		1	
ライティングⅠ	2①・②	2							1	1	
ライティングⅡ	2③・④	2				1					
リーディング	2③・④	2								1	
ヨーロッパの言語事情	2①・②	2					1				
多文化コミュニケーションA（異文化コミュニケーションA）	2③・④	2								1	
多文化コミュニケーションB（日本語コミュニケーションB）	2①・②	2								1	
多文化コミュニケーションC（異文化コミュニケーションC）	2①・②	2								1	
言語生活論	2①・②	2								1	
言語表現	2③・④	2								1	
応用日本語Ⅰ	2①・②	2								1	
応用日本語Ⅱ	2③・④	2								1	
中国語の世界1	2①・②	2								1	
中国語の世界2	2③・④	2								1	
中国語の世界3	2①・②	2					0			1	
中国語の世界4	2③・④	2					0			1	



科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
共通教育科目 共通教養科目	ドイツ語の世界 1	2①・②	2								1
	ドイツ語の世界 2	2③・④	2								1
	ドイツ語の世界 3	2①・②	2								1
	ドイツ語の世界 4	2③・④	2								1
	フランス語の世界 1	2①・②	2				1				
	フランス語の世界 2	2③・④	2				1				
	フランス語の世界 3	2①・②	2								1
	フランス語の世界 4	2③・④	2								1
	歴史・文化理解分野										
	東洋史A（「東アジア世界」と日本）	2①・②	2								1
	東洋史B（近代日本とアジア認識）	2③・④	2								1
	日本史（中世社会の転換）	2③・④	2								1
	日本史（近世社会の展開）	2①・②	2								1
	発展途上国の人間地生態	2①・②	2			1					
	地図に見る歴史と景観	2①・②	2								1
	ラテン語とキリスト教	2①・②	2								1
	アメリカの文化	2③・④	2								1
	フランス文学入門	2①・②	2			1					
	フランスの文化A（文学と絵画）	2①・②	2				1				
	フランスの文化B（『ル・コルムとその時代』）	2③・④	2				1				
	ヨーロッパの映画	2③・④	2			1					
	ドイツの文化	2①・②	2				1				
	中国の文化	2③・④	2				1				
	中国のことば	2①・②	2				1				
	中国の古典文学	2①・②	2								1
	日本語の歴史	2③・④	2								1
	白川文字学	2③・④	2								1
	日本の文化	2①・②	2								1
	日本事情A（日本語と文化）	2①・②	2								1
	日本事情B（社会と文化）	2③・④	2								1
	近現代の音楽芸術	2①・②	2								1
	合唱の魅力を探る	2①・②	2								1
	ポピュラー音楽の魅力をさぐる	2③・④	2								1
	ピアノの魅力をさぐる	2③・④	2								1
	現代音楽入門	2③・④	2								1
	生活と美術—みる、えがく、つくる	2①・②	2								1
	造形美術の世界—表現世界の多様性	2①・②	2								1
	造形美術の世界—絵画	2①・②	2								1
	考古学入門	2③・④	2					1			
	社会経済・科学技術分野										
経済学A（金融って何だろう）	2③・④	2				1					
経済学B（現代社会とワークルール）	2①・②	2				1					
経済学C（経済学の基礎理論）	2①・②	2					1				
憲法概論	2①・②	2								1	
日本国憲法	2①・②	2								1	
社会学A（相互行為論入門）	2①・②	2				1					
社会学B（現代農村の社会学）	2③・④	2				1					
政治学A（現代政治学入門）	2①・②	2				1					
政治学B（戦後日本の政治）	2③・④	2				1					

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
共通教育科目 共通教養科目	ドイツ語の世界 1	2①・②	2								1
	ドイツ語の世界 2	2③・④	2								1
	ドイツ語の世界 3	2①・②	2								1
	ドイツ語の世界 4	2③・④	2								1
	フランス語の世界 1	2①・②	2					1			
	フランス語の世界 2	2③・④	2					1			
	フランス語の世界 3	2①・②	2								1
	フランス語の世界 4	2③・④	2								1
	こころの成長	2①・②	2								2
	教育の現場から学ぶ—学びのトットと人と現代の教育—	2③・④	2								1
	情報化社会の現在と未来	2③・④	2								2
	心理学的支援法	2③・④	2								1
	健康管理と食生活	2③・④	2								1
	歴史・文化理解分野										
	東洋史A（「東アジア世界」と日本）	2①・②	2								1
	東洋史B（近代日本とアジア認識）	2③・④	2								1
	日本史（中世社会の転換）	2③・④	2								1
	日本史（近世社会の展開）	2①・②	2								1
	発展途上国の人間地生態	2①・②	2				1				
	地図に見る歴史と景観	2①・②	2								1
	「歴史」のトリビヤ（歴史文化論から歴史教育まで）	2③・④	2								1
	ラテン語とキリスト教	2①・②	2								1
	アメリカの文化	2③・④	2								1
	フランス文学入門	2①・②	2				1				
	フランスの文化A（文学と絵画）	2①・②	2					1			
	フランスの文化B（『ル・コルムとその時代』）	2③・④	2					1			
	ヨーロッパの映画	2③・④	2				1				
	ドイツの文化	2①・②	2					1			
	中国の文化	2③・④	2					0			1
	中国のことば	2①・②	2					1			
	中国の古典文学	2①・②	2								1
	日本語の歴史	2③・④	2								1
	白川文字学	2③・④	2								1
	日本の文化	2①・②	2								1
	日本事情A（日本語と文化）	2①・②	2								1
	日本事情B（社会と文化）	2③・④	2								1
	近現代の音楽芸術	2①・②	2								1
	合唱の魅力を探る	2①・②	2								1
	ポピュラー音楽の魅力をさぐる	2③・④	2								1
	ピアノの魅力をさぐる	2③・④	2								1
現代音楽入門	2③・④	2								1	
生活と美術—みる、えがく、つくる	2①・②	2								1	
造形美術の世界—表現世界の多様性	2①・②	2								1	
造形美術の世界—絵画	2①・②	2								1	
考古学入門	2③・④	2						1			
数学史入門	2③・④	2								1	
近現代文化昆虫学	2③・④	2								1	
モノから読み解く文化財学	2③・④	2								1	
アートと地域コミュニティー	2③・④	2								1	
日本文学の楽しみ	2③・④	2								1	
社会経済・科学技術分野											
経済学A（金融って何だろう）	2③・④	2					1				
経済学B（現代社会とワークルール）	2①・②	2					1				
経済学C（経済学の基礎理論）	2①・②	2						1			
マネジメント入門	2①・②	2							1		
憲法概論	2①・②	2								1	
日本国憲法	2①・②	2								1	
主権者意識をはぐくむ	2③・④	2								1	
社会学A（相互行為論入門）	2①・②	2					1				
社会学B（現代農村の社会学）	2③・④	2					1				
政治学A（現代政治学入門）	2①・②	2					1				
政治学B（戦後日本の政治）	2③・④	2					1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	ジェンダー論	23・4	2			1						
	音と振動	21・2	2								1	
	バイオの世界	21・2	2								4	
	電子の世界	21・2	2								1	
	生体機能と化学物質	23・4	2								4	
	数値計算の考え方	21・2	2								1	
	計算機システムの基礎	21・2	2									
	生体情報工学	21・2	2								1	
	宮沢賢治と非線形科学	23・4	2								1	
	ゲームとパズルの数学	23・4	2								1	
	数学の歴史	23・4	2								1	
	数学のことで理解する物理学	23・4	2								1	
	対称性と微分方程式	21・2	2								1	
	ランダム現象の記述	23・4	2								1	
	物理と微積分	21・2	2								1	
	科学的な見方・考え方	23・4	2								2	
	植物の生活史と進化	23・4	2								1	
	ヒトの生物学	23・4	2								1	
	火山のはなし	23・4	2								1	
宇宙の成り立ち	23・4	2								1		
小計 (138科目)	—	0	276	0	8	7	3	0	0	0	148	
専門基礎科目	国際地域概論	13・4	2			7	2	2				
	小計 (1科目)	—	2	0	0	7	2	2	0	0	0	0
	<英語>											
	TOEFL対策講座	12	1			1						1
	English ReadingⅢ	13	1			1						2
	English ReadingⅣ	14	1			1						2
	English WritingⅢ	13	1			1						2
	English WritingⅣ	14	1			1						2
	英作文Ⅰ	21	1					1				1
	英作文Ⅱ	22	1					1				1
	Academic ReadingⅠ	21	1			1						2
	Academic ReadingⅡ	22	1			1						2
	Academic English WritingⅠ	23	1			1			1			
	Academic English WritingⅡ	24	1			1			1			
	<ドイツ語>											
	ドイツ言語文化講読	31・2		2		1						
	比較文化論演習	33・4		2		1						
	<フランス語>											
	現代事情講読	31・2		2		1						
フランス言語文化講読	33・4		2	1								
フランス文学講読	41・2		2	1								
<中国語>												
中国語文章表現	23・4		2		1						1	
中国語音声理解	23・4		2		1							
中国語音声表現	23・4		2		1							
応用中国語Ⅰ	33・4		2		1							
応用中国語Ⅱ	41・2		2		1							
小計 (21科目)	—	5	6	20	3	5	0	2	0	0	6	
リサーチ入門 (J)	11・2		2		1							
リサーチ入門 (E)	11・2		2								1	
統計入門	13・4		2			1					1	
情報技術基礎	13・4		2					1				
データサイエンスⅠ	21・2		2								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	ジェンダー論	23・4	2			1						
	音と振動	21・2	2									1
	バイオの世界	21・2	2									5
	電子の世界	21・2	2									1
	生体機能と化学物質	23・4	2									5
	数値計算の考え方	21・2	2									1
	計算機システムの基礎	21・2	2									2
	コンピュータと情報処理	21・2	2									2
	生体情報工学	21・2	2									1
	宮沢賢治と非線形科学	23・4	2									1
	ゲームとパズルの数学	23・4	2									1
	数学の歴史	23・4	2									1
	数学のことで理解する物理学	23・4	2									1
	対称性と微分方程式	21・2	2									1
	ランダム現象の記述	23・4	2									1
	物理と微積分	21・2	2									1
	科学的な見方・考え方	23・4	2									2
	植物の生活史と進化	23・4	2									1
	ヒトの生物学	23・4	2									1
火山のはなし	23・4	2									1	
宇宙の成り立ち	23・4	2									0	
キャリアデザイン (自分の将来について考えてみる)	23・4	2									1	
対面と直感と共感で学ぶ物理	23・4	2									1	
数学的活動	23・4	2									1	
数と方程式	21・2	2									1	
産業社会の中のセンサ技術	23・4	2									1	
小計 (164科目)	—	0	328	0	8	5	4	0	0	0	172	
専門基礎科目	国際地域概論	13・4	2			7	2	2				
	小計 (1科目)	—	2	0	0	7	2	2	0	0	0	0
	<英語>											
	TOEFL対策講座	10・2	1			1						1
	English ReadingⅢ	13	1			1						1
	English ReadingⅣ	14	1			1						1
	English WritingⅢ	13	1			1						2
	English WritingⅣ	14	1			1						2
	英作文Ⅰ	21	1					1				1
	英作文Ⅱ	22	1					1				1
	Academic ReadingⅠ	21	1			1						0
	Academic ReadingⅡ	22	1			1						0
	Academic English WritingⅠ	23	1			1			1			
	Academic English WritingⅡ	24	1			1			1			
	<ドイツ語>											
	ドイツ言語文化講読	31・2			2		1					
	比較文化論演習	33・4			2		1					
	<フランス語>											
	現代事情講読	31・2			2		1					
フランス言語文化講読	33・4			2	1							
フランス文学講読	41・2			2	1							
<中国語>												
中国語文章表現	23・4			2		0					1	
中国語音声理解	23・4			2		1						
中国語音声表現	23・4			2		1						
応用中国語Ⅰ	33・4			2		1						
応用中国語Ⅱ	41・2			2		1						
小計 (21科目)	—	5	6	20	3	4	0	0	0	0	4	
リサーチ入門 (J)	11・2		2		1							
リサーチ入門 (E)	11・2		2								1	
統計入門	13・4		2								1	
情報技術基礎	13・4		2					1				
データサイエンスⅠ	21・2		2								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
リサーチ・リテラシー科目	データサイエンスⅡ	2③・④	2			1						
	社会調査論	2③・④	2			1	1					
	地域データ分析	2③・④	2			1						
	量的データ分析	3①・②	2			1						
	質的調査法（J）	3①・②	2			1	1					
	質的調査法（E）	2③・④	2			1		3				
小計（11科目）	—	0	22	0	2	2	1	3	0	2		
日本理解科目	日本語学概論	2①	2									1
	コミュニケーションのための日本語教育論	2②	2									1
	日本史概説	2①・②	2									1
	日本の近代文学	2③・④	2									1
	日本の学校教育	3③・④	2		1							
小計（5科目）	—	2	8	0	1	0	0	0	0	0	3	
総合科学科目	<生活環境分野>											
	環境教育論	2③・④	2									1
	地域計画論	2③・④	2				1					
	地域環境論	3①・②	2									1
	子どもと住環境	3①・②	2			1						
	<科学技術分野>											
	放射線安全工学	2③・④	2									5
	放射線の生物影響と防護	3①・②	2									2
	原子力・災害関連法令と国際関係	4③・④	2									1
	知的財産の基礎知識	2③・④	2									1
	ベンチャービジネス概論	3①・②	2									1
	フロントランナー	4③・④	2									2
	ものづくり基礎工学	3③・④	2									1
	建築計画各論第一	2③・④	2									1
	建築計画各論第二	3①・②	2									1
	建築史	4①・②	2									1
	資源エネルギー概論	4①・②	2									1
	<医療分野>											
	医療概論Ⅰ	3①・②	2									34
	医療概論Ⅱ	3③・④	2									1
医療特論Ⅰ	3③・④	2									2	
医療特論Ⅱ	4①・②	1									8	
医療特論Ⅲ	4①・②	2									1	
小計（20科目）	—	0	39	0	0	0	1	0	0	0	63	
課題探求プロジェクト科目	課題探求プロジェクト基礎A	1③	2			6	5	4				
	課題探求プロジェクト基礎B	1④	2			6	4	3				
	課題探求プロジェクトⅠ	2①・②	2			11	8	4	3			
	課題探求プロジェクトⅡ	2③・④	2			9	9	4	1			
	課題探求プロジェクトⅢA	3①・②	2			10	9	4				
	課題探求プロジェクトⅢB	3③・④	2			10	8	4	3			
	課題探求プロジェクトⅢC	4①・②	2			4	6					
	小計（7科目）	—	8	6	0	12	9	4	3	0	0	
現代社会科学目（入門）	法学概論	1③・④	2			1						
	政治学概論	1③・④	2		1							
	経済理論（ミクロ）	1③・④	2					1				
	経済理論（マクロ）	2①・②	2					1				
	経営学概論	2①・②	2					1				
	社会学概論	2①・②	2		1							
	生涯学習概論	2①・②	2			1						
	小計（7科目）	—	0	14	0	2	2	2	0	0	0	
現代社会科学目（発展）	<法学、政治学系>											
	民法（総則）	2①・②	2			1						
	民法（物権・債権）	3①・②	2			1						
	民法（親族・相続）	3①・②	2			1						
	行政法Ⅰ（総論）	2①・②	2									1
	行政法Ⅱ（行政救済法）	3①・②	2									1
	地方自治法	2③・④	2									1
	社会保険法	3①・②	2									1
	労働法	3③・④	2									1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
リサーチ・リテラシー科目	データサイエンスⅡ	2③・④	2			1						
	社会調査論	2③・④	2			1	1					
	地域データ分析	2③・④	2			1						
	量的データ分析	3①・②	2			1						
	質的調査法（J）	3①・②	2			1	1					
	質的調査法（E）	2③・④	2			1		2				
小計（11科目）	—	0	22	0	2	2	1	2	0	2		
日本理解科目	日本語学概論	2①・②	2									1
	コミュニケーションのための日本語教育論	2②	2									1
	日本史概説	2①・②	2									1
	日本の近代文学	2③・④	2									1
	日本の学校教育	3③・④	2		1							
小計（5科目）	—	2	8	0	1	0	0	0	0	0	4	
総合科学科目	<生活環境分野>											
	環境教育論	2③・④	2									1
	地域計画論	2③・④	2						1			
	地域環境論	3①・②	2									1
	子どもと住環境	3①・②	2			1						
	<科学技術分野>											
	放射線安全工学	2③・④	2									5
	放射線の生物影響と防護	3①・②	2									2
	原子力・災害関連法令と国際関係	4③・④	2									1
	知的財産の基礎知識	2③・④	2									1
	ベンチャービジネス概論	3①・②	2									1
	フロントランナー	4③・④	2									2
	ものづくり基礎工学	3③・④	2									1
	建築計画各論第一	2③・④	2									1
	建築計画各論第二	3①・②	2									1
	建築史	4①・②	2									1
	資源エネルギー概論	4①・②	2									1
	<医療分野>											
	医療概論Ⅰ	3①・②	2									25
	医療概論Ⅱ	3③・④	2									1
医療特論Ⅰ	3③・④	2									3	
医療特論Ⅱ	4①・②	1									12	
医療特論Ⅲ	4①・②	2									1	
小計（20科目）	—	0	39	0	0	0	0	1	0	0	59	
課題探求プロジェクト科目	課題探求プロジェクト基礎A	1③	2			6	4	5				
	課題探求プロジェクト基礎B	1④	2			6	4	3				
	課題探求プロジェクトⅠ	2①・②	2			11	8	4	3			
	課題探求プロジェクトⅡ	2③・④	2			9	9	4	1			
	課題探求プロジェクトⅢA	3①・②	2			10	9	4				
	課題探求プロジェクトⅢB	3③・④	2			10	8	4	3			
	課題探求プロジェクトⅢC	4①・②	2			4	6					
	小計（7科目）	—	8	6	0	12	8	5	2	0	0	
現代社会科学目（入門）	法学概論	1③・④	2			1						
	政治学概論	1③・④	2		1							
	経済理論（ミクロ）	1③・④	2					1				
	経済理論（マクロ）	2①・②	2					1				
	経営学概論	2①・②	2					1				
	社会学概論	2①・②	2		1							
	生涯学習概論	2①・②	2			1						
	小計（7科目）	—	0	14	0	2	2	2	2	0	0	
現代社会科学目（発展）	<法学、政治学系>											
	民法（総則）	2①・②	2					1				
	民法（物権・債権）	3①・②	2					1				
	民法（親族・相続）	3①・②	2					1				
	行政法Ⅰ（総論）	2①・②	2									1
	行政法Ⅱ（行政救済法）	3①・②	2									1
	地方自治法	2③・④	2									1
	社会保険法	3①・②	2									1
	労働法	3③・④	2									1

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数				専任教員等の配置					兼任・ 兼任	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
											教 授		准 教 授
現代社会科学目(発展)	<経済、経営学系>												
	産業地理学	23・4	2		1								
	経済政策論	23・4	2				1						
	会計学	23・4	2		1								
	アントレプレナーシップ論	31・2	2							1			
	観光学	31・2	2							1			
	マーケティング論	41・2	2							1			
	<社会学系>												
	文化資源論	23・4	2				1						
	都市コミュニティ論	23・4	2				1						
	ジェンダー論入門	23・4	2			1							
	人間関係論	31・2	2							1			
	農村社会論	33・4	2		1								
	メディア論	41・2	2							1			
	社会教育計画	21・2	2			1							
	小計(21科目)	—	0	42	0	3	2	3	0	0	8		
	現代社会科学目(地域)	地域経済論	31・2	2		1							
		都市と農村	31・2	2		1							
		住民組織論	31・2	2				1					
		男女共同参画学習論	31・2	2			1						
		地域福祉論	31・2	2							1		
地域情報システム		33・4	2			1							
地域文化マネジメント		33・4	2				1						
福井地域の歴史	33・4	2		1									
小計(8科目)	—	0	16	0	2	2	2	0	0	2			
現代社会科学目(国際)	国際政治学	21・2	2		1								
	国際関係論	22	2		1								
	国際政策	23・4	2		1								
	ドイツの現代事情	21・2	2			1							
	国際コミュニケーション論	33・4	2		1								
小計(5科目)	—	0	10	0	2	1	0	0	0	0			
専門教育科目	<語学、言語とリテラシー>												
	留学セミナー	23・3 ①	1		1							1	
	弁論法	13・4	2										
	世界共通語としての英語	21・2	2		1								
	言語学入門	21・2	2		1				1				
	英語圏の言語と文化	23	2		1								
	日本語の変遷	23・4	2						1				
	アメリカ英語入門	31・2	2			1							
	FL学習者のための発声学・音韻論入門	31・2	2			1				1			
	第二言語習得	31・2	2						1				
	日英対照言語学	33・4	2		1								
	心理言語学	41・2	2						1				
	<人間科学・社会科学>												
	異文化コミュニケーション	13・4	2						1			1	
	発達心理学	23・4	2									1	
	人間の発達	33・4	2										
	教育におけるゲーム	41・2	2						1				
	教育における社会正義の問題	21・2	2			1							
	教育社会学	33・4	2			1							
	比較教育学	33・4	2				1						
	<人文科学>												
日本の伝統文化入門	21・2	2									1		
イギリス表象文化	23・4	2		1									
民族音楽学	13・4	2									1		
西洋における人道的伝統	33・4	2		1									
<文学>													
アメリカの短編小説	23・4	2						1			1		
アメリカ文学の諸トピックス	31・2	2						1			1		
アジア系アメリカ文学	31・2	2						1			1		
イギリス文学	33・4	2		1									
アイルランドの文学	41・2	2									1		

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数				専任教員等の配置					兼任・ 兼任	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
											教 授		准 教 授
現代社会科学目(発展)	<経済、経営学系>												
	産業地理学	23・4	2		1								
	経済政策論	23・4	2				1						
	会計学	23・4	2		1								
	アントレプレナーシップ論	31・2	2							1			
	観光学	31・2	2							1			
	マーケティング論	41・2	2							1			
	<社会学系>												
	文化資源論	23・4 20・2	2				1						
	都市コミュニティ論	23・4	2				1						
	ジェンダー論入門	23・4	2			1							
	人間関係論	31・2	2							1			
	農村社会論	33・4	2		1								
	メディア論	41・2	2							1			
	社会教育計画	21・2 40・2	2			1							
	小計(21科目)	—	0	42	0	3	3	3	0	0	7		
	現代社会科学目(地域)	地域経済論	31・2	2		1							
		都市と農村	31・2	2		1							
		住民組織論	31・2	2				1					
		男女共同参画学習論	31・2	2			1						
		地域福祉論	31・2	2							1		
地域情報システム		33・4	2			1							
地域文化マネジメント		33・4	2				1						
福井地域の歴史	33・4	2		1									
小計(8科目)	—	0	16	0	2	2	2	0	0	2			
現代社会科学目(国際)	国際政治学	21・2	2		1								
	国際関係論	20・2	2		1								
	国際政策	23・4	2		1								
	ドイツの現代事情	21・2	2			1							
	国際コミュニケーション論	33・4	2		1								
小計(5科目)	—	0	10	0	2	1	0	0	0	0			
専門教育科目	<語学、言語とリテラシー>												
	留学セミナー	23・3 ①	1		1								
	弁論法	13・4	2									1	
	世界共通語としての英語	23・4 20・2	2		1								
	言語学入門	21・2	2		1				1				
	英語圏の言語と文化	23・4 20・2	2		1								
	日本語の変遷	23・4	2						1				
	アメリカ英語入門	33・4 30・2	2			1							
	FL学習者のための発声学・音韻論入門	31・2	2			1				1			
	第二言語習得	31・2	2						1				
	日英対照言語学	33・4	2		1								
	心理言語学	41・2	2						1				
	<人間科学・社会科学>												
	異文化コミュニケーション	13・4	2						1			1	
	発達心理学	23・4	2									1	
	人間の発達	33・4	2										
	教育におけるゲーム	41・2	2						1				
	教育における社会正義の問題	23・4 20・2	2			1							
	教育社会学	33・4	2			1							
	比較教育学	33・4	2				1						
	<人文科学>												
日本の伝統文化入門	23・4 20・2	2									1		
イギリス表象文化	23・4	2		1									
民族音楽学	13・4	2									1		
西洋における人道的伝統	33・4 20・2	2		1									
<文学>													
アメリカの短編小説	23・4	2							0		1		
アメリカ文学の諸トピックス	31・2	2							0		1		
アジア系アメリカ文学	33・4 30・2	2							0		1		
イギリス文学	33・4	2		1									
アイルランドの文学	41・2	2									1		

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	比較文学	4①・2	2						1			1
	文学に見られる女性	4③・④	2									
	<多言語・多文化>											
	比較文化論	2①・2	2			1						
	ドイツ文学	2③・④	2			1						
	フランス文学	3③・④	2		1							
	ヨーロッパの表象文化	2①・2	2		1	1						
	国際文化交流論	2③・④	2			1						
	中国文学	3①・2	2			1						
	中国語学概論	3①・2	2			1						
	現代中国語講読	3①・2	2			1						
	中国文化特殊講義	3③・④	2			1						
	中国文化演習	4①・2	2			1						
小計(39科目)	—	0	77	0	5	7	1	3	0	4		
卒業研究科目	卒業研究セミナー	4①	1			5	3	4				
	卒業研究	4①~④	6			12	9	4	3			
	小計(2科目)	—	7	0	0	12	9	4	3	0	0	
合計(315科目)	—	36	536	20	12	9	6	3	0	193		

卒業要件及び履修方法

1. 共通教育科目 3.2単位以上  
(以下の単位数は最低履修要件単位数を示す。)  
入門科目 全1科目 2単位必修  
  
基礎教育科目 情報処理基礎 2単位必修  
英語科目全8科目 8単位必修  
第2外国語・日本語科目2.0科目から4単位以上  
選択必修  
  
共通教養科目 1.3.8科目から1.6単位以上選択必修
2. 専門教育科目 9.2単位以上  
(以下の単位数は最低履修要件単位数を示す。)  
専門基礎科目 全1科目 2単位必修  
  
外国語科目 英語科目1.1科目から  
グローバルアプローチは必修5単位を含む  
1.0単位以上選択必修  
地域創生アプローチは必修を含む5単位  
以上選択必修  
第2外国語1.0科目は自由科目  
  
リサーチ・リテラシー科目 1.1科目から  
グローバルアプローチは6単位以上選択必修  
地域創生アプローチは1.2単位以上選択必修  
  
日本理解科目 5科目から必修2単位を含む4単位選択必修  
  
総合科学科目 2.0科目から8単位選択必修  
  
課題探求プロジェクト科目  
課題探求プロジェクト基礎A、基礎B、  
課題探求プロジェクトI、IIの8単位必修  
  
課題探求プロジェクトⅢA、ⅢB、ⅢC 3科目から  
4単位選択必修  
  
現代社会科目(入門) 7科目から  
グローバルアプローチは4単位以上選択必修  
地域創生アプローチは8単位以上選択必修  
  
現代社会科目(発展) 2.1科目から  
グローバルアプローチは8単位以上選択必修  
地域創生アプローチは1.0単位以上選択必修  
  
現代社会科目(地域) 8科目から  
グローバルアプローチは4単位以上選択必修  
地域創生アプローチは8単位以上選択必修  
  
現代社会科目(国際) 6科目から4単位以上選択必修  
  
多文化理解科目 3.8科目から  
グローバルアプローチは5分野のうちいずれかの  
2分野の中から4単位ずつ8単位を含む1.2単位  
以上選択必修  
地域創生アプローチは「異文化コミュニケーション」  
を含む6単位以上選択必修  
  
卒業研究科目 「卒業研究セミナー」及び「卒業研究」の7単位  
必修  
  
総単位数 1.2.4単位以上

※半期9科目1.8単位を標準修得単位数とし、最大修得単位数を2.2単位とする。ただし、学生が希望すれば学部長の承認をもって、最大2.4単位までの上乗せを認める。

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	比較文学	4①・2	2							0		1
	文学に見られる女性	4③・④	2									
	<多言語・多文化>											
	比較文化論	2①・2	2			1						
	ドイツ文学	2③・④	2			1						
	フランス文学	3③・④	2		1							
	ヨーロッパの表象文化	2①・2	2		1	1						
	国際文化交流論	2③・④	2			1						
	中国文学	3①・2	2			1						1
	中国語学概論	3①・2	2			1						
	現代中国語講読	3①・2	2			1						1
	中国文化特殊講義	3③・④	2			1						
	中国文化演習	4①・2	2			1						1
小計(39科目)	—	0	77	0	5	6	1	2	0	5		
卒業研究科目	卒業研究セミナー	4①	1			5	3	5				
	卒業研究	4①~④	6			12	8	5	2			
	小計(2科目)	—	7	0	0	12	8	5	2	0	0	
合計(341科目)	—	36	588	20	12	8	6	2	0	208		

卒業要件及び履修方法

1. 共通教育科目 3.2単位以上  
(以下の単位数は最低履修要件単位数を示す。)  
入門科目 全1科目 2単位必修  
  
基礎教育科目 情報処理基礎 2単位必修  
英語科目全8科目 8単位必修  
第2外国語・日本語科目2.0科目から4単位以上  
選択必修  
  
共通教養科目 1.3.8科目から1.6単位以上選択必修
2. 専門教育科目 9.2単位以上  
(以下の単位数は最低履修要件単位数を示す。)  
専門基礎科目 全1科目 2単位必修  
  
外国語科目 英語科目1.1科目から  
グローバルアプローチは必修5単位を含む  
1.0単位以上選択必修  
地域創生アプローチは必修を含む5単位  
以上選択必修  
第2外国語1.0科目は自由科目  
  
リサーチ・リテラシー科目 1.1科目から  
グローバルアプローチは6単位以上選択必修  
地域創生アプローチは1.2単位以上選択必修  
  
日本理解科目 5科目から必修2単位を含む4単位選択必修  
  
総合科学科目 2.0科目から8単位選択必修  
  
課題探求プロジェクト科目  
課題探求プロジェクト基礎A、基礎B、  
課題探求プロジェクトI、IIの8単位必修  
  
課題探求プロジェクトⅢA、ⅢB、ⅢC 3科目から  
4単位選択必修  
  
現代社会科目(入門) 7科目から  
グローバルアプローチは4単位以上選択必修  
地域創生アプローチは8単位以上選択必修  
  
現代社会科目(発展) 2.1科目から  
グローバルアプローチは8単位以上選択必修  
地域創生アプローチは1.0単位以上選択必修  
  
現代社会科目(地域) 8科目から  
グローバルアプローチは4単位以上選択必修  
地域創生アプローチは8単位以上選択必修  
  
現代社会科目(国際) 6科目から4単位以上選択必修  
  
多文化理解科目 3.8科目から  
グローバルアプローチは5分野のうちいずれかの  
2分野の中から4単位ずつ8単位を含む1.2単位  
以上選択必修  
地域創生アプローチは「異文化コミュニケーション」  
を含む6単位以上選択必修  
  
卒業研究科目 「卒業研究セミナー」及び「卒業研究」の7単位  
必修  
  
総単位数 1.2.4単位以上

※半期9科目1.8単位を標準修得単位数とし、最大修得単位数を2.2単位とする。ただし、学生が希望すれば学部長の承認をもって、最大2.4単位までの上乗せを認める。

【平成28年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
入門科目	大学教育入門セミナー	1①・2	2			3	4	2			
	小計(1科目)	-	2	0	0	3	4	2	0	0	0
基礎教育科目	情報処理基礎	1①・2	2				1				
	英語 I	1①	1						1		2
	英語 II	1①	1								3
	英語 III	1①	1			1					2
	英語 IV	1①	1						2		1
	英語 V	1②	1						1		2
	英語 VI	1②	1								3
	英語 VII	1②	1			1					2
	英語 VIII	1②	1					2			1
	ドイツ語 I	2①		1			1				
	ドイツ語 II	2②		1			1				
	ドイツ語 III	2③		1			1				
	ドイツ語 IV	2④		1			1				
	フランス語 I	2①		1		1					
	フランス語 II	2②		1		1					
	フランス語 III	2③		1			1				
	フランス語 IV	2④		1			1				
	中国語 I	2①		1			1				
	中国語 II	2②		1			1				
	中国語 III	2③		1							1
	中国語 IV	2④		1							1
	日本語 A	3①・2		1							1
	日本語 B	3③・4		1							1
	日本語 C	3①・2		1							1
	日本語 D	3③・4		1							1
	日本語 E	3①・2		1							1
	日本語 F	3③・4		1							1
	日本語 G	3①・2		1							1
	日本語 H	3③・4		1							1
小計(29科目)	-	-	10	20	0	1	5	0	2	0	10
共通教育科目	<地域コア科目群>										
	ものづくり・産業振興・技術継承分野										
	現代社会とビジネス	2①・2		2							1
	現代社会とキャリア・アントレプレナーシップ	2③・4		2							1
	科学技術と社会	2①・2		2							1
	衣生活の現状	2①・2		2							1
	ロボットの知能と学習	2①・2		2							1
	進化する繊維の技術	2①・2		2							3
	現場で役立つ機器分析	2①・2		2							1
	半導体の科学	2③・4		2							1
	繊維の世界	2③・4		2							5
	新素材の世界	2③・4		2							4
	地方創生モデルの事例研究―飯沼学―	2③・4		2							3
	持続可能な社会・環境づくり分野										
	子ども環境学入門	2③・4		2							1
	環境問題と社会	2①・2		2							0
	まちづくり論	2①・2		2							4
	都市と建築の環境	2③・4		2							2
	科学技術と環境	2①・2		2							3
	科学技術と倫理	2③・4		2							1
地域の局地気象	2①・2		2							1	
自然史と生物	2①・2		2							1	
日本海地域の自然と環境	2①・2		2							1	
地球の環境	2③・4		2							1	
福井の経済と経営者	2①・2		2							1	
コミュニティと住民組織	2①・2		2			1				1	
地域科学コミュニケーション	2①・2		2							2	
これからの地方創生と経営学	2①・2		2							1	

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
入門科目	大学教育入門セミナー	1①・2	2			3	4	2			
	小計(1科目)	-	2	0	0	3	4	2	0	0	0
基礎教育科目	情報処理基礎	1①・2	2				1				
	英語 I	1①	1						1		2
	英語 II	1①	1								3
	英語 III	1①	1			1					2
	英語 IV	1①	1						2		1
	英語 V	1②	1						1		2
	英語 VI	1②	1								3
	英語 VII	1②	1			1					2
	英語 VIII	1②	1					2			1
	ドイツ語 I	2①		1			1				
	ドイツ語 II	2②		1			1				
	ドイツ語 III	2③		1			1				
	ドイツ語 IV	2④		1			1				
	フランス語 I	2①		1		1					
	フランス語 II	2②		1		1					
	フランス語 III	2③		1			1				
	フランス語 IV	2④		1			1				
	中国語 I	2①		1			1				
	中国語 II	2②		1			1				
	中国語 III	2③		1							1
	中国語 IV	2④		1							1
	日本語 A	3①・2		1							1
	日本語 B	3③・4		1							1
	日本語 C	3①・2		1							1
	日本語 D	3③・4		1							1
	日本語 E	3①・2		1							1
	日本語 F	3③・4		1							1
	日本語 G	3①・2		1							1
	日本語 H	3③・4		1							1
小計(29科目)	-	-	10	20	0	1	5	0	2	0	10
共通教育科目	<地域コア科目群>										
	ものづくり・産業振興・技術継承分野										
	現代社会とビジネス	2①・2		2							1
	現代社会とキャリア・アントレプレナーシップ	2③・4		2							1
	科学技術と社会	2①・2		2							1
	衣生活の現状	2①・2		2							1
	ロボットの知能と学習	2①・2		2							1
	進化する繊維の技術	2①・2		2							5
	現場で役立つ機器分析	2①・2		2							1
	半導体の科学	2③・4		2							1
	繊維の世界	2③・4		2							4
	新素材の世界	2③・4		2							3
	地方創生モデルの事例研究―飯沼学―	2③・4		2							1
	持続可能な社会・環境づくり分野										
	子ども環境学入門	2③・4		2							1
	環境問題と社会	2①・2		2							0
	まちづくり論	2①・2		2							4
	都市と建築の環境	2③・4		2							2
	科学技術と環境	2①・2		2							4
	科学技術と倫理	2③・4		2							1
地域の局地気象	2①・2		2							1	
自然史と生物	2①・2		2							1	
日本海地域の自然と環境	2①・2		2							1	
地球の環境	2③・4		2							1	
福井の経済と経営者	2①・2		2							1	
コミュニティと住民組織	2③・4		2					1		1	
地域科学コミュニケーション	2①・2		2							2	
これからの地方創生と経営学	2①・2		2							1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通教育科目	ふくいを知る・見る・考える	2①・②	2								1
	原子力・エネルギー分野										
	電磁波と物質	2①・②	2								4
	エネルギー科学	2③・④	2								1
	生活の中の熱とエネルギー	2③・④	2								1
	熱と流れ	2③・④	2								2
	エネルギーと環境	2③・④	2								1
	災害の科学	2③・④	2								6
	災害ボランティア論	2③・④	2								1
	東日本大震災をどう受け止めるか	2③・④	2			1					4
	放射線利用－医学と産業－	2①・②	2								6
	地域の防災・危機管理	2①・②	2								3
	<教養教育科目群>										
	人間理解・異文化コミュニケーション分野										
	批判的思考を伸ばす	2①・②	2								1
	「社会がわかる」とは？	2①・②	2								1
	心を探る（人間関係論）	2①・②	2								1
	こころの発達と健康	2①・②	2								1
	人間の科学特別演習A（教育学）	2③・④	2								1
	人間の科学特別演習B（心理学）	2③・④	2								3
	人間の科学特別演習C（障害児）	2③・④	2								2
	子どもと学校	2③・④	2								1
	教えることと学ぶこと	2③・④	2								1
	生まれること、産むこと	2①・②	2								1
	健康科学・医科学概論	2③・④	2								15
	ニューススポーツと健康生活	2①・②	2								1
	アウトドアスポーツとバリアフリー	2①・②	2								1
	健康メディアリテラシー	2③・④	2								1
	ネット活用技術（レベルアップ） 情報の取捨と判断	2③・④	2								1
	哲学的人間学Ⅰ	2③・④	2								1
	哲学的人間学Ⅱ	2③・④	2								1
	日本思想	2①・②	2								1
	宗教と哲学	2①・②	2								1
	哲学入門	2①・②	2			1					
	哲学とは何か	2③・④	2								1
	スピーキングⅠ	2①・②	2				1				
	リスニングⅡ	2①・②	2								1
	ライティングⅠ	2①・②	2								1
	ライティングⅡ	2③・④	2				1				
	リーディング	2③・④	2								1
	ヨーロッパの言語事情	2①・②	2				1				
多文化コミュニケーションA（異文化コミュニケーションA）	2③・④	2								1	
多文化コミュニケーションB（日本語コミュニケーションB）	2①・②	2								1	
多文化コミュニケーションC（異文化コミュニケーションC）	2①・②	2								1	
言語生活論	2①・②	2								1	
言語表現	2③・④	2								1	
応用日本語Ⅰ	2①・②	2								1	
応用日本語Ⅱ	2③・④	2								1	
中国語の世界1	2①・②	2								1	
中国語の世界2	2③・④	2								1	
中国語の世界3	2①・②	2				1				1	
中国語の世界4	2③・④	2				1				1	
ドイツ語の世界1	2①・②	2								1	
ドイツ語の世界2	2③・④	2								1	
ドイツ語の世界3	2①・②	2								1	
ドイツ語の世界4	2③・④	2								1	
フランス語の世界1	2①・②	2					1				
フランス語の世界2	2③・④	2					1				
フランス語の世界3	2①・②	2								1	
フランス語の世界4	2③・④	2								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通教育科目	ふくいを知る・見る・考える	2①・②	2								1
	原子力・エネルギー分野										
	電磁波と物質	2①・②	2								4
	エネルギー科学	2③・④	2								1
	生活の中の熱とエネルギー	2③・④	2								1
	熱と流れ	2③・④	2								2
	エネルギーと環境	2③・④	2								1
	災害の科学	2③・④	2								4
	災害ボランティア論	2③・④	2								1
	東日本大震災をどう受け止めるか	2③・④	2				1				4
	放射線利用－医学と産業－	2①・②	2								6
	地域の防災・危機管理	2①・②	2								3
	<教養教育科目群>										
	人間理解・異文化コミュニケーション分野										
	批判的思考を伸ばす	2①・②	2								1
	「社会がわかる」とは？	2①・②	2								1
	心を探る（人間関係論）	2①・②	2								1
	こころの発達と健康	2①・②	2								1
	人間の科学特別演習A（教育学）	2③・④	2								1
	人間の科学特別演習B（心理学）	2③・④	2								3
	人間の科学特別演習C（障害児）	2③・④	2								2
	子どもと学校	2③・④	2								1
	教えることと学ぶこと	2③・④	2								1
	アクティブ・ラーニングと生涯学習	2③・④	2								2
	学問の入り口	2①・②	2								1
	生まれること、産むこと	2①・②	2								1
	健康科学・医科学概論	2③・④	2								15
	ニューススポーツと健康生活	2①・②	2								1
	アウトドアスポーツとバリアフリー	2①・②	2								1
	健康メディアリテラシー	2③・④	2								1
	ネット活用技術（レベルアップ） 情報の取捨と判断	2③・④	2								0
	哲学的人間学Ⅰ	2③・④	2								1
	哲学的人間学Ⅱ	2③・④	2								1
	日本思想	2①・②	2								1
	宗教と哲学	2①・②	2								1
	哲学入門	2①・②	2				1				
	哲学とは何か	2③・④	2								1
	スピーキングⅠ	2①・②	2					1			
	リスニングⅡ	2①・②	2								1
	ライティングⅠ	2①・②	2								1
	ライティングⅡ	2③・④	2					1			
リーディング	2③・④	2								1	
ヨーロッパの言語事情	2①・②	2					1				
多文化コミュニケーションA（異文化コミュニケーションA）	2③・④	2								1	
多文化コミュニケーションB（日本語コミュニケーションB）	2①・②	2								1	
多文化コミュニケーションC（異文化コミュニケーションC）	2①・②	2								1	
言語生活論	2①・②	2								1	
言語表現	2③・④	2								1	
応用日本語Ⅰ	2①・②	2								1	
応用日本語Ⅱ	2③・④	2								1	
中国語の世界1	2①・②	2								1	
中国語の世界2	2③・④	2								1	
中国語の世界3	2①・②	2						0		1	
中国語の世界4	2③・④	2						0		1	
ドイツ語の世界1	2①・②	2								1	
ドイツ語の世界2	2③・④	2								1	
ドイツ語の世界3	2①・②	2								1	
ドイツ語の世界4	2③・④	2								1	
フランス語の世界1	2①・②	2					1				
フランス語の世界2	2③・④	2					1				
フランス語の世界3	2①・②	2								1	
フランス語の世界4	2③・④	2								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
歴史・文化理解分野											
	東洋史A (「東アジア世界」と日本)	2①・②	2								1
	東洋史B (近代日本とアジア認識)	2③・④	2								1
	日本史 (中世社会の転換)	2③・④	2								1
	日本史 (近世社会の展開)	2①・②	2								1
	発展途上国の人間地生態	2①・②	2		1						
	地図に見る歴史と景観	2①・②	2								1
	ラテン語とキリスト教	2①・②	2								1
	アメリカの文化	2③・④	2								1
	フランス文学入門	2①・②	2		1						
	フランスの文化A (文学と絵画)	2①・②	2			1					
	フランスの文化B (7世紀とその後)	2③・④	2			1					
	ヨーロッパの映画	2③・④	2		1						
	ドイツの文化	2①・②	2			1					
	中国の文化	2③・④	2			1					
	中国のことば	2①・②	2			1					
	中国の古典文学	2①・②	2							1	
	日本語の歴史	2③・④	2								1
	白川文字学	2③・④	2								1
	日本の文化	2①・②	2								1
	日本事情A (日本語と文化)	2①・②	2								1
	日本事情B (社会と文化)	2③・④	2								1
	近現代の音楽芸術	2①・②	2								1
	合唱の魅力を探る	2①・②	2								1
	ポピュラー音楽の魅力を探る	2③・④	2								1
	ピアノの魅力を探る	2③・④	2								1
	現代音楽入門	2③・④	2								1
	生活と美術-みる、えがく、つくる	2①・②	2								1
	造形美術の世界-表現世界の多様性	2①・②	2								1
	造形美術の世界-絵画	2①・②	2								1
	考古学入門	2③・④	2			1					
社会経済・科学技術分野											
	経済学A (金銭って何だろう)	2③・④	2		1						
	経済学B (現代社会とワークルール)	2①・②	2		1						
	経済学C (経済学の基礎理論)	2①・②	2			1					
	憲法概論	2①・②	2								1
	日本国憲法	2①・②	2								1
	社会学A (相互行為論入門)	2①・②	2		1						
	社会学B (現代農村の社会学)	2③・④	2		1						
	政治学A (現代政治学入門)	2①・②	2		1						
	政治学B (戦後日本の政治)	2③・④	2		1						
	ジェンダー論	2③・④	2			1					
	音と振動	2①・②	2								1
	バイオの世界	2①・②	2								4
	電子の世界	2①・②	2								1
	生体機能と化学物質	2③・④	2								4
	数値計算の考え方	2①・②	2								1
	計算機システムの基礎	2①・②	2								1
	生体情報工学	2①・②	2								1
	宮沢賢治と非線形科学	2③・④	2								1
	ゲームとパズルの数学	2③・④	2								1
	数学の歴史	2③・④	2								1
	数学のことばで理解する物理学	2③・④	2								1
	対称性と微分方程式	2①・②	2								1
	ランダム現象の記述	2③・④	2								1
	物理と微積分	2①・②	2								1
	科学的な見方・考え方	2③・④	2							2	
	植物の生活史と進化	2③・④	2								1
	ヒトの生物学	2③・④	2								1
	火山のはなし	2③・④	2								1
	宇宙の成り立ち	2③・④	2								1
	小計 (141科目)	-	0	282	0	8	7	3	0	0	148

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
歴史・文化理解分野											
	東洋史A (「東アジア世界」と日本)	2①・②	2								1
	東洋史B (近代日本とアジア認識)	2③・④	2								1
	日本史 (中世社会の転換)	2③・④	2								1
	日本史 (近世社会の展開)	2①・②	2								1
	発展途上国の人間地生態	2①・②	2		1						
	地図に見る歴史と景観	2①・②	2								1
	「歴史」のトリビヤ (歴史文化誰かから歴史教育まで)	2②・④	2								1
	ラテン語とキリスト教	2①・②	2								1
	アメリカの文化	2③・④	2								1
	フランス文学入門	2①・②	2		1						
	フランスの文化A (文学と絵画)	2①・②	2			1					
	フランスの文化B (7世紀とその後)	2③・④	2			1					
	ヨーロッパの映画	2③・④	2		1						
	ドイツの文化	2①・②	2			1					
	中国の文化	2③・④	2			0					1
	中国のことば	2①・②	2			1					
	中国の古典文学	2①・②	2								1
	日本語の歴史	2③・④	2								1
	白川文字学	2③・④	2								1
	日本の文化	2①・②	2								1
	日本事情A (日本語と文化)	2①・②	2								1
	日本事情B (社会と文化)	2③・④	2								1
	近現代の音楽芸術	2①・②	2								1
	合唱の魅力を探る	2①・②	2								1
	ポピュラー音楽の魅力を探る	2③・④	2								1
	ピアノの魅力を探る	2③・④	2								1
	現代音楽入門	2③・④	2								1
	生活と美術-みる、えがく、つくる	2①・②	2								1
	造形美術の世界-表現世界の多様性	2①・②	2								1
	造形美術の世界-絵画	2①・②	2								1
	考古学入門	2③・④	2						1		
社会経済・科学技術分野											
	経済学A (金銭って何だろう)	2③・④	2		1						
	経済学B (現代社会とワークルール)	2①・②	2		1						
	経済学C (経済学の基礎理論)	2①・②	2			1					
	マネジメント入門	2②・④	2						1		
	憲法概論	2①・②	2								1
	日本国憲法	2①・②	2								1
	主権者意識をはぐくむ	2②・④	2								1
	社会学A (相互行為論入門)	2①・②	2		1						
	社会学B (現代農村の社会学)	2③・④	2		1						
	政治学A (現代政治学入門)	2①・②	2		1						
	政治学B (戦後日本の政治)	2③・④	2		1						
	ジェンダー論	2③・④	2			1					
	音と振動	2①・②	2								1
	バイオの世界	2①・②	2								4
	電子の世界	2①・②	2								1
	生体機能と化学物質	2③・④	2								4
	数値計算の考え方	2①・②	2								1
	計算機システムの基礎	2①・②	2								1
	生体情報工学	2①・②	2								1
	宮沢賢治と非線形科学	2③・④	2								1
	ゲームとパズルの数学	2③・④	2								1
	数学の歴史	2③・④	2								1
	数学のことばで理解する物理学	2③・④	2								1
	対称性と微分方程式	2①・②	2								1
	ランダム現象の記述	2③・④	2								1
	物理と微積分	2①・②	2								1
	科学的な見方・考え方	2③・④	2							2	
	植物の生活史と進化	2③・④	2								1
	ヒトの生物学	2③・④	2								1
	火山のはなし	2③・④	2								1
	宇宙の成り立ち	2③・④	2								1
	小計 (149科目)	-	0	298	0	8	5	4	0	0	155



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	国際地域概論	1③・④	2			7	2	2				
	小計(1科目)	-	2	0	0	7	2	2	0	0	0	
外国語科目	<英語>											
	TOEFL対策講座	1②	1			1						1
	English ReadingⅢ	1③	1			1						0
	English ReadingⅣ	1④	1			1						0
	English WritingⅢ	1③	1				1					2
	English WritingⅣ	1④	1				1					2
	英作文Ⅰ	2①		1				1				1
	英作文Ⅱ	2②		1				1				1
	Academic ReadingⅠ	2①		1			1					0
	Academic ReadingⅡ	2②		1			1					0
	Academic English WritingⅠ	2③		1			1		1			
	Academic English WritingⅡ	2④		1			1		1			
	<ドイツ語>											
	ドイツ言語文化講読	3①・②			2		1					
	比較文化論演習	3③・④			2		1					
	<フランス語>											
	現代事情講読	3①・②			2		1					
	フランス言語文化講読	3③・④			2		1					
	フランス文学講読	4①・②			2		1					
	<中国語>											
	中国語文章表現	2③・④			2		1					
中国語音声理解	2③・④			2		1						
中国語音声表現	2③・④			2		1						
応用中国語Ⅰ	3③・④			2		1						
応用中国語Ⅱ	4①・②			2		1						
小計(21科目)	-		5	6	20	3	5	0	1	0	4	
専門教育科目	リサーチ入門(J)	1①・②		2		1						
	リサーチ入門(E)	1①・②		2								1
	統計入門	1③・④		2								1
	情報技術基礎	1③・④		2			1					
	データサイエンスⅠ	2①・②		2								1
	データサイエンスⅡ	2③・④		2			1					
	社会調査論	2③・④		2		1		1				
	地域データ分析	2③・④		2		1						
	量的データ分析	3①・②		2			1					
	質的調査法(J)	3①・②		2		1		1				
	質的調査法(E)	2③・④		2			1		3			
小計(11科目)	-		0	22	0	2	2	1	3	0	2	
日本理解科目	日本語学概論	2①		2								1
	コミュニケーションのための日本語教育論	2②		2								1
	日本史概説	2①・②		2								1
	日本の近代文学	2③・④		2								1
	日本の学校教育	3③・④		2		1						
小計(5科目)	-		2	8	0	1	0	0	0	0	4	
総合科学科目	<生活環境分野>											
	環境教育論	2③・④		2								1
	地域計画論	2③・④		2				1				
	地域環境論	3①・②		2								1
	子どもと住環境	3①・②		2			1					
	<科学技術分野>											
	放射線安全工学	2③・④		2								5
	放射線の生物影響と防護	3①・②		2								2
	原子力・災害関連法令と国際的關係	4③・④		2								1
	知的財産の基礎知識	2③・④		2								1
	ベンチャービジネス概論	3①・②		2								1
	フロントランナー	4③・④		2								2
	ものづくり基礎工学	3③・④		2								1
	建築計画各論第一	2③・④		2								1
	建築計画各論第二	3①・②		2								0
建築史	4①・②		2								1	
資源エネルギー概論	4①・②		2								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	国際地域概論	1③・④	2			7	2	2				
	小計(1科目)	-	2	0	0	7	2	2	0	0	0	
外国語科目	<英語>											
	TOEFL対策講座	1①・②	1			1						1
	English ReadingⅢ	1③	1			1						1
	English ReadingⅣ	1④	1			1						1
	English WritingⅢ	1③	1				1					2
	English WritingⅣ	1④	1				1					2
	英作文Ⅰ	2①		1				1				1
	英作文Ⅱ	2②		1				1				1
	Academic ReadingⅠ	2①		1			1					0
	Academic ReadingⅡ	2②		1			1					0
	Academic English WritingⅠ	2③		1			1		1			
	Academic English WritingⅡ	2④		1			1		1			
	<ドイツ語>											
	ドイツ言語文化講読	3①・②			2		1					
	比較文化論演習	3③・④			2		1					
	<フランス語>											
	現代事情講読	3①・②			2		1					
	フランス言語文化講読	3③・④			2		1					
	フランス文学講読	4①・②			2		1					
	<中国語>											
	中国語文章表現	2③・④			2			0				
中国語音声理解	2③・④			2		1						
中国語音声表現	2③・④			2		1						
応用中国語Ⅰ	3③・④			2		1						
応用中国語Ⅱ	4①・②			2		1						
小計(21科目)	-		5	6	20	3	4	0	1	0	6	
専門教育科目	リサーチ入門(J)	1①・②		2		1						
	リサーチ入門(E)	1①・②		2								1
	統計入門	1③・④		2								1
	情報技術基礎	1③・④		2			1					
	データサイエンスⅠ	2①・②		2								1
	データサイエンスⅡ	2③・④		2			1					
	社会調査論	2③・④		2		1		1				
	地域データ分析	2③・④		2		1						
	量的データ分析	3①・②		2			1					
	質的調査法(J)	3①・②		2		1		1				
	質的調査法(E)	2③・④		2			1		3			
小計(11科目)	-		0	22	0	2	2	1	3	0	2	
日本理解科目	日本語学概論	2①・②		2								1
	コミュニケーションのための日本語教育論	2②		2								1
	日本史概説	2①・②		2								1
	日本の近代文学	2③・④		2								1
	日本の学校教育	3③・④		2		1						
小計(5科目)	-		2	8	0	1	0	0	0	0	4	
総合科学科目	<生活環境分野>											
	環境教育論	2③・④		2								1
	地域計画論	2③・④		2				1				
	地域環境論	3①・②		2								1
	子どもと住環境	3①・②		2			1					
	<科学技術分野>											
	放射線安全工学	2③・④		2								5
	放射線の生物影響と防護	3①・②		2								2
	原子力・災害関連法令と国際的關係	4③・④		2								1
	知的財産の基礎知識	2③・④		2								1
	ベンチャービジネス概論	3①・②		2								1
	フロントランナー	4③・④		2								2
	ものづくり基礎工学	3③・④		2								1
	建築計画各論第一	2③・④		2								1
	建築計画各論第二	3①・②		2								0
建築史	4①・②		2								1	
資源エネルギー概論	4①・②		2								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合科学科目	<医療分野>											
	医療概論Ⅰ	3①・②	2									33
	医療概論Ⅱ	3③・④	2									1
	医療特論Ⅰ	3③・④	2									2
	医療特論Ⅱ	4①・②	1									8
	医療特論Ⅲ	4①・②	2									1
	小計(20科目)	-	0	39	0	0	0	1	0	0	0	63
課題探求プロジェクト科目	課題探求プロジェクト基礎A	1③	2			6	5	4				
	課題探求プロジェクト基礎B	1④	2			6	4			3		
	課題探求プロジェクトⅠ	2①・②	2			11	8	4	3			
	課題探求プロジェクトⅡ	2③・④	2			9	9	4	1			
	課題探求プロジェクトⅢA	3①・②	2			10	9	4				
	課題探求プロジェクトⅢB	3③・④	2			10	8	4	3			
	課題探求プロジェクトⅢC	4①・②	2			4	6					
小計(7科目)	-	8	6	0	12	9	4	3	0	0	0	
現代社会科学目(入門)	法学概論	1③・④	2			1						
	政治学概論	1③・④	2			1						
	経済理論(ミクロ)	1③・④	2					1				
	経済理論(マクロ)	2①・②	2					1				
	経営学概論	2③・④	2					1				
	社会学概論	2①・②	2			1						
	生涯学習概論	2①・②	2					1				
小計(7科目)	-	0	14	0	2	2	2	0	0	0	0	
現代社会科学目(発展)	<法学、政治学系>											
	民法(総則)	2①・②	2			1						
	民法(物権・債権)	3①・②	2			1						
	民法(親族・相続)	3①・②	2			1						
	行政法Ⅰ(総論)	2①・②	2									1
	行政法Ⅱ(行政救済法)	3①・②	2									1
	地方自治法	2③・④	2									1
	社会保障法	3①・②	2									1
	労働法	3③・④	2									1
	<経済、経営学系>											
	産業地理学	2③・④	2			1						
	経済政策論	2③・④	2					1				
	会計学	2③・④	2			1						
	アントレプレナーシップ論	3①・②	2									1
	観光学	3①・②	2									1
	マーケティング論	4①・②	2									1
	<社会学系>											
	文化資源論	2③・④	2					1				
	都市コミュニティ論	2③・④	2					1				
	ジェンダー論入門	2③・④	2					1				
	人間関係論	3①・②	2									1
農村社会論	3③・④	2			1							
メディア論	4①・②	2									1	
社会教育計画	4①・②	2					1					
小計(21科目)	-	0	42	0	3	2	3	0	0	0	8	
現代社会科学目(地域)	地域経済論	3①・②	2			1						
	都市と農村	3①・②	2			1						
	住民組織論	3①・②	2					1				
	男女共同参画学習論	3①・②	2					1				
	地域福祉論	3①・②	2									1
	地域情報システム	3③・④	2					1				
	地域文化マネジメント	3③・④	2									1
	福井地域の歴史	3③・④	2			1						
小計(8科目)	-	0	16	0	2	2	2	0	0	0	2	
現代社会科学目(国際)	国際政治学	2①・②	2			1						
	国際関係論	2②	2			1						
	国際政策	2③・④	2			1						
	ドイツの現代事情	2①・②	2					1				
	国際コミュニケーション論	3③・④	2			1						
小計(5科目)	-	0	10	0	2	1	0	0	0	0	0	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合科学科目	<医療分野>											
	医療概論Ⅰ	3①・②	2									19
	医療概論Ⅱ	3③・④	2									1
	医療特論Ⅰ	3③・④	2									3
	医療特論Ⅱ	4①・②	1									12
	医療特論Ⅲ	4①・②	2									1
	小計(20科目)	-	0	39	0	0	0	1	0	0	0	52
課題探求プロジェクト科目	課題探求プロジェクト基礎A	1③	2			6	4	5				
	課題探求プロジェクト基礎B	1④	2			6	4			3		
	課題探求プロジェクトⅠ	2①・②	2			11	7	5	3			
	課題探求プロジェクトⅡ	2③・④	2			9	8	5	1			
	課題探求プロジェクトⅢA	3①・②	2			10	8	5				
	課題探求プロジェクトⅢB	3③・④	2			10	7	5	3			
	課題探求プロジェクトⅢC	4①・②	2			5	5					
小計(7科目)	-	8	6	0	12	8	5	3	0	0	0	
現代社会科学目(入門)	法学概論	1③・④	2					1				
	政治学概論	1③・④	2			1						
	経済理論(ミクロ)	1③・④	2						1			
	経済理論(マクロ)	2①・②	2						1			
	経営学概論	2③・④	2						1			
	社会学概論	2①・②	2			1						
	生涯学習概論	2①・②	2					1				
小計(7科目)	-	0	14	0	2	2	2	2	0	0	0	
現代社会科学目(発展)	<法学、政治学系>											
	民法(総則)	2①・②	2			1						
	民法(物権・債権)	3①・②	2			1						
	民法(親族・相続)	3①・②	2			1						
	行政法Ⅰ(総論)	2①・②	2									1
	行政法Ⅱ(行政救済法)	3①・②	2									1
	地方自治法	2③・④	2									1
	社会保障法	3①・②	2									1
	労働法	3③・④	2									1
	<経済、経営学系>											
	産業地理学	2③・④	2			1						
	経済政策論	2③・④	2					1				
	会計学	2③・④	2			1						
	アントレプレナーシップ論	3①・②	2									1
	観光学	3①・②	2									1
	マーケティング論	4①・②	2									1
	<社会学系>											
	文化資源論	2③・④	2						1			
	都市コミュニティ論	2③・④	2						1			
	ジェンダー論入門	2③・④	2						1			
	人間関係論	3①・②	2									1
農村社会論	3③・④	2			1							
メディア論	4①・②	2									1	
社会教育計画	4①・②	2					1					
小計(21科目)	-	0	42	0	3	2	3	0	0	0	8	
現代社会科学目(地域)	地域経済論	3①・②	2			1						
	都市と農村	3①・②	2			1						
	住民組織論	3①・②	2					1				
	男女共同参画学習論	3①・②	2					1				
	地域福祉論	3①・②	2									1
	地域情報システム	3③・④	2					1				
	地域文化マネジメント	3③・④	2									1
	福井地域の歴史	3③・④	2			1						
小計(8科目)	-	0	16	0	2	2	2	0	0	0	2	
現代社会科学目(国際)	国際政治学	2①・②	2			1						
	国際関係論	2②	2			1						
	国際政策	2③・④	2			1						
	ドイツの現代事情	2①・②	2					1				
	国際コミュニケーション論	3③・④	2			1						
小計(5科目)	-	0	10	0	2	1	0	0	0	0	0	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	<語学、言語とリテラシー>											
	留学セミナー	2③・3①	1			1						1
	弁論法	1③・④	2									
	世界共通語としての英語	2①・②	2			1						
	言語学入門	2①・②	2			1			1			
	英語圏の言語と文化	2③	2			1						
	日本語の変遷	2③・④	2						1			
	アメリカ英語入門	3①・②	2				1					
	EFL学習者のための発声学・音韻論入門	3①・②	2				1					
	第二言語習得	3①・②	2						1			
	日英対照言語学	3③・④	2			1						
	心理言語学	4①・②	2						1			
	<人間科学・社会科学>											
	異文化コミュニケーション	1③・④	2						1			2
	発達心理学	2③・④	2									0
	人間の発達	3③・④	2									0
	教育におけるゲーム	4①・②	2						1			
	教育における社会正義の問題	2①・②	2				1					
	教育社会学	3③・④	2				1					
	比較教育学	3③・④	2					1				
	<人文科学>											
	日本の伝統文化入門	2①・②	2									1
	イギリス表象文化	2③・④	2			1						
	民族音楽学	1③・④	2									1
	西洋における人道的伝統	3③・④	2			1						
	<文学>											
	アメリカの短編小説	2③・④	2						1			
	アメリカ文学の諸トピックス	3①・②	2						1			
	アジア系アメリカ文学	3①・②	2						1			
	イギリス文学	3③・④	2			1						
	アイルランドの文学	4①・②	2									1
	比較文学	4①・②	2						1			
	文学に見られる女性	4③・④	2									1
	<多言語・多文化>											
	比較文化論	2①・②	2				1					
	ドイツ文学	2③・④	2				1					
	フランス文学	3③・④	2			1						
	ヨーロッパの表象文化	2①・②	2			1	1					
	国際文化交流論	2③・④	2				1					
中国文学	3①・②	2				1			0		1	
中国語学概論	3①・②	2				1			1			
現代中国語講読	3①・②	2				1			1			
中国文化特殊講義	3③・④	2				1						
中国文化演習	4①・②	2				1					1	
小計(39科目)	-	0	77	0	5	7	1	3	0	3		
卒業研究科目	卒業研究セミナー	4①	1			5	3	4				
	卒業研究	4①~④	6			12	9	4	3			
	小計(2科目)	-	7	0	0	12	9	4	3	0	0	
合計(318科目)	-	36	542	20	12	9	6	3	0	191		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	<語学、言語とリテラシー>											
	留学セミナー	2③・3①	1			1						1
	弁論法	1③・④	2									
	世界共通語としての英語	2①・②	2			1						
	言語学入門	2①・②	2			1			1			
	英語圏の言語と文化	2③・④	2			1						
	日本語の変遷	2③・④	2						1			
	アメリカ英語入門	3①・②	2				1					
	EFL学習者のための発声学・音韻論入門	3①・②	2				1					
	第二言語習得	3①・②	2						1			
	日英対照言語学	3③・④	2			1						
	心理言語学	4①・②	2						1			
	<人間科学・社会科学>											
	異文化コミュニケーション	1③・④	2						1			2
	発達心理学	2③・④	2									0
	人間の発達	3③・④	2									0
	教育におけるゲーム	4①・②	2						1			
	教育における社会正義の問題	2①・②	2				1					
	教育社会学	3③・④	2				1					
	比較教育学	3③・④	2					1				
	<人文科学>											
	日本の伝統文化入門	2①・②	2									1
	イギリス表象文化	2③・④	2			1						
	民族音楽学	1③・④	2									1
	西洋における人道的伝統	3③・④	2			1						
	<文学>											
	アメリカの短編小説	2③・④	2						1			
	アメリカ文学の諸トピックス	3①・②	2						1			
	アジア系アメリカ文学	3①・②	2						1			
	イギリス文学	3③・④	2			1						
	アイルランドの文学	4①・②	2									1
	比較文学	4①・②	2						1			
	文学に見られる女性	4③・④	2									1
	<多言語・多文化>											
	比較文化論	2①・②	2				1					
	ドイツ文学	2③・④	2				1					
	フランス文学	3③・④	2			1						
	ヨーロッパの表象文化	2①・②	2			1	1					
	国際文化交流論	2③・④	2				1					
中国文学	3①・②	2				1			0		1	
中国語学概論	3①・②	2				1			1			
現代中国語講読	3①・②	2				1			1			
中国文化特殊講義	3③・④	2				1						
中国文化演習	4①・②	2				1					1	
小計(39科目)	-	0	77	0	5	6	1	3	0	4		
卒業研究科目	卒業研究セミナー	4①	1			5	3	5				
	卒業研究	4①~④	6			12	8	5	3			
	小計(2科目)	-	7	0	0	12	8	5	3	0	0	
合計(326科目)	-	36	558	20	12	8	6	3	0	192		

卒業要件及び履修方法	
1. 共通教育科目	3 2 単位以上 (以下の単位数は最低履修要件単位数を示す。) 入門科目 全 1 科目 2 単位必修
基礎教育科目	情報処理基礎 2 単位必修 英語科目全 8 科目 8 単位必修 第 2 外国語・日本語科目 2 0 科目から 4 単位以上 選択必修
共通教養科目	1 3 8 科目から 1 6 単位以上選択必修
2. 専門教育科目	9 2 単位以上 (以下の単位数は最低履修要件単位数を示す。) 専門基礎科目 全 1 科目 2 単位必修
外国語科目	英語科目 1 1 科目から グローバルアプローチは必修 5 単位を含む 1 0 単位以上選択必修 地域創生アプローチは必修を含む 5 単位 以上選択必修 第 2 外国語 1 0 科目は自由科目
リサーチ・リテラシー科目	1 1 科目から グローバルアプローチは 6 単位以上選択必修 地域創生アプローチは 1 2 単位以上選択必修
日本理解科目	5 科目から必修 2 単位を含む 4 単位選択必修
総合科学科目	2 0 科目から 8 単位選択必修
課題探求プロジェクト科目	課題探求プロジェクト基礎 A, 基礎 B, 課題探求プロジェクト I, II の 8 単位必修  課題探求プロジェクト III A, III B, III C 3 科目から 4 単位選択必修
現代社会科目 (入門)	7 科目から グローバルアプローチは 4 単位以上選択必修 地域創生アプローチは 8 単位以上選択必修
現代社会科目 (発展)	2 1 科目から グローバルアプローチは 8 単位以上選択必修 地域創生アプローチは 1 0 単位以上選択必修
現代社会科目 (地域)	8 科目から グローバルアプローチは 4 単位以上選択必修 地域創生アプローチは 8 単位以上選択必修
現代社会科目 (国際)	6 科目から 4 単位以上選択必修
多文化理解科目	3 8 科目から グローバルアプローチは 5 分野のうちいずれかの 2 分野の中から 4 単位ずつ 8 単位を含む 1 2 単位 以上選択必修 地域創生アプローチは「異文化コミュニケーション」 を含む 6 単位以上選択必修
卒業研究科目	「卒業研究セミナー」及び「卒業研究」の 7 単位 必修  総単位数 1 2 4 単位以上
※半期 9 科目 1 8 単位を標準修得単位数とし、最大修得単位数を 2 2 単位とする。ただし、学生が希望すれば学部長の承認をもって、最大 2 4 単位までの上乗せを認める。	

卒業要件及び履修方法	
1. 共通教育科目	3 2 単位以上 (以下の単位数は最低履修要件単位数を示す。) 入門科目 全 1 科目 2 単位必修
基礎教育科目	情報処理基礎 2 単位必修 英語科目全 8 科目 8 単位必修 第 2 外国語・日本語科目 2 0 科目から 4 単位以上 選択必修
共通教養科目	1 3 8 科目から 1 6 単位以上選択必修
2. 専門教育科目	9 2 単位以上 (以下の単位数は最低履修要件単位数を示す。) 専門基礎科目 全 1 科目 2 単位必修
外国語科目	英語科目 1 1 科目から グローバルアプローチは必修 5 単位を含む 1 0 単位以上選択必修 地域創生アプローチは必修を含む 5 単位 以上選択必修 第 2 外国語 1 0 科目は自由科目
リサーチ・リテラシー科目	1 1 科目から グローバルアプローチは 6 単位以上選択必修 地域創生アプローチは 1 2 単位以上選択必修
日本理解科目	5 科目から必修 2 単位を含む 4 単位選択必修
総合科学科目	2 0 科目から 8 単位選択必修
課題探求プロジェクト科目	課題探求プロジェクト基礎 A, 基礎 B, 課題探求プロジェクト I, II の 8 単位必修  課題探求プロジェクト III A, III B, III C 3 科目から 4 単位選択必修
現代社会科目 (入門)	7 科目から グローバルアプローチは 4 単位以上選択必修 地域創生アプローチは 8 単位以上選択必修
現代社会科目 (発展)	2 1 科目から グローバルアプローチは 8 単位以上選択必修 地域創生アプローチは 1 0 単位以上選択必修
現代社会科目 (地域)	8 科目から グローバルアプローチは 4 単位以上選択必修 地域創生アプローチは 8 単位以上選択必修
現代社会科目 (国際)	6 科目から 4 単位以上選択必修
多文化理解科目	3 8 科目から グローバルアプローチは 5 分野のうちいずれかの 2 分野の中から 4 単位ずつ 8 単位を含む 1 2 単位 以上選択必修 地域創生アプローチは「異文化コミュニケーション」 を含む 6 単位以上選択必修
卒業研究科目	「卒業研究セミナー」及び「卒業研究」の 7 単位 必修  総単位数 1 2 4 単位以上
※半期 9 科目 1 8 単位を標準修得単位数とし、最大修得単位数を 2 2 単位とする。ただし、学生が希望すれば学部長の承認をもって、最大 2 4 単位までの上乗せを認める。	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
入門科目	大学教育入門セミナー	1①・②	2			3	4	2			
	小計(1科目)	-	2	0	0	3	4	2	0	0	0
基礎教育科目	情報処理基礎	1①・②	2				1				
	英語 I	1①	1					1		2	
	英語 II	1①	1							3	
	英語 III	1①	1				1			2	
	英語 IV	1①	1					2		1	
	英語 V	1②	1					1		2	
	英語 VI	1②	1							3	
	英語 VII	1②	1				1			2	
	英語 VIII	1②	1					2		1	
	ドイツ語 I	2①		1			1				
	ドイツ語 II	2②		1			1				
	ドイツ語 III	2③		1			1				
	ドイツ語 IV	2④		1			1				
	フランス語 I	2①		1		1					
	フランス語 II	2②		1		1					
	フランス語 III	2③		1			1				
	フランス語 IV	2④		1			1				
	中国語 I	2①		1			1				
	中国語 II	2②		1			1				
	中国語 III	2③		1						1	
	中国語 IV	2④		1						1	
	日本語 A	3①・②		1						1	
	日本語 B	3③・④		1						1	
	日本語 C	3①・②		1						1	
	日本語 D	3③・④		1						1	
	日本語 E	3①・②		1						1	
	日本語 F	3③・④		1						1	
	日本語 G	3①・②		1						1	
	日本語 H	3③・④		1						1	
	小計(29科目)	-	10	20	0	1	5	0	2	0	10
共通教育科目	<地域コア科目群>										
	ものづくり・産業振興・技術継承分野										
	現代社会とビジネス	2①・②		2							1
	現代社会とキャリア・アントレプレナーシップ	2③・④		2							1
	科学技術と社会	2①・②		2							1
	衣生活の現状	2①・②		2							1
	ロボットの知能と学習	2①・②		2							1
	進化する繊維の技術	2①・②		2							5
	現場で役立つ機器分析	2①・②		2							1
	半導体の科学	2③・④		2							1
	繊維の世界	2③・④		2							5
	新素材の世界	2③・④		2							3
	地方創生推進モデルの事例研究-福井県-	2③・④		2							1
	ふくいを知る・見る・考える II	2③・④		2							1
	持続可能な社会・環境づくり分野										
	こども環境学入門	2③・④		2							1
	環境問題と社会	2①・②		2							0
	まちづくり論	2①・②		2							3
	都市と建築の環境	2③・④		2							3
	科学技術と環境	2①・②		2							4
	科学技術と倫理	2③・④		2							1
	地域の局地気象	2①・②		2							1
	自然史と生物	2①・②		2							1
日本海地域の自然と環境	2①・②		2							1	
地域の自然と環境 (福井や日本海地域を中心に)	2①・②		2							1	
地球の環境	2③・④		2							1	
福井の経済と経営者	2①・②		2							1	
コミュニティと住民組織	2③・④		2			1					
地球科学コミュニケーション	2①・②		2							2	
これからの地方創生と経営学	2①・②		2							1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	教員	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	ふくいを知る・見る・考える	2①・②	2							2	
	原子力・エネルギー分野										
	電磁波と物質	2①・②	2							2	
	エネルギー科学	2③・④	2							1	
	生活の中の熱とエネルギー	2③・④	2							1	
	熱と流れ	2③・④	2							2	
	エネルギーと環境	2③・④	2							1	
	災害の科学	2③・④	2							7	
	災害ボランティア論	2③・④	2							1	
	東日本大震災をどう受け止めるか	2③・④	2		1					4	
	放射線利用－医学と産業－	2①・②	2							6	
	地域の防災・危機管理	2①・②	2							3	
	<教養教育科目群>										
	人間情報・英語コミュニケーション分野										
	批判的思考を伸ばす	2①・②	2								1
	「社会がわかる」とは？	2①・②	2								1
	心を探る（人間関係論）	2①・②	2								1
	こころの発達と健康	2①・②	2								1
	人間の科学特別演習A（教育学）	2③・④	2								1
	人間の科学特別演習B（心理学）	2③・④	2								3
	人間の科学特別演習C（障害児）	2③・④	2								3
	子どもと学校	2③・④	2								1
	教えることと学ぶこと	2③・④	2								1
	アクティブ・ラーニングと生涯学習	2③・④	2								2
	学問の入り口	2①・②	2								1
	生まれること、産むこと	2①・②	2								1
	健康科学・医科学概論	2③・④	2								15
	ニューススポーツと健康生活	2①・②	2								1
	アウトドアスポーツとバリアフリー	2①・②	2								1
	健康メディアリテラシー	2③・④	2								1
	ネットリテラシー（リレーラー）情報の理解と活用	2③・④	2								0
	哲学的人間学Ⅰ	2③・④	2								1
	哲学的人間学Ⅱ	2③・④	2								1
	日本思想	2①・②	2								1
	宗教と哲学	2①・②	2								1
	哲学入門	2①・②	2			1					1
	哲学とは何か	2③・④	2								1
	スピーキングⅠ	2①・②	2				1				1
	リスニングⅡ	2①・②	2								1
	ライティングⅠ	2①・②	2								1
	ライティングⅡ	2③・④	2				1				1
	リーディング	2③・④	2								1
	ヨーロッパの言語事情	2①・②	2			1					1
	多文化コミュニケーションA（異文化コミュニケーションA）	2③・④	2								1
	多文化コミュニケーションB（日本語コミュニケーションB）	2①・②	2								1
	多文化コミュニケーションC（異文化コミュニケーションC）	2①・②	2								1
	言語生活論	2①・②	2								1
	言語表現	2③・④	2								1
	応用日本語Ⅰ	2①・②	2								1
	応用日本語Ⅱ	2③・④	2								1
中国語の世界1	2①・②	2								1	
中国語の世界2	2③・④	2								1	
中国語の世界3	2①・②	2				0				1	
中国語の世界4	2③・④	2				0				1	
ドイツ語の世界1	2①・②	2								1	
ドイツ語の世界2	2③・④	2								1	
ドイツ語の世界3	2①・②	2								1	
ドイツ語の世界4	2③・④	2								1	
フランス語の世界1	2①・②	2				1				1	
フランス語の世界2	2③・④	2				1				1	
フランス語の世界3	2①・②	2								1	
フランス語の世界4	2③・④	2								1	
こころの成長	2①・②	2								2	

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数		専任教員等の配置						兼任・ 兼担	
			必 修	選 自	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
										0		1
共通教育科目	世界の歴史から学ぶ～南蛮のトットちゃん～と近代の教育*	2③・④	2									1
	歴史・文化理解分野											
	東洋史A（「東アジア世界」と日本）	2①・②	2									1
	東洋史B（近代日本とアジア諸国）	2③・④	2									1
	日本史（中世社会の転換）	2③・④	2									1
	日本史（近世社会の展開）	2①・②	2									1
	発展途上国の人間地生態	2①・②	2		1							
	地図に見る歴史と景観	2①・②	2									1
	「歴史」のトリビア（歴史文化論から歴史教育まで）	2③・④	2									1
	ラテン語とキリスト教	2①・②	2									1
	アメリカの文化	2③・④	2									1
	フランス文学入門	2①・②	2		1							
	フランスの文化A（文学と絵画）	2①・②	2			1						
	フランスの文化B（V・M・Rとその時代）	2③・④	2				1					
	ヨーロッパの映画	2③・④	2		1							
	ドイツの文化	2①・②	2			1						
	中国の文化	2③・④	2				0					1
	中国のことば	2①・②	2			1						
	中国の古典文学	2①・②	2									1
	日本語の歴史	2③・④	2									1
	白川文字学	2③・④	2									1
	日本の文化	2①・②	2									1
	日本事情A（日本語と文化）	2①・②	2									1
	日本事情B（社会と文化）	2③・④	2									1
	近現代の音楽芸術	2①・②	2									1
	合唱の魅力を探る	2①・②	2									1
	ポピュラー音楽の魅力をさぐる	2③・④	2									1
	ピアノの魅力をさぐる	2③・④	2									1
	現代音楽入門	2③・④	2									1
	生活と美術～みる、えがく、つくる	2①・②	2									1
	造形美術の世界～表現世界の多様性	2①・②	2									1
	造形美術の世界～絵画	2①・②	2									1
	考古学入門	2③・④	2					1				
	社会経済・科学技術分野											
	経済学A（金融って何だろう）	2③・④	2			1						
	経済学B（現代社会とワケルール）	2①・②	2			1						
	経済学C（経済学の基礎理論）	2①・②	2					1				
	マネジメント入門	2①・②	2					1				
	憲法概論	2①・②	2									1
	日本国憲法	2①・②	2									1
	主権者意識をはぐくむ	2③・④	2									1
	社会学A（相互行為論入門）	2①・②	2			1						
	社会学B（現代農村の社会学）	2③・④	2			1						
	政治学A（現代政治学入門）	2①・②	2			1						
	政治学B（戦後日本の政治）	2③・④	2			1						
	ジェンダー論	2③・④	2				1					
	音と振動	2①・②	2									1
	バイオの世界	2①・②	2									6
	電子の世界	2①・②	2									1
	生体機能と化学物質	2③・④	2									6
	数値計算の考え方	2①・②	2									1
	計算機システムの基礎	2①・②	2									2
コンピュータと情報処理	2①・②	2									1	
生体情報工学	2①・②	2									1	
宮沢賢治と非線形科学	2③・④	2									1	
ゲームとパズルの数学	2③・④	2									1	
数学の歴史	2③・④	2									1	
数学のことばで理解する物理学	2③・④	2									1	
対称性と微分方程式	2①・②	2									1	
ランダム現象の記述	2③・④	2									1	
物理と微積分	2①・②	2									1	
科学的な見方・考え方	2③・④	2									2	
植物の生活史と進化	2③・④	2									1	
ヒトの生物学	2③・④	2									1	
火山のはなし	2③・④	2									1	
宇宙の成り立ち	2③・④	2									0	
キャリアデザイン（自分の将来について考えてみる）	2③・④	2									1	
小計(152科目)	-	0	304	0	8	5	4	0	0	0	164	

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担	
			必	選	自	教	准	講	助	助		
			修	択	由	授	授	師	教	手		
専門基礎科目	国際地域概論	1③・④	2			7	2	2				
	小計(1科目)	-	2	0	0	7	2	2	0	0	0	
外国語科目	<英語>											
	TOEFL対策講座	1①・②	1			1						1
	English ReadingⅢ	1③	1			1						1
	English ReadingⅣ	1④	1			1						1
	English WritingⅢ	1③	1				1					2
	English WritingⅣ	1④	1				1					2
	英作文Ⅰ	2①		1					1			1
	英作文Ⅱ	2②		1					1			1
	Academic ReadingⅠ	2①		1			1					0
	Academic ReadingⅡ	2②		1			1					0
	Academic English WritingⅠ	2③		1			1		1			
	Academic English WritingⅡ	2④		1			1		1			
	<ドイツ語>											
	ドイツ言語文化講読	3①・②			2		1					
	比較文化論演習	3③・④				2	1					
	<フランス語>											
	現代事情講読	3①・②				2	1					
	フランス言語文化講読	3③・④				2	1					
	フランス文学講読	4①・②				2	1					
	<中国語>											
	中国語文章表現	2③・④				2		0				1
中国語音声理解	2③・④				2		1					
中国語音声表現	2③・④				2		1					
応用中国語Ⅰ	3③・④				2		1					
応用中国語Ⅱ	4①・②				2		1					
小計(21科目)	-		5	6	20	3	4	0	1	0	6	
専門教育科目	リサーチ入門(J)	1①・②		2		1						
	リサーチ入門(E)	1①・②		2								1
	統計入門	1③・④		2								1
	情報技術基礎	1③・④		2			1					
	データサイエンスⅠ	2①・②		2								1
	データサイエンスⅡ	2③・④		2			1					
	社会調査論	2③・④		2		1		1				
	地域データ分析	2③・④		2		1						
	量的データ分析	3①・②		2			1					
	質的調査法(J)	3①・②		2		1		1				
	質的調査法(E)	2③・④		2			1		3			
小計(11科目)	-		0	22	0	2	2	1	3	0	2	
日本理解科目	日本語学概論	2①・②		2								1
	コミュニケーションのための日本語教育論	2①・②		2								1
	日本史概説	2①・②		2								1
	日本の近代文学	2③・④		2								1
	日本の学校教育	3③・④		2		1						
小計(5科目)	-		2	8	0	1	0	0	0	0	4	
総合科学科目	<生活環境分野>											
	環境教育論	2③・④		2								1
	地域計画論	2③・④		2				1				
	地域環境論	3①・②		2								1
	子どもと住環境	3①・②		2				1				
	<科学技術分野>											
	放射線安全工学	2③・④		2								5
	放射線の生物影響と防護	3①・②		2								2
	原子力・災害関連法令と国際的関係	4③・④		2								1
	知的財産の基礎知識	2③・④		2								1
	ベンチャービジネス概論	3①・②		2								1
	フロントランナー	4③・④		2								2
	ものづくり基礎工学	3③・④		2								1
	建築計画各論第一	2③・④		2								1
建築計画各論第二	3①・②		2								1	
建築史	4①・②		2								1	
資源エネルギー概論	4①・②		2								1	



科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
												0	0
総合科学科目	<医療分野>												
	医療概論Ⅰ	3①・②	2									20	
	医療概論Ⅱ	3③・④	2									1	
	医療特論Ⅰ	3③・④	2									3	
	医療特論Ⅱ	4①・②	1									12	
	医療特論Ⅲ	4①・②	2									1	
	小計(20科目)	—	0	39	0	0	0	1	0	0		54	
	課題探求プロジェクト科目	課題探求プロジェクト基礎A	1③	2			6	4	5				
		課題探求プロジェクト基礎B	1④	2			6	4		3			
		課題探求プロジェクトⅠ	2①・②	2			11	7	5	3			
		課題探求プロジェクトⅡ	2③・④	2			9	8	5	1			
		課題探求プロジェクトⅢA	3①・②	2			10	8	5				
		課題探求プロジェクトⅢB	3③・④	2			10	7	5	3			
		課題探求プロジェクトⅢC	4①・②	2			5	5					
		小計(7科目)	—	8	6	0	12	8	5	3	0	0	0
	現代社会科学目(入門)	法学概論	1③・④	2			1						
		政治学概論	1③・④	2		1							
		経済理論(ミクロ)	1③・④	2					1				
		経済理論(マクロ)	2①・②	2					1				
		経営学概論	2①・②	2					1				
社会学概論		2①・②	2		1								
生涯学習概論		2①・②	2			1							
小計(7科目)		—	0	14	0	2	2	2	0	0	0	0	
専門教育科目	<法学、政治学系>												
	民法(総則)	2①・②	2			1							
	民法(物権・債権)	3①・②	2			1							
	民法(親族・相続)	3①・②	2			1							
	行政法Ⅰ(総論)	2①・②	2									1	
	行政法Ⅱ(行政救済法)	2③・④	2									1	
	地方自治法	2③・④	2									1	
	社会保障法	3①・②	2									1	
	労働法	3③・④	2									1	
	<経済、経営学系>												
	産業地理学	2③・④	2		1								
	経済政策論	2③・④	2				1						
	会計学	2③・④	2		1								
	アントレプレナーシップ論	3①・②	2									1	
	観光学	3①・②	2									1	
	マーケティング論	4①・②	2									1	
	<社会学系>												
	文化資源論	2③・④	2					1					
	都市コミュニティ論	2③・④	2					1					
	ジェンダー論入門	2③・④	2			1							
	人間関係論	3①・②	2									1	
農村社会論	3③・④	2		1									
メディア論	4①・②	2									1		
社会教育計画	4①・②	2				1							
小計(21科目)	—	0	42	0	3	2	3	0	0	0	7		
現代社会科学目(地域)	地域経済論	3①・②	2			1							
	都市と農村	3①・②	2			1							
	住民組織論	3①・②	2					1					
	男女共同参画学習論	3①・②	2				1						
	地域福祉論	3①・②	2									1	
	地域情報システム	3③・④	2				1						
	地域文化マネジメント	3③・④	2					1					
	福井地域の歴史	3③・④	2			1						1	
小計(8科目)	—	0	16	0	2	2	2	0	0	0	2		
現代社会科学目(国際)	国際政治学	2①・②	2			1							
	国際関係論	2①・②	2			1							
	国際政策	2③・④	2			1							
	ドイツの現代事情	2①・②	2				1						
	国際コミュニケーション論	3③・④	2			1							
小計(5科目)	—	0	10	0	2	1	0	0	0	0	0		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	<語学・言語とリテラシー>											
	留学セミナー	①-④	1			1						1
	弁論法	①③④	2									
	世界共通語としての英語	②③④	2			1						
	言語学入門	①②	2			1			1			
	英語圏の言語と文化	②③④	2			1						
	日本語の変遷	②③④	2						1			
	アメリカ英語入門	②③④	2				1					
	①:学習者のための発声学・音韻論入門	③①②	2				1					
	第二言語習得	③①②	2						1			
	日英対照言語学	③③④	2			1						
	心理言語学	④①②	2						1			
	<人間科学・社会科学>											
	異文化コミュニケーション	①③④	2							1		1
	発達心理学	②③④	2									0
	人間の発達	③③④	2									0
	教育におけるゲーム	④①②	2						1			
	教育における社会正義の問題	②③④	2				1					
	教育社会学	③③④	2				1					
	比較教育学	③③④	2					1				
	<人文科学>											
	日本の伝統文化入門	②③④	2									1
	イギリス表象文化	②③④	2			1						
	民族音楽学	①③④	2									0
	西洋における人道的伝統	③①②	2			1						
	<文学>											
	アメリカの短編小説	②③④	2						1			
	アメリカ文学の諸トピックス	③①②	2						1			
	アジア系アメリカ文学	③③④	2						1			
	イギリス文学	③③④	2			1						
	アイルランドの文学	④①②	2									1
	比較文学	④①②	2						1			
	文学に見られる女性	④③④	2									1
	<多言語・多文化>											
	比較文化論	②①②	2				1					
	ドイツ文学	②③④	2					1				
	フランス文学	③③④	2			1						
	ヨーロッパの表象文化	②①②	2			1	1					
	国際文化交流論	②③④	2					1				
	中国文学	③①②	2									1
	中国語学概論	③①②	2				1					
現代中国語講読	③①②	2				1					1	
中国文化特殊講義	③③④	2				1						
中国文化演習	④①②	2				1					1	
小計(39科目)	-	0	77	0	5	6	1	3	0	3		
卒業研究科目	卒業研究セミナー	④①	1			5	3	5				
	卒業研究	④①④	6			12	8	5	3			
	小計(2科目)	-	7	0	0	12	8	5	3	0	0	
	合計(329科目)	-	36	564	20	12	8	6	3	0	200	

卒業要件及び履修方法

1. 共通教育科目	3 2 単位以上 (以下の単位数は最低履修要件単位数を示す。)
入門科目	全 1 科目 2 単位必修
基礎教育科目	情報処理基礎 2 単位必修 英語科目全 8 科目 8 単位必修 第 2 外国語・日本語科目 2 0 科目から 4 単位以上 選択必修
共通教養科目	1 3 8 科目から 1 6 単位以上選択必修
2. 専門教育科目	9 2 単位以上 (以下の単位数は最低履修要件単位数を示す。)
専門基礎科目	全 1 科目 2 単位必修
外国語科目	英語科目 1 1 科目から グローバルアプローチは必修 5 単位を含む 1 0 単位以上選択必修 地域創生アプローチは必修を含む 5 単位 以上選択必修 第 2 外国語 1 0 科目は自由科目
リサーチ・リテラシー科目	1 1 科目から グローバルアプローチは 6 単位以上選択必修 地域創生アプローチは 1 2 単位以上選択必修
日本理解科目	5 科目から必修 2 単位を含む 4 単位選択必修
総合科学科目	2 0 科目から 8 単位選択必修
課題探求プロジェクト科目	課題探求プロジェクト基礎 A、基礎 B、 課題探求プロジェクト I、II の 8 単位必修  課題探求プロジェクト III A、III B、III C 3 科目から 4 単位選択必修
現代社会科目 (入門)	7 科目から グローバルアプローチは 4 単位以上選択必修 地域創生アプローチは 8 単位以上選択必修
現代社会科目 (発展)	2 1 科目から グローバルアプローチは 8 単位以上選択必修 地域創生アプローチは 1 0 単位以上選択必修
現代社会科目 (地域)	8 科目から グローバルアプローチは 4 単位以上選択必修 地域創生アプローチは 8 単位以上選択必修
現代社会科目 (国際)	6 科目から 4 単位以上選択必修
多文化理解科目	3 8 科目から グローバルアプローチは 5 分野のうちいずれかの 2 分野の中から 4 単位ずつ 8 単位を含む 1 2 単位 以上選択必修 地域創生アプローチは「異文化コミュニケーション」 を含む 6 単位以上選択必修
卒業研究科目	「卒業研究セミナー」及び「卒業研究」の 7 単位 必修
	総単位数 1 2 4 単位以上

※半期 9 科目 1 8 単位を標準修得単位数とし、最大修得単位数を 2 2 単位とする。ただし、学生が希望すれば学部長の承認をもって、最大 2 4 単位までの上乗せを認める。

- (注) ・ 報告年度の 5 月 1 日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
  - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第 2 号 (その 2 の 1) に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て (兼任、兼担教員が担当する科目を含む。) を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1 ページ目には認可時又は届出時と報告年度 2 つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度 (平成 2 9 年度開設であれば平成 2 8 年度) の表は適宜削除してください。  
(2 つの表が 1 ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成28年度】

- ・COC+事業に伴う地域志向科目の充実のため、「地方創生福井モデルの事例研究—鯖江学—」、「これからの地方創生と経営学」、「ふくいを知る・見る・考える」の科目を追加。
- ・退職により教員を見直し、「環境問題と社会」の兼任・兼任教員を「兼1」から「兼0」に変更。後任補充予定。
- ・退職により教員を見直し、「都市と建築の環境」の兼任・兼任教員を「兼3」から「兼2」に変更。複数名で担当のため、後任なし。
- ・退職により教員を見直し、「科学技術と環境」の兼任・兼任教員を「兼4」から「兼3」に変更。複数名で担当のため、後任なし。
- ・退職により教員を見直し、「English ReadingⅢ」「English ReadingⅣ」「Academic ReadingⅠ」「Academic ReadingⅡ」の兼任・兼任教員を「兼2」から「兼0」に変更。後任補充予定。
- ・退職により教員を見直し、「医療概論Ⅰ」の兼任・兼任教員を「兼34」から「兼33」に変更。複数名で担当のため、後任なし。
- ・教育効果向上のため、「社会教育計画」の配当年次を「2年1・2クォーター」から「4年1・2クォーター」に変更。
- ・退職により教員を見直し、「発達心理学」「人間の発達」の兼任・兼任教員を「兼1」から「兼0」に変更。後任補充予定。

【平成29年度】

- ・教育効果向上のため、「進化する繊維の技術」の兼任・兼任教員を「兼3」から「兼5」に変更。
- ・退職により教員を見直し、「繊維の世界」の兼任・兼任教員を「兼5」から「兼4」に変更。複数名で担当のため、後任なし。
- ・COC+事業に伴う地域志向科目の充実のため、科目「ふくいを知る・見る・考えるⅡ」、「地域の自然と環境（福井や日本海地域を中心に）」を追加。
- ・教育効果向上のため、「科学技術と環境」の兼任・兼任教員を「兼3」から「兼4」に変更。
- ・教育効果向上のため、「コミュニティと住民組織」の配当年次を「2年1・2クォーター」から「2年3・4クォーター」に変更。
- ・退職により教員を見直し、「災害の科学」の兼任・兼任教員を「兼6」から「兼4」に変更。複数名で担当のため、後任なし。
- ・教育効果向上のため、「アクティブ・ラーニングと生涯学習」、「学問の入り口」、「歴史」のトリビア（歴史文化論から歴史教育まで）、「主権者意識をめぐむ」、「コンピューターと情報処理」、「地域の自然と環境（福井や日本海地域を中心に）」の科目を追加。
- ・退職により教員を見直し、「ネット型球技（バレーボール）指導の理論と実際」の兼任・兼任教員を「兼1」から「兼0」に変更。後任補充予定。
- ・田村（佐藤）容子福井大学退職（H29.3）により教員を見直し、「中国語の世界3」「中国語の世界4」について兼任教員で対応。
- ・田村（佐藤）容子福井大学退職（H29.3）後、兼任となり、「中国の文化」「中国語文章表現」「中国文学」の授業を受け持つ。
- ・教育効果向上のため、「マネジメント入門」の科目を追加し、専任教員（中村友哉講師）が担当。H29.1教員審査済み。
- ・教育効果向上のため、「TOEFL対策講座」の配当年次を「1年2クォーター」から「1年1・2クォーター」に変更。
- ・教員を見直し、後任補充のため、「English ReadingⅢ」「English ReadingⅣ」の兼任・兼任教員を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・教育効果向上のため、「日本語学概論」の配当年次を「2年1クォーター」から「2年1・2クォーター」に変更。
- ・教育効果向上のため、「コミュニケーションのための日本語教育論」の配当年次を「2年2クォーター」から「2年1・2クォーター」に変更。
- ・退職により教員を見直し、「建築計画各論第二」の兼任・兼任教員を「兼1」から「兼0」に変更。後任補充予定。
- ・教育効果向上のため、科目の教員体制の見直しを行い、「医療概論Ⅰ」の兼任・兼任教員を「兼33」から「兼19」に変更。
- ・教育効果向上のため、「医療特論Ⅰ」の兼任・兼任教員を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・教育効果向上のため、科目の教員体制の見直しを行い、「医療特論Ⅱ」の兼任・兼任教員を「兼8」から「兼12」に変更。
- ・田村（佐藤）容子福井大学退職（H29.3）により教員を見直し、「課題探求プロジェクト基礎A」「課題探求プロジェクトⅠ」「課題探求プロジェクトⅡ」「課題探求プロジェクトⅢA」「課題探求プロジェクトⅢB」「卒業研究セミナー」「卒業研究」に専任教員（中村友哉講師）を追加したことにより、専任教員等の配置の准教授を1名減。複数名で担当のため、後任なし。
- ・教育効果向上のため、「課題探求プロジェクト基礎A」「課題探求プロジェクトⅠ」「課題探求プロジェクトⅡ」「課題探求プロジェクトⅢA」「課題探求プロジェクトⅢB」「卒業研究セミナー」「卒業研究」に専任教員（中村友哉講師）を追加したことにより、専任教員等の配置の講師を1名増。H29.1教員審査済み。
- ・記載ミスのため、「課題探求プロジェクトⅢC」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授5」に変更。
- ・教育効果向上のため、「行政法Ⅱ（行政救済）」の配当年次を「3年1・2クォーター」から「2年3・4クォーター」に変更。
- ・教育効果向上のため、「国際関係論」の配当年次を「2年2クォーター」から「2年1・2クォーター」に変更。
- ・教育効果向上のため、「留学セミナー」の配当年次を「2年3クォーター、3年1クォーター」から「2年1クォーター、2年3クォーター、3年1クォーター」に変更。
- ・教育効果向上のため、「世界共通語としての英語」の配当年次を「2年1・2クォーター」から「2年3・4クォーター」に変更。
- ・教育効果向上のため、「英語圏の言語と文化」の配当年次を「2年3クォーター」から「2年3・4クォーター」に変更。
- ・教育効果向上のため、「教育における社会正義の問題」の配当年次を「2年1・2クォーター」から「2年3・4クォーター」に変更。
- ・教育効果向上のため、「日本の伝統文化入門」の配当年次を「2年1・2クォーター」から「2年3・4クォーター」に変更。
- ・田村（佐藤）容子福井大学退職（H29.3）後、兼任となり、「現代中国語講読」「中国文化演習」の科目を専任教員（永井崇弘准教授）と共同で授業を受け持つため兼任を追加。

【平成30年度】

- ・教育効果向上のため、「繊維の世界」の兼任・兼任教員を「兼4」から「兼5」に変更。
- ・退職により教員を見直し、「まちづくり論」の兼任・兼任教員を「兼4」から「兼3」に変更。複数名で担当のため、後任なし。
- ・教育効果向上のため、「都市と建築の環境」の兼任・兼任教員を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・教育効果向上のため、「ふくいを知る・見る・考える」の兼任・兼任教員を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・退職により教員を見直し、「電磁波と物質」の兼任・兼任教員を「兼4」から「兼2」に変更。複数名で担当のため、後任なし。
- ・教育効果向上のため、「災害の科学」の兼任・兼任教員を「兼4」から「兼7」に変更。
- ・教育効果向上のため、「人間の科学特別演習C（障害児）」の兼任・兼任教員を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・教育効果向上のため、「こころの成長」の科目を追加。
- ・COC+事業に伴う地域志向科目の充実のため、「教育の歴史から学ばず〜窓ぎわのトットちゃん〜と近代の教育〜」、「キャリアデザイン（自分の将来について考えてみる）」の科目を追加。
- ・教育効果向上のため、「バイオの世界」の兼任・兼任教員を「兼4」から「兼6」に変更。
- ・教育効果向上のため、「生体機能と化学物質」の兼任・兼任教員を「兼4」から「兼6」に変更。
- ・教育効果向上のため、「計算機システムの基礎」の兼任・兼任教員を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育効果向上のため、「アメリカ英語入門」「アジア系アメリカ文学」の配当年次を「3年1・2クォーター」から「3年3・4クォーター」に変更。
- ・教育効果向上のため、「西洋における人道的伝統」の配当年次を「3年3・4クォーター」から「3年1・2クォーター」に変更。
- ・教育効果向上のため、科目の教員体制の見直しを行い、「医療概論Ⅰ」の兼任・兼任教員を「兼19」から「兼20」に変更。
- ・退職により後任補充予定であった「建築計画各論第二」の担当が決まり、「兼0」から「兼1」に変更。
- ・退職により教員を見直し、「異文化コミュニケーション」の兼任・兼任教員を「兼2」から「兼1」に変更。複数名で担当のため、後任なし。
- ・退職により教員を見直し、「民族音楽学」の兼任・兼任教員を「兼1」から「兼0」に変更。後任補充予定。
- ・教員死亡による退職により教員を見直し、「宇宙の成り立ち」の兼任・兼任教員を「兼1」から「兼0」に変更。後任補充予定。

**【令和元年度】**

・退職により教員を見直し、「バイオの世界」の兼任・兼担を「兼6」から「兼5」に変更。複数名で担当のため、後任なし。  
 ・教員死亡による退職により教員を見直し、「批判的思考を伸ばす」の兼任・兼担教員を「兼1」から「兼0」に変更。後任補充予定。  
 ・退職により教員を見直し、「生まれること、産むこと」の兼任・兼担教員を「兼1」から「兼0」に変更。後任補充予定。  
 ・教育効果向上のため、「東日本大震災をどう受け止めるか」の兼任・兼担教員を「兼4」から「兼5」に変更。  
 ・教育効果向上のため、「進化する繊維の技術」の兼任・兼担教員を「兼5」から「兼4」に変更。複数名で担当のため、後任なし。  
 ・退職により教員を見直し、「生体機能と化学物質」の兼任・兼担を「兼6」から「兼5」に変更。複数名で担当のため、後任なし。  
 ・教育効果向上のため、「アクティブ・ラーニングと生涯学習」の兼任・兼担教員を「兼2」から「兼4」に変更。  
 ・教育効果向上のため、「都市と建築の環境」の兼任・兼担教員を「兼3」から「兼4」に変更。  
 ・教育効果向上のため、「コンピュータと情報処理」の兼任・兼担教員を「兼1」から「兼2」に変更。  
 ・退職により教員を見直し、「ふくいを知る・見る・考える」の兼任・兼担を「兼2」から「兼1」に変更。複数名で担当のため、後任なし。  
 ・教育効果向上のため、科目の教員体制の見直しを行い、「医療概論Ⅰ」の兼任・兼担教員を「兼20」から「兼25」に変更。  
 ・COC+事業に伴う地域志向科目の充実のため、「情報化社会の現在と未来」の科目を追加。  
 ・教育効果向上のため、「心理学的支援法」、「健康管理と食生活」、「数学史入門」、「近現代文化昆虫学」、「モノから読み解く文化財学」、「アートと地域コミュニティー」、「日本文学の楽しみ」、「対話と直感と共感で学ぶ物理」、「数学的活動」、「数と方程式」、「産業社会の中のセンサ技術」の科目を追加。  
 ・教育効果向上のため、「文化資源論」の配当年次を「2年3・4クォーター」から「2年1・2クォーター」に変更。  
 ・教育効果向上のため、「心理言語学」の配当年次を「4年1・2クォーター」から「4年3・4クォーター」に変更。  
 ・BECGE NICOLANGELO 福井大学退職 (H31.3) により教員を見直し、「英作文Ⅰ」、「英作文Ⅱ」、「Academic English Writing I」、「Academic English Writing II」について、専任教員の教員審査受審済。「質的調査法(E)」、「課題探求プロジェクト基礎B」、「課題探求プロジェクトⅠ」、「課題探求プロジェクトⅢB」、「卒業研究」については、専任教員等の配置の助教を1名減。複数名で担当のため、後任なし。  
 ・BECGE NICOLANGELO 福井大学退職 (H31.3) 兼任となり、「アメリカの短編小説」、「アメリカ文学の諸トピックス」、「アジア系アメリカ文学」、「比較文学」の授業を受け持つ。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。  
 ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
23 科目	282 科目	10 科目	315 科目	23 科目 [ 0 ]	308 科目 [ 26 ]	10 科目 [ 0 ]	341 科目 [ 26 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	人間の発達	2	3③④	専門	選択	担当者未定だったため、隔年開講だが令和元年度開講予定
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>「大学の所見」          担当者が未定だったため、隔年開講だが、令和元年度にも開講し、配当年次に受講できなかった学生に配慮する。</p> <p>「学生への周知方法」          履修説明会で周知、時間割に記載</p>
--

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{1}{315} = \boxed{0.31} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	駐車場の整備に伴う校地面積の見直し及び借用団地を返却したため(28)		
	校舎敷地	267,651㎡ 297,251㎡	㎡	㎡	267,651㎡ 297,251㎡			
	運動場用地	94,273㎡	㎡	㎡	94,273㎡			
	小 計	361,924㎡ 391,524㎡	㎡	㎡	361,924㎡ 391,524㎡			
	そ の 他	181,060㎡ 152,942㎡	㎡	㎡	181,060㎡ 152,942㎡			
	合 計	542,984㎡ 544,466㎡	㎡	㎡	542,984㎡ 544,466㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	附属病院建物を校舎面積から削除及び校舎新築のため(28)		
		138,456㎡ 138,611㎡ ( ㎡)	㎡ ( ㎡)	㎡ ( ㎡)	138,456㎡ 138,611㎡ ( ㎡)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	71室	99室	426室	18室 (補助職員 3人)	4室 (補助職員 3人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		専任教員1名退職のため(29)		
	国際地域学部国際地域学科			30 31 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での特定不能なため、大学全体の数
	国際地域学部	676,470 [203,071] (663,311 [201,333]) (-663,629 [-196,401]) (-644,470 [-199,071])	35,620 [6,610] (32,516 [19,308]) (-37,291 [-24,707]) (-35,614 [-6,603])	17,650 [900] (15,344 [14,032]) (-17,650 [-900])	6,326 (5,436) (-6,008) (-5,326)	6,000 ( 5,893 )	1 (1)	
	計	676,470 [203,071] (663,311 [201,333]) (-663,629 [-196,401]) (-644,470 [-199,071])	35,620 [6,610] (32,516 [19,308]) (-37,291 [-24,707]) (-35,614 [-6,603])	17,650 [900] (15,344 [14,032]) (-17,650 [-900])	6,326 (5,436) (-6,008) (-5,326)	6,000 ( 5,893 )	1 (1)	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
	8,653㎡		827		788,333			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					大学全体
	3,929㎡		屋外球技コート、プール、野球場					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費(運営費交付金)による
	経費の見積り	教員1人当り研究費等	- 千円	- 千円	図書購入費	- 千円	- 千円	
	維持方法	共同研究費等	- 千円	- 千円	設備購入費	- 千円	- 千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		- 千円	- 千円	- 千円	- 千円	- 千円	- 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。  
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	福井大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	年度	年度		
教育学部	4	100	-	400	学士 (教育学)	1.03	-	-	-	平成28年度から学部名称変更
学校教育課程	4	100	-	400	学士 (教育学)	1.03	-	平成28	福井県福井市文京3丁目9番1号	
教育地域科学部	4	-	-	-	-	-	-	-	-	
学校教育課程	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	-	平成23	福井県福井市文京3丁目9番1号	平成28年度から学生募集停止
地域科学課程	4	-	-	-	学士 (地域科学)	-	-	平成23	同上	平成28年度から学生募集停止
医学部		170	2年次 <sub>5</sub>	925		1.01	-	-	-	
医学科	6	110	2年次 <sub>5</sub>	685	学士 (医学)	1.00	平成30	昭和55	福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23号3番地	
看護学科	4	60	-	240	学士 (看護学)	1.03	-	平成9	同上	
工学部	4	525	3年次 <sub>40</sub>	2180	学士 (工学)	1.02	-	-	-	
機械・システム工学科	4	155	3年次 <sub>10</sub>	640	学士 (工学)	1.01	-	平成28	福井県福井市文京3丁目9番1号	
電気電子情報工学科	4	125	3年次 <sub>20</sub>	540	学士 (工学)	1.02	-	平成28	同上	
建築・都市環境工学科	4	60	3年次 <sub>10</sub>	260	学士 (工学)	1.05	-	平成28	同上	
物質・生命化学科	4	135	-	540	学士 (工学)	1.03	-	平成28	同上	
応用物理学科	4	50	-	200	学士 (工学)	1.05	-	平成28	同上	
機械工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	平成11	同上	平成28年度から学生募集停止
電気・電子工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	平成11	同上	平成28年度から学生募集停止
情報・システム工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	平成11	同上	平成28年度から学生募集停止
建築建設工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	平成11	同上	平成28年度から学生募集停止
材料開発工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	平成11	同上	平成28年度から学生募集停止
生物応用化学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	平成11	同上	平成28年度から学生募集停止
物理工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	平成11	同上	平成28年度から学生募集停止
知能システム工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	平成11	同上	平成28年度から学生募集停止
国際地域学部	4	60	-	240	学士 (国際地域)	1.05	-	平成28	-	
国際地域学科	4	60	-	240	学士 (国際地域)	1.05	-	平成28	福井県福井市文京3丁目9番1号	
大学全体	-	855	45	3745	-	-	-	-	-	
大学の名称	福井大学大学院									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍				
教育学研究科										
学校教育専攻 (修士課程)	2	27	-	54	修士 (教育学)	0.82	-	平成20	福井県福井市文京3丁目9番1号	



福井大学・奈良女子大学・岐阜聖徳学園大学連合教職開発研究科												
教職開発専攻 (専門職学位課程)	2	40	-	80	教職修士 (専門職)	0.84	-	平成30	福井県福井市文京 3丁目9番1号			
医学系研究科												
看護学専攻 (修士課程)	2	12	-	24	修士 (看護学)	0.83	-	平成13	福井県吉田郡永平寺町松 岡下合月23号3番地			
統合先進医学専攻 (博士課程)	4	25	-	100	博士 (医学)	0.90	-	平成25	同上			
先端応用医学専攻 (博士課程)	4	-	-	-	博士 (医学)	-	-	平成20	同上		平成25年度から学生 募集停止	
工学研究科												
機械工学専攻 (博士前期課程)	2	32	-	64	修士 (工学)	1.32	-	平成15	福井県福井市文京 3丁目9番1号			
電気・電子工学 専攻 (博士前期課程)	2	30	-	60	修士 (工学)	0.98	-	平成15	同上			
情報・メディア工学 専攻 (博士前期課程)	2	31	-	62	修士 (工学)	1.09	-	平成15	同上			
建築建設工学専攻 (博士前期課程)	2	28	-	56	修士 (工学)	0.94	-	平成15	同上			
材料開発工学専攻 (博士前期課程)	2	24	-	48	修士 (工学)	1.20	-	平成15	同上			
生物応用化学専攻 (博士前期課程)	2	21	-	42	修士 (工学)	1.23	-	平成15	同上			
物理学専攻 (博士前期課程)	2	18	-	36	修士 (工学)	1.05	-	平成15	同上			
知能システム工学専攻 (博士前期課程)	2	27	-	54	修士 (工学)	1.07	-	平成15	同上			
繊維先端工学専攻 (博士前期課程)	2	15	-	30	修士 (工学)	1.83	-	平成25	同上			
原子力・エネルギー 安全工学専攻 (博士前期課程)	2	27	-	54	修士 (工学)	0.75	-	平成16	同上			
総合創成工学専攻 (博士後期課程)	3	22	-	66	博士 (工学)	0.92	-	平成25	同上			
システム設計工学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (工学)	-	-	平成5	同上		平成25年度から学生 募集停止	
大学院全体	-	379	-	830								

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<国際地域学部 国際地域学科>

(1) ① 担当教員表 共通

【認可時又は届出時】

		【平成28年度】		【平成29年度】		【平成30年度】		【令和元年度】	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名	
兼任	理事 副学長	岩井 善郎 <平成29年4月> 工学博士	岩井 善郎 <平成29年4月> 工学博士	岩井 善郎 <平成29年4月> 工学博士	岩井 善郎 <平成29年4月> 工学博士	岩井 善郎 <平成29年4月> 工学博士	岩井 善郎 <平成29年4月> 工学博士	岩井 善郎 <平成29年4月> 工学博士	岩井 善郎 <平成29年4月> 工学博士
		地方創生福井モデルの事例研究 — 関江学 — ふくいを知る・見る・考える		地方創生福井モデルの事例研究 — 関江学 — ふくいを知る・見る・考える		地方創生福井モデルの事例研究 — 関江学 — ふくいを知る・見る・考える		地方創生福井モデルの事例研究 — 関江学 — ふくいを知る・見る・考える	
兼任	教授	川上 洋司 <平成29年4月> 工学博士	川上 洋司 <平成29年4月> 工学博士	川上 洋司 <平成29年4月> 工学博士	川上 洋司 <平成29年4月> 工学博士	川上 洋司 <平成29年4月> 工学博士	川上 洋司 <平成29年4月> 工学博士	川上 洋司 <平成29年4月> 工学博士	川上 洋司 <平成29年4月> 工学博士
		まちづくり論		まちづくり論		まちづくり論		まちづくり論	
兼任	教授	福原 輝幸 <平成29年4月> 工学博士	福原 輝幸 <平成29年4月> 工学博士	福原 輝幸 <平成29年4月> 工学博士	福原 輝幸 <平成29年4月> 工学博士	福原 輝幸 <平成29年4月> 工学博士	福原 輝幸 <平成29年4月> 工学博士	福原 輝幸 <平成29年4月> 工学博士	福原 輝幸 <平成29年4月> 工学博士
		災害の科学 ※		災害の科学 ※		災害の科学 ※		災害の科学 ※	
兼任	教授	齊藤 輝雄 <平成29年4月> 理学博士	齊藤 輝雄 <平成29年4月> 理学博士	齊藤 輝雄 <平成29年4月> 理学博士	齊藤 輝雄 <平成29年4月> 理学博士	齊藤 輝雄 <平成29年4月> 理学博士	齊藤 輝雄 <平成29年4月> 理学博士	齊藤 輝雄 <平成29年4月> 理学博士	齊藤 輝雄 <平成29年4月> 理学博士
		電磁波と物質 ※		電磁波と物質 ※		電磁波と物質 ※		電磁波と物質 ※	
兼任	教授	石井パークマン 麻子 <平成29年4月> Specialpedagogexamen (スウェーデン)	石井パークマン 麻子 <平成29年4月> Specialpedagogexamen (スウェーデン)	石井パークマン 麻子 <平成29年4月> Specialpedagogexamen (スウェーデン)	石井パークマン 麻子 <平成29年4月> Specialpedagogexamen (スウェーデン)	石井パークマン 麻子 <平成29年4月> Specialpedagogexamen (スウェーデン)	石井パークマン 麻子 <平成29年4月> Specialpedagogexamen (スウェーデン)	石井パークマン 麻子 <平成29年4月> Specialpedagogexamen (スウェーデン)	石井パークマン 麻子 <平成29年4月> Specialpedagogexamen (スウェーデン)
		人間の科学特別演習C (障害児)		人間の科学特別演習C (障害児)		人間の科学特別演習C (障害児)		人間の科学特別演習C (障害児)	
兼任	教授	安田 年博 <平成29年4月> 理学博士	安田 年博 <平成29年4月> 理学博士	安田 年博 <平成29年4月> 理学博士	安田 年博 <平成29年4月> 理学博士	安田 年博 <平成29年4月> 理学博士	安田 年博 <平成29年4月> 理学博士	安田 年博 <平成29年4月> 理学博士	安田 年博 <平成29年4月> 理学博士
		健康科学・医科学概論 ※		健康科学・医科学概論 ※		健康科学・医科学概論 ※		健康科学・医科学概論 ※	
兼任	教授	内田 博之 <平成29年4月> 博士(薬学)	内田 博之 <平成29年4月> 博士(薬学)	内田 博之 <平成29年4月> 博士(薬学)	内田 博之 <平成29年4月> 博士(薬学)	内田 博之 <平成29年4月> 博士(薬学)	内田 博之 <平成29年4月> 博士(薬学)	内田 博之 <平成29年4月> 博士(薬学)	内田 博之 <平成29年4月> 博士(薬学)
		バイオの世界 ※		バイオの世界 ※		バイオの世界 ※		バイオの世界 ※	
兼任	教授	服部 由美子 <平成29年4月> 家政修士	服部 由美子 <平成29年4月> 家政修士	服部 由美子 <平成29年4月> 家政修士	服部 由美子 <平成29年4月> 家政修士	服部 由美子 <平成29年4月> 家政修士	服部 由美子 <平成29年4月> 家政修士	服部 由美子 <平成29年4月> 家政修士	服部 由美子 <平成29年4月> 家政修士
		衣生活の現状		衣生活の現状		衣生活の現状		衣生活の現状	
兼任	教授	宗倉 啓 <平成29年4月> 教育学修士	宗倉 啓 <平成29年4月> 教育学修士	宗倉 啓 <平成29年4月> 教育学修士	宗倉 啓 <平成29年4月> 教育学修士	宗倉 啓 <平成29年4月> 教育学修士	宗倉 啓 <平成29年4月> 教育学修士	宗倉 啓 <平成29年4月> 教育学修士	宗倉 啓 <平成29年4月> 教育学修士
		ニュースポーツと健康生活		ニュースポーツと健康生活		ニュースポーツと健康生活		ニュースポーツと健康生活	
兼任	教授	澤崎 久和 <平成29年4月> 文学修士	澤崎 久和 <平成29年4月> 文学修士	澤崎 久和 <平成29年4月> 文学修士	澤崎 久和 <平成29年4月> 文学修士	澤崎 久和 <平成29年4月> 文学修士	澤崎 久和 <平成29年4月> 文学修士	澤崎 久和 <平成29年4月> 文学修士	澤崎 久和 <平成29年4月> 文学修士
		中国の古典文学		中国の古典文学		中国の古典文学		中国の古典文学	
兼任	教授	藤井 豊 <平成29年4月> 薬学博士	藤井 豊 <平成29年4月> 薬学博士	藤井 豊 <平成29年4月> 薬学博士	藤井 豊 <平成29年4月> 薬学博士	藤井 豊 <平成29年4月> 薬学博士	藤井 豊 <平成29年4月> 薬学博士	藤井 豊 <平成29年4月> 薬学博士	藤井 豊 <平成29年4月> 薬学博士
		健康科学・医科学概論 ※		健康科学・医科学概論 ※		健康科学・医科学概論 ※		健康科学・医科学概論 ※	
兼任	教授	上野 栄一 <平成29年4月> 博士(医学)	上野 栄一 <平成29年4月> 博士(医学)	上野 栄一 <平成29年4月> 博士(医学)	上野 栄一 <平成29年4月> 博士(医学)	上野 栄一 <平成29年4月> 博士(医学)	上野 栄一 <平成29年4月> 博士(医学)	上野 栄一 <平成29年4月> 博士(医学)	上野 栄一 <平成29年4月> 博士(医学)
		健康科学・医科学概論 ※		健康科学・医科学概論 ※		健康科学・医科学概論 ※		健康科学・医科学概論 ※	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	太田 淳一 <平成29年4月> 工学博士	熱と流れ ※	兼任	教授	太田 淳一 <平成29年4月> 工学博士	熱と流れ ※	兼任	教授	太田 淳一 <平成29年4月> 工学博士	熱と流れ ※	兼任	教授	太田 淳一 <平成29年4月> 工学博士	熱と流れ ※
兼任	教授	小川 勇 <平成29年4月> 理学博士	電磁波と物質 ※	兼任	教授	小川 勇 <平成29年4月> 理学博士	電磁波と物質 ※	兼任	教授	小川 勇 <平成29年4月> 理学博士	電磁波と物質 ※	兼任	教授	小川 勇 <平成29年4月> 理学博士	電磁波と物質 ※
兼任	教授	坂田 登 <平成29年4月> 文学修士	哲学的人間学Ⅰ 哲学的人間学Ⅱ ラテン語とキリスト教	兼任	教授	坂田 登 <平成29年4月> 文学修士	哲学的人間学Ⅰ 哲学的人間学Ⅱ ラテン語とキリスト教	兼任	教授	坂田 登 <平成29年4月> 文学修士	哲学的人間学Ⅰ 哲学的人間学Ⅱ ラテン語とキリスト教	兼任	教授	坂田 登 <平成29年4月> 文学修士	哲学的人間学Ⅰ 哲学的人間学Ⅱ ラテン語とキリスト教
兼任	教授	寺尾 健夫 <平成29年4月> 教育学修士	批判的思考を伸ばす	兼任	教授	寺尾 健夫 <平成29年4月> 教育学修士	批判的思考を伸ばす	兼任	教授	寺尾 健夫 <平成29年4月> 教育学修士	批判的思考を伸ばす	兼任	教授	寺尾 健夫 <平成29年4月> 教育学修士	批判的思考を伸ばす
兼任	教授	高木 裕美 <平成29年4月> 修士(教育学)	ピアノの魅力をさぐる	兼任	教授	高木 裕美 <平成29年4月> 修士(教育学)	ピアノの魅力をさぐる	兼任	教授	高木 裕美 <平成29年4月> 修士(教育学)	ピアノの魅力をさぐる	兼任	教授	高木 裕美 <平成29年4月> 修士(教育学)	ピアノの魅力をさぐる
兼任	教授	大山 利夫 <平成29年4月> 理学博士	ヒトの生物学	兼任	教授	大山 利夫 <平成29年4月> 理学博士	ヒトの生物学	兼任	教授	大山 利夫 <平成29年4月> 理学博士	ヒトの生物学	兼任	教授	大山 利夫 <平成29年4月> 理学博士	ヒトの生物学
兼任	教授	橋本 明弘 <平成29年4月> 工学博士	エネルギーと環境	兼任	教授	橋本 明弘 <平成29年4月> 工学博士	エネルギーと環境	兼任	教授	橋本 明弘 <平成29年4月> 工学博士	エネルギーと環境	兼任	教授	橋本 明弘 <平成29年4月> 工学博士	エネルギーと環境
兼任	教授	鞍谷 文保 <平成29年4月> 工学博士	音と振動	兼任	教授	鞍谷 文保 <平成29年4月> 工学博士	音と振動	兼任	教授	鞍谷 文保 <平成29年4月> 工学博士	音と振動	兼任	教授	鞍谷 文保 <平成29年4月> 工学博士	音と振動
兼任	教授	水沢 利栄 <平成29年4月> 体育学修士	アウトドアスポーツとバリアフリー	兼任	教授	水沢 利栄 <平成29年4月> 体育学修士	アウトドアスポーツとバリアフリー	兼任	教授	水沢 利栄 <平成29年4月> 体育学修士	アウトドアスポーツとバリアフリー	兼任	教授	水沢 利栄 <平成29年4月> 体育学修士	アウトドアスポーツとバリアフリー
兼任	教授	濱口 由美 <平成29年4月> 修士(教育学)	生活と美術—みる、えがく、つくる	兼任	教授	濱口 由美 <平成29年4月> 修士(教育学)	生活と美術—みる、えがく、つくる	兼任	教授	濱口 由美 <平成29年4月> 修士(教育学)	生活と美術—みる、えがく、つくる	兼任	教授	濱口 由美 <平成29年4月> 修士(教育学)	生活と美術—みる、えがく、つくる
兼任	教授	安倍 博 <平成29年4月> 医学博士	健康科学・医科学概論 ※	兼任	教授	安倍 博 <平成29年4月> 医学博士	健康科学・医科学概論 ※	兼任	教授	安倍 博 <平成29年4月> 医学博士	健康科学・医科学概論 ※	兼任	教授	安倍 博 <平成29年4月> 医学博士	健康科学・医科学概論 ※
兼任	教授	平田 隆幸 <平成29年4月> 理学博士	宮沢賢治と非線形科学	兼任	教授	平田 隆幸 <平成29年4月> 理学博士	宮沢賢治と非線形科学	兼任	教授	平田 隆幸 <平成29年4月> 理学博士	宮沢賢治と非線形科学	兼任	教授	平田 隆幸 <平成29年4月> 理学博士	宮沢賢治と非線形科学
兼任	教授	金通 忠 <平成29年4月> 工学博士	電子の世界	兼任	教授	金通 忠 <平成29年4月> 工学博士	電子の世界	兼任	教授	金通 忠 <平成29年4月> 工学博士	電子の世界	兼任	教授	金通 忠 <平成29年4月> 工学博士	電子の世界
兼任	教授	山本 博文 <平成29年4月> 博士(理学)	日本海地域の自然と環境 地球の環境	兼任	教授	山本 博文 <平成29年4月> 博士(理学)	日本海地域の自然と環境 地球の環境	兼任	教授	山本 博文 <平成29年4月> 博士(理学)	日本海地域の自然と環境 地球の環境	兼任	教授	山本 博文 <平成29年4月> 博士(理学)	日本海地域の自然と環境 地球の環境

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
兼任	教授	飛田 英孝 <平成29年4月> Doctor of Philosophy (カナダ)	飛田 英孝 <平成29年4月> Doctor of Philosophy (カナダ)	飛田 英孝 <平成29年4月> Doctor of Philosophy (カナダ)	飛田 英孝 <平成29年4月> Doctor of Philosophy (カナダ)	飛田 英孝 <平成29年4月> Doctor of Philosophy (カナダ)	飛田 英孝 <平成29年4月> Doctor of Philosophy (カナダ)
		科学技術と環境 ※	科学技術と環境 ※	科学技術と環境 ※	科学技術と環境 ※	科学技術と環境 ※	科学技術と環境 ※
兼任	教授	宇星 正美 <平成29年4月> 工学博士	宇星 正美 <平成29年4月> 工学博士	宇星 正美 <平成29年4月> 工学博士	宇星 正美 <平成29年4月> 工学博士	宇星 正美 <平成29年4月> 工学博士	宇星 正美 <平成29年4月> 工学博士
		東日本大震災をどう受け止めるか※	東日本大震災をどう受け止めるか※	東日本大震災をどう受け止めるか※	東日本大震災をどう受け止めるか※	東日本大震災をどう受け止めるか※	東日本大震災をどう受け止めるか※
兼任	教授	野嶋 慎二 <平成29年4月> 博士(工学)	野嶋 慎二 <平成29年4月> 博士(工学)	野嶋 慎二 <平成29年4月> 博士(工学)	野嶋 慎二 <平成29年4月> 博士(工学)	野嶋 慎二 <平成29年4月> 博士(工学)	野嶋 慎二 <平成29年4月> 博士(工学)
		まちづくり論	まちづくり論	まちづくり論	まちづくり論	まちづくり論	まちづくり論
兼任	教授	小嶋 啓介 <平成29年4月> 工学博士	小嶋 啓介 <平成29年4月> 工学博士	小嶋 啓介 <平成29年4月> 工学博士	小嶋 啓介 <平成29年4月> 工学博士	小嶋 啓介 <平成29年4月> 工学博士	小嶋 啓介 <平成29年4月> 工学博士
		災害の科学 ※ 災害ボランティア論	災害の科学 ※ 災害ボランティア論	災害の科学 ※ 災害ボランティア論	災害の科学 ※ 災害ボランティア論	災害の科学 ※ 災害ボランティア論	災害の科学 ※ 災害ボランティア論
兼任	教授	明石 行生 <平成29年4月> 博士(工学)	明石 行生 <平成29年4月> 博士(工学)	明石 行生 <平成29年4月> 博士(工学)	明石 行生 <平成29年4月> 博士(工学)	明石 行生 <平成29年4月> 博士(工学)	明石 行生 <平成29年4月> 博士(工学)
		都市と建築の環境 ※	都市と建築の環境 ※	都市と建築の環境 ※	都市と建築の環境 ※	都市と建築の環境 ※	都市と建築の環境 ※
兼任	教授	佐々木 隆 <平成29年4月> 工学博士	佐々木 隆 <平成29年4月> 工学博士	佐々木 隆 <平成29年4月> 工学博士	佐々木 隆 <平成29年4月> 工学博士	佐々木 隆 <平成29年4月> 工学博士	佐々木 隆 <平成29年4月> 工学博士
		新素材の世界 ※	新素材の世界 ※	新素材の世界 ※	新素材の世界 ※	新素材の世界 ※	新素材の世界 ※
兼任	教授	大久保 貢 <平成29年4月> 工学士	大久保 貢 <平成29年4月> 工学士	大久保 貢 <平成29年4月> 工学士	大久保 貢 <平成29年4月> 工学士	大久保 貢 <平成29年4月> 工学士	大久保 貢 <平成29年4月> 工学士
		半導体の科学	半導体の科学	半導体の科学	半導体の科学	半導体の科学	半導体の科学
兼任	教授	高山 善行 <平成29年4月> 博士(文学)	高山 善行 <平成29年4月> 博士(文学)	高山 善行 <平成29年4月> 博士(文学)	高山 善行 <平成29年4月> 博士(文学)	高山 善行 <平成29年4月> 博士(文学)	高山 善行 <平成29年4月> 博士(文学)
		日本語の歴史	日本語の歴史	日本語の歴史	日本語の歴史	日本語の歴史	日本語の歴史
兼任	教授	萩原 隆 <平成29年4月> 工学博士					
		科学技術と環境 ※					
兼任	教授	小原 敦美 <平成29年4月> 工学博士	小原 敦美 <平成29年4月> 工学博士	小原 敦美 <平成29年4月> 工学博士	小原 敦美 <平成29年4月> 工学博士	小原 敦美 <平成29年4月> 工学博士	小原 敦美 <平成29年4月> 工学博士
		対称性と微分方程式	対称性と微分方程式	対称性と微分方程式	対称性と微分方程式	対称性と微分方程式	対称性と微分方程式
兼任	教授	前田 寧 <平成29年4月> 博士(工学)	前田 寧 <平成29年4月> 博士(工学)	前田 寧 <平成29年4月> 博士(工学)	前田 寧 <平成29年4月> 博士(工学)	前田 寧 <平成29年4月> 博士(工学)	前田 寧 <平成29年4月> 博士(工学)
		生体機能と化学物質 ※	生体機能と化学物質 ※	生体機能と化学物質 ※	生体機能と化学物質 ※	生体機能と化学物質 ※	生体機能と化学物質 ※
兼任	教授	山田 徳史 <平成29年4月> 博士(理学)	山田 徳史 <平成29年4月> 博士(理学)	山田 徳史 <平成29年4月> 博士(理学)	山田 徳史 <平成29年4月> 博士(理学)	山田 徳史 <平成29年4月> 博士(理学)	山田 徳史 <平成29年4月> 博士(理学)
		数学のこぼれで理解する物理学	数学のこぼれで理解する物理学	数学のこぼれで理解する物理学	数学のこぼれで理解する物理学	数学のこぼれで理解する物理学	数学のこぼれで理解する物理学
兼任	教授	櫻井 明彦 <平成29年4月> 博士(工学)	櫻井 明彦 <平成29年4月> 博士(工学)	櫻井 明彦 <平成29年4月> 博士(工学)	櫻井 明彦 <平成29年4月> 博士(工学)	櫻井 明彦 <平成29年4月> 博士(工学)	櫻井 明彦 <平成29年4月> 博士(工学)
		バイオの世界 ※	バイオの世界 ※	バイオの世界 ※	バイオの世界 ※	バイオの世界 ※	バイオの世界 ※
兼任	教授	渡谷 政子 <平成29年4月> 博士(音楽学)	渡谷 政子 <平成29年4月> 博士(音楽学)	渡谷 政子 <平成29年4月> 博士(音楽学)	渡谷 政子 <平成29年4月> 博士(音楽学)	渡谷 政子 <平成29年4月> 博士(音楽学)	渡谷 政子 <平成29年4月> 博士(音楽学)
		近現代の音楽芸術	近現代の音楽芸術	近現代の音楽芸術	近現代の音楽芸術	近現代の音楽芸術	近現代の音楽芸術 民族音楽学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	東原 一嘉 <平成29年4月> 博士(理学)	物理と微積分	兼任	教授	東原 一嘉 <平成29年4月> 博士(理学)	物理と微積分	兼任	教授	東原 一嘉 <平成29年4月> 博士(理学)	物理と微積分	兼任	教授	東原 一嘉 <平成29年4月> 博士(理学)	物理と微積分
兼任	教授	細田 陽介 <平成29年4月> 博士(工学)	数値計算の考え方	兼任	教授	細田 陽介 <平成29年4月> 博士(工学)	数値計算の考え方	兼任	教授	細田 陽介 <平成29年4月> 博士(工学)	数値計算の考え方	兼任	教授	細田 陽介 <平成29年4月> 博士(工学)	数値計算の考え方
兼任	教授	光藤 誠太郎 <平成29年4月> 博士(理学)	電磁波と物質 ※	兼任	教授	光藤 誠太郎 <平成29年4月> 博士(理学)	電磁波と物質 ※	兼任	教授	光藤 誠太郎 <平成29年4月> 博士(理学)	電磁波と物質 ※	兼任	教授	光藤 誠太郎 <平成29年4月> 博士(理学)	電磁波と物質 ※
兼任	教授	永井 二郎 <平成29年4月> 博士(工学)	熱と流れ ※	兼任	教授	永井 二郎 <平成29年4月> 博士(工学)	熱と流れ ※	兼任	教授	永井 二郎 <平成29年4月> 博士(工学)	熱と流れ ※	兼任	教授	永井 二郎 <平成29年4月> 博士(工学)	熱と流れ ※
兼任	教授	田上 秀一 <平成29年4月> 博士(工学)	繊維の世界 ※	兼任	教授	田上 秀一 <平成29年4月> 博士(工学)	繊維の世界 ※	兼任	教授	田上 秀一 <平成29年4月> 博士(工学)	繊維の世界 ※	兼任	教授	田上 秀一 <平成29年4月> 博士(工学)	繊維の世界 ※
兼任	教授	中根 幸治 <平成29年4月> 博士(工学)	繊維の世界 ※	兼任	教授	中根 幸治 <平成29年4月> 博士(工学)	繊維の世界 ※	兼任	教授	中根 幸治 <平成29年4月> 博士(工学)	繊維の世界 ※	兼任	教授	中根 幸治 <平成29年4月> 博士(工学)	繊維の世界 ※
兼任	教授	久田 研次 <平成29年4月> 博士(工学)	進化する繊維の技術 ※	兼任	教授	久田 研次 <平成29年4月> 博士(工学)	進化する繊維の技術 ※	兼任	教授	久田 研次 <平成29年4月> 博士(工学)	進化する繊維の技術 ※	兼任	教授	久田 研次 <平成29年4月> 博士(工学)	進化する繊維の技術 ※
兼任	教授	浅原 雅浩 <平成29年4月> 博士(工学)	地域科学コミュニケーション	兼任	教授	浅原 雅浩 <平成29年4月> 博士(工学)	地域科学コミュニケーション	兼任	教授	浅原 雅浩 <平成29年4月> 博士(工学)	地域科学コミュニケーション	兼任	教授	浅原 雅浩 <平成29年4月> 博士(工学)	地域科学コミュニケーション
兼任	教授	西村 保三 <平成29年4月> 博士(理学)	ゲームとパズルの数学	兼任	教授	西村 保三 <平成29年4月> 博士(理学)	ゲームとパズルの数学	兼任	教授	西村 保三 <平成29年4月> 博士(理学)	ゲームとパズルの数学	兼任	教授	西村 保三 <平成29年4月> 博士(理学)	ゲームとパズルの数学
兼任	教授	湊 七雄 <平成29年4月> Meester in Beeldende Kunst (ベルギー)	造形美術の世界—絵画	兼任	教授	湊 七雄 <平成29年4月> Meester in Beeldende Kunst (ベルギー)	造形美術の世界—絵画	兼任	教授	湊 七雄 <平成29年4月> Meester in Beeldende Kunst (ベルギー)	造形美術の世界—絵画	兼任	教授	湊 七雄 <平成29年4月> Meester in Beeldende Kunst (ベルギー)	造形美術の世界—絵画
兼任	准教授	瀬 和則 <平成29年4月> 理学博士	新素材の世界 ※	兼任	准教授	瀬 和則 <平成29年4月> 理学博士	新素材の世界 ※	兼任	准教授	瀬 和則 <平成29年4月> 理学博士	新素材の世界 ※	兼任	准教授	瀬 和則 <平成29年4月> 理学博士	新素材の世界 ※
兼任	准教授	谷澤 昭彦 <平成29年4月> 医学博士	健康科学・医学概論 ※	兼任	教授	谷澤 昭彦 <平成29年4月> 医学博士	健康科学・医学概論 ※	兼任	教授	谷澤 昭彦 <平成29年4月> 医学博士	健康科学・医学概論 ※	兼任	教授	谷澤 昭彦 <平成29年4月> 医学博士	健康科学・医学概論 ※
兼任	准教授	梅村 憲子 <平成29年4月> 芸術学士	合唱の魅力を探る	兼任	准教授	梅村 憲子 <平成29年4月> 芸術学士	合唱の魅力を探る	兼任	准教授	梅村 憲子 <平成29年4月> 芸術学士	合唱の魅力を探る	兼任	准教授	梅村 憲子 <平成29年4月> 芸術学士	合唱の魅力を探る
兼任	准教授	高橋 一朗 <平成29年4月> 薬学博士	生体機能と化学物質 ※	兼任	准教授	高橋 一朗 <平成29年4月> 薬学博士	生体機能と化学物質 ※	兼任	准教授	高橋 一朗 <平成29年4月> 薬学博士	生体機能と化学物質 ※	兼任	准教授	高橋 一朗 <平成29年4月> 薬学博士	生体機能と化学物質 ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	准教授	陳 競高 <平成29年4月> 博士(工学)	エネルギー科学	兼任	准教授	陳 競高 <平成29年4月> 博士(工学)	エネルギー科学	兼任	教授	陳 競高 <平成29年4月> 博士(工学)	エネルギー科学	兼任	教授	陳 競高 <平成29年4月> 博士(工学)	エネルギー科学
兼任	准教授	木村 哲也 <平成29年4月> 博士(医学)	東日本大震災をどう受け止めるか ※放射線利用-医学と産業-	兼任	准教授	木村 哲也 <平成29年4月> 博士(医学)	東日本大震災をどう受け止めるか ※放射線利用-医学と産業-	兼任	准教授	木村 哲也 <平成29年4月> 博士(医学)	東日本大震災をどう受け止めるか ※放射線利用-医学と産業-	兼任	准教授	木村 哲也 <平成29年4月> 博士(医学)	東日本大震災をどう受け止めるか ※放射線利用-医学と産業-
兼任	准教授	五井 孝憲 <平成29年4月> 博士(医学)	健康科学・医科学概論 ※	兼任	教授	五井 孝憲 <平成29年4月> 博士(医学)	健康科学・医科学概論 ※	兼任	教授	五井 孝憲 <平成29年4月> 博士(医学)	健康科学・医科学概論 ※ 医療概論Ⅰ ※	兼任	教授	五井 孝憲 <平成29年4月> 博士(医学)	健康科学・医科学概論 ※ 医療概論Ⅰ ※
兼任	准教授	小林 和雄 <平成29年4月> 修士(教育学)	科学的な見方・考え方	兼任	准教授	小林 和雄 <平成29年4月> 修士(教育学)	科学的な見方・考え方	兼任	准教授	小林 和雄 <平成29年4月> 修士(教育学)	科学的な見方・考え方	兼任	准教授	小林 和雄 <平成29年4月> 修士(教育学)	科学的な見方・考え方
兼任	准教授	竹内 恵子 <平成29年4月> 医学士	生まれること、産むこと	兼任	准教授	竹内 恵子 <平成29年4月> 医学士	生まれること、産むこと	兼任	准教授	竹内 恵子 <平成29年4月> 医学士	生まれること、産むこと	兼任	准教授	竹内 恵子 <平成29年4月> 医学士	生まれること、産むこと
兼任	准教授	吉村 治広 <平成29年4月> 博士(教育学)	ポピュラー音楽の魅力をさぐる	兼任	教授	吉村 治広 <平成29年4月> 博士(教育学)	ポピュラー音楽の魅力をさぐる	兼任	教授	吉村 治広 <平成29年4月> 博士(教育学)	ポピュラー音楽の魅力をさぐる	兼任	教授	吉村 治広 <平成29年4月> 博士(教育学)	ポピュラー音楽の魅力をさぐる
兼任	准教授	芹生 正史 <平成29年4月> 博士(理学)	宇宙の成り立ち	兼任	准教授	芹生 正史 <平成29年4月> 博士(理学)	宇宙の成り立ち	兼任	准教授	芹生 正史 <平成29年4月> 博士(理学)	宇宙の成り立ち	兼任	准教授	芹生 正史 <平成29年4月> 博士(理学)	宇宙の成り立ち
兼任	准教授	風間 寛司 <平成29年4月> 修士(教育学)	数学の歴史	兼任	准教授	風間 寛司 <平成29年4月> 修士(教育学)	数学の歴史	兼任	准教授	風間 寛司 <平成29年4月> 修士(教育学)	数学の歴史	兼任	准教授	風間 寛司 <平成29年4月> 修士(教育学)	数学の歴史 数学史入門
兼任	准教授	伊達 正起 <平成29年4月> 修士(教育学)	リスニングⅡ	兼任	教授	伊達 正起 <平成29年4月> 修士(教育学)	リスニングⅡ	兼任	教授	伊達 正起 <平成29年4月> 修士(教育学)	リスニングⅡ	兼任	教授	伊達 正起 <平成29年4月> 修士(教育学)	リスニングⅡ
兼任	准教授	磯 雅人 <平成29年4月> 博士(工学)	災害の科学 ※	兼任	准教授	磯 雅人 <平成29年4月> 博士(工学)	災害の科学 ※	兼任	教授	磯 雅人 <平成29年4月> 博士(工学)	災害の科学 ※	兼任	教授	磯 雅人 <平成29年4月> 博士(工学)	災害の科学 ※
兼任	准教授	寺田 聡 <平成29年4月> 博士(工学)	バイオの世界 ※	兼任	准教授	寺田 聡 <平成29年4月> 博士(工学)	バイオの世界 ※	兼任	准教授	寺田 聡 <平成29年4月> 博士(工学)	バイオの世界 ※	兼任	准教授	寺田 聡 <平成29年4月> 博士(工学)	バイオの世界 ※
兼任	准教授	諫吹 覚 <平成29年4月> 修士(文学)	日本語B 日本語G 日本の文化 日本事情A (日本語と文化) 日本事情B (社会と文化)	兼任	准教授	諫吹 覚 <平成29年4月> 修士(文学)	日本語B 日本語G 日本の文化 日本事情A (日本語と文化) 日本事情B (社会と文化)	兼任	准教授	諫吹 覚 <平成29年4月> 修士(文学)	日本語B 日本語G 日本の文化 日本事情A (日本語と文化) 日本事情B (社会と文化)	兼任	准教授	諫吹 覚 <平成29年4月> 修士(文学)	日本語B 日本語G 日本の文化 日本事情A (日本語と文化) 日本事情B (社会と文化)
兼任	准教授	田中 稔 <平成29年4月> 博士(理学)	新素材の世界 ※	兼任	准教授	田中 稔 <平成29年4月> 博士(理学)	新素材の世界 ※	兼任	准教授	田中 稔 <平成29年4月> 博士(理学)	新素材の世界 ※	兼任	准教授	田中 稔 <平成29年4月> 博士(理学)	新素材の世界 ※
兼任	准教授	松友 一雄 <平成29年4月> 博士(教育学)	言語生活論 言語表現	兼任	准教授	松友 一雄 <平成29年4月> 博士(教育学)	言語生活論 言語表現	兼任	教授	松友 一雄 <平成29年4月> 博士(教育学)	言語生活論 言語表現	兼任	教授	松友 一雄 <平成29年4月> 博士(教育学)	言語表現

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			
兼任	准教授	稲垣 良介 <平成29年4月> 修士(教育学)	兼任	准教授	稲垣 良介 <平成29年4月> 修士(教育学)	兼任	准教授	稲垣 良介 <平成29年4月> 修士(教育学)	兼任	准教授	稲垣 良介 <平成29年4月> 修士(教育学)	兼任	准教授	稲垣 良介 <平成29年4月> 修士(教育学)
		ネット型球技(バレーボール)指導の理論と実際			ネット型球技(バレーボール)指導の理論と実際			ネット型球技(バレーボール)指導の理論と実際			ネット型球技(バレーボール)指導の理論と実際			ネット型球技(バレーボール)指導の理論と実際
兼任	准教授	川本 義海 <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	川本 義海 <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	川本 義海 <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	川本 義海 <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	教授	川本 義海 <平成29年4月> 博士(工学)
		まちづくり論			まちづくり論			まちづくり論			まちづくり論			まちづくり論
兼任	准教授	入江 聡 <平成29年4月> 修士(理学)	兼任	准教授	入江 聡 <平成29年4月> 修士(理学)	兼任	准教授	入江 聡 <平成29年4月> 修士(理学)	兼任	准教授	入江 聡 <平成29年4月> 修士(理学)	兼任	准教授	入江 聡 <平成29年4月> 修士(理学)
		現場で役立つ機器分析 組織の世界 ※			現場で役立つ機器分析 組織の世界 ※			現場で役立つ機器分析 組織の世界 ※ 新素材の世界 ※			現場で役立つ機器分析 組織の世界 ※			現場で役立つ機器分析 組織の世界 ※ 新素材の世界 ※
兼任	准教授	森 幹男 <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	森 幹男 <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	森 幹男 <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	森 幹男 <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	森 幹男 <平成29年4月> 博士(工学)
		計算機システムの基礎			計算機システムの基礎			計算機システムの基礎 ※			計算機システムの基礎 ※			計算機システムの基礎 ※
兼任	准教授	橋本 康弘 <平成29年4月> 修士(教育学)	兼任	教授	橋本 康弘 <平成29年4月> 修士(教育学)	兼任	教授	橋本 康弘 <平成29年4月> 修士(教育学)	兼任	教授	橋本 康弘 <平成29年4月> 修士(教育学)	兼任	教授	橋本 康弘 <平成29年4月> 修士(教育学)
		「社会がわかる」とは？			「社会がわかる」とは？			「社会がわかる」とは？ 主権者意識をはぐくむ			「社会がわかる」とは？ 主権者意識をはぐくむ			「社会がわかる」とは？ 主権者意識をはぐくむ
兼任	准教授	坂本 太郎 <平成29年4月> 修士(芸術)	兼任	准教授	坂本 太郎 <平成29年4月> 修士(芸術)	兼任	准教授	坂本 太郎 <平成29年4月> 修士(芸術)	兼任	准教授	坂本 太郎 <平成29年4月> 修士(芸術)	兼任	准教授	坂本 太郎 <平成29年4月> 修士(芸術)
		造形美術の世界－表現世界の多様性			造形美術の世界－表現世界の多様性			造形美術の世界－表現世界の多様性			造形美術の世界－表現世界の多様性			造形美術の世界－表現世界の多様性
兼任	准教授	千原 一泰 <平成29年4月> 博士(バイオサイエンス)	兼任	准教授	千原 一泰 <平成29年4月> 博士(バイオサイエンス)	兼任	准教授	千原 一泰 <平成29年4月> 博士(バイオサイエンス)	兼任	准教授	千原 一泰 <平成29年4月> 博士(バイオサイエンス)	兼任	准教授	千原 一泰 <平成29年4月> 博士(バイオサイエンス)
		健康科学・医学概論 ※			健康科学・医学概論 ※			健康科学・医学概論 ※			健康科学・医学概論 ※			健康科学・医学概論 ※
兼任	准教授	鈴木 清 <平成29年4月> 博士(エネルギー科学)	兼任	准教授	鈴木 清 <平成29年4月> 博士(エネルギー科学)	兼任	准教授	鈴木 清 <平成29年4月> 博士(エネルギー科学)	兼任	准教授	鈴木 清 <平成29年4月> 博士(エネルギー科学)	兼任	准教授	鈴木 清 <平成29年4月> 博士(エネルギー科学)
		科学技術と環境 ※			科学技術と環境 ※			科学技術と環境 ※			科学技術と環境 ※			科学技術と環境 ※
兼任	准教授	門井 直哉 <平成29年4月> 博士(文学)	兼任	教授	門井 直哉 <平成29年4月> 博士(文学)	兼任	教授	門井 直哉 <平成29年4月> 博士(文学)	兼任	教授	門井 直哉 <平成29年4月> 博士(文学)	兼任	教授	門井 直哉 <平成29年4月> 博士(文学)
		地図に見る歴史と景観			地図に見る歴史と景観			地図に見る歴史と景観			地図に見る歴史と景観			地図に見る歴史と景観
兼任	准教授	山本 晃司 <平成29年4月> 博士(理学)	兼任	准教授	山本 晃司 <平成29年4月> 博士(理学)	兼任	准教授	山本 晃司 <平成29年4月> 博士(理学)	兼任	准教授	山本 晃司 <平成29年4月> 博士(理学)	兼任	准教授	山本 晃司 <平成29年4月> 博士(理学)
		電磁波と物質 ※			電磁波と物質 ※			電磁波と物質 ※			電磁波と物質 ※			電磁波と物質 ※
兼任	准教授	保科 英人 <平成29年4月> 博士(農学)	兼任	准教授	保科 英人 <平成29年4月> 博士(農学)	兼任	准教授	保科 英人 <平成29年4月> 博士(農学)	兼任	准教授	保科 英人 <平成29年4月> 博士(農学)	兼任	准教授	保科 英人 <平成29年4月> 博士(農学)
		自然史と生物			自然史と生物			自然史と生物			自然史と生物			自然史と生物 近現代文化昆虫学
兼任	准教授	高橋 泰岳 <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	高橋 泰岳 <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	高橋 泰岳 <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	教授	高橋 泰岳 <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	教授	高橋 泰岳 <平成29年4月> 博士(工学)
		ロボットの知能と学習			ロボットの知能と学習			ロボットの知能と学習			ロボットの知能と学習			ロボットの知能と学習
兼任	准教授	菊地 吉信 <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	菊地 吉信 <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	菊地 吉信 <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	菊地 吉信 <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	菊地 吉信 <平成29年4月> 博士(工学)
		まちづくり論			まちづくり論			まちづくり論			まちづくり論			まちづくり論
兼任	准教授	吉田 伸治 <平成29年4月> 博士(工学)												
		都市と建築の環境 ※												

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			
兼任	准教授	藤田 聡 <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	藤田 聡 <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	藤田 聡 <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	藤田 聡 <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	藤田 聡 <平成29年4月> 博士(工学)
		進化する繊維の技術 ※			進化する繊維の技術 ※			進化する繊維の技術 ※			進化する繊維の技術 ※			進化する繊維の技術 ※
兼任	准教授	廣澤 愛子 <平成29年4月> 修士(人間科学)	兼任	准教授	廣澤 愛子 <平成29年4月> 修士(人間科学)	兼任	准教授	廣澤 愛子 <平成29年4月> 修士(人間科学)	兼任	准教授	廣澤 愛子 <平成29年4月> 修士(人間科学)	兼任	准教授	廣澤 愛子 <平成29年4月> 修士(人間科学)
		人間の科学特別演習B (心理学)			人間の科学特別演習B (心理学)			人間の科学特別演習B (心理学)			人間の科学特別演習B (心理学)			人間の科学特別演習B (心理学) <b>心理学的支援法</b>
兼任	准教授	小林 泰三 <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	小林 泰三 <平成29年4月> 博士(工学)									
		災害の科学 ※			災害の科学 ※									
兼任	准教授	吉見 泰治 <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	吉見 泰治 <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	吉見 泰治 <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	吉見 泰治 <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	吉見 泰治 <平成29年4月> 博士(工学)
		生体機能と化学物質 ※			生体機能と化学物質 ※			生体機能と化学物質 ※			生体機能と化学物質 ※			生体機能と化学物質 ※
兼任	准教授	里村 武範 <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	里村 武範 <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	里村 武範 <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	里村 武範 <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	里村 武範 <平成29年4月> 博士(工学)
		バイオの世界 ※			バイオの世界 ※			バイオの世界 ※			バイオの世界 ※			バイオの世界 ※
兼任	准教授	杉原 伸治 <平成29年4月> 博士(理学)	兼任	准教授	杉原 伸治 <平成29年4月> 博士(理学)	兼任	准教授	杉原 伸治 <平成29年4月> 博士(理学)	兼任	准教授	杉原 伸治 <平成29年4月> 博士(理学)	兼任	准教授	杉原 伸治 <平成29年4月> 博士(理学)
		生体機能と化学物質 ※			生体機能と化学物質 ※			生体機能と化学物質 ※			生体機能と化学物質 ※			生体機能と化学物質 ※
兼任	准教授	内村 智博 <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	内村 智博 <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	<b>教授</b>	内村 智博 <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	<b>教授</b>	内村 智博 <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	<b>教授</b>	内村 智博 <平成29年4月> 博士(工学)
		科学技術と環境 ※			科学技術と環境 ※			科学技術と環境 ※			科学技術と環境 ※			科学技術と環境 ※
兼任	准教授	岸 俊行 <平成29年4月> 博士(人間科学)	兼任	准教授	岸 俊行 <平成29年4月> 博士(人間科学)	兼任	准教授	岸 俊行 <平成29年4月> 博士(人間科学)	兼任	准教授	岸 俊行 <平成29年4月> 博士(人間科学)	兼任	准教授	岸 俊行 <平成29年4月> 博士(人間科学)
		心を探る(人間関係論) 人間の科学特別演習B (心理学)			心を探る(人間関係論) 人間の科学特別演習B (心理学)			心を探る(人間関係論) 人間の科学特別演習B (心理学)			心を探る(人間関係論) 人間の科学特別演習B (心理学)			心を探る(人間関係論) 人間の科学特別演習B (心理学) <b>情報化社会の現在と未来</b>
兼任	准教授	山田 吉英 <平成29年4月> 博士(人間・環境学)	兼任	准教授	山田 吉英 <平成29年4月> 博士(人間・環境学)	兼任	准教授	山田 吉英 <平成29年4月> 博士(人間・環境学)	兼任	准教授	山田 吉英 <平成29年4月> 博士(人間・環境学)	兼任	准教授	山田 吉英 <平成29年4月> 博士(人間・環境学)
		科学的な見方・考え方			科学的な見方・考え方			科学的な見方・考え方			科学的な見方・考え方			科学的な見方・考え方 <b>対話と直感と共感で学ぶ物理</b>
兼任	准教授	大和 真希子 <平成29年4月> 修士(教育学)	兼任	准教授	大和 真希子 <平成29年4月> 修士(教育学)	兼任	准教授	大和 真希子 <平成29年4月> 修士(教育学)	兼任	准教授	大和 真希子 <平成29年4月> 修士(教育学)	兼任	准教授	大和 真希子 <平成29年4月> 修士(教育学)
		人間の科学特別演習A (教育学) 子どもと学校			人間の科学特別演習A (教育学) 子どもと学校			人間の科学特別演習A (教育学) 子どもと学校			人間の科学特別演習A (教育学) 子どもと学校			人間の科学特別演習A (教育学) 子どもと学校
兼任	准教授	遠藤 貴広 <平成29年4月> 修士(教育学)	兼任	准教授	遠藤 貴広 <平成29年4月> 修士(教育学)	兼任	准教授	遠藤 貴広 <平成29年4月> 修士(教育学)	兼任	准教授	遠藤 貴広 <平成29年4月> 修士(教育学)	兼任	准教授	遠藤 貴広 <平成29年4月> 修士(教育学)
		教えることと学ぶこと			教えることと学ぶこと			教えることと学ぶこと <b>アクティブ・ラーニングと生涯学習 ※</b>			教えることと学ぶこと <b>アクティブ・ラーニングと生涯学習 ※</b>			教えることと学ぶこと <b>アクティブ・ラーニングと生涯学習 ※</b>
兼任	准教授	廣垣 和正 <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	廣垣 和正 <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	廣垣 和正 <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	廣垣 和正 <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	廣垣 和正 <平成29年4月> 博士(工学)
		進化する繊維の技術 ※			進化する繊維の技術 ※			進化する繊維の技術 ※			進化する繊維の技術 ※			進化する繊維の技術 ※
兼任	准教授	大西 将史 <平成29年4月> 博士(学術)	兼任	准教授	大西 将史 <平成29年4月> 博士(学術)	兼任	准教授	大西 将史 <平成29年4月> 博士(学術)	兼任	准教授	大西 将史 <平成29年4月> 博士(学術)	兼任	准教授	大西 将史 <平成29年4月> 博士(学術)
		こころの発達と健康 人間の科学特別演習B (心理学)			こころの発達と健康 人間の科学特別演習B (心理学)			こころの発達と健康 人間の科学特別演習B (心理学)			こころの発達と健康 人間の科学特別演習B (心理学)			こころの発達と健康 人間の科学特別演習B (心理学) <b>情報化社会の現在と未来</b>
兼任	准教授	星谷 文生 <平成29年4月> 博士(音楽)	兼任	准教授	星谷 文生 <平成29年4月> 博士(音楽)	兼任	准教授	星谷 文生 <平成29年4月> 博士(音楽)	兼任	准教授	星谷 文生 <平成29年4月> 博士(音楽)	兼任	准教授	星谷 文生 <平成29年4月> 博士(音楽)
		現代音楽入門			現代音楽入門			現代音楽入門			現代音楽入門			現代音楽入門



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	准教授	大堀 道広 <平成29年4月> 博士(工学)	地域の防災・危機管理 ※	兼任	准教授	大堀 道広 <平成29年4月> 博士(工学)	地域の防災・危機管理 ※	兼任	准教授	大堀 道広 <平成29年4月> 博士(工学)	地域の防災・危機管理 ※	兼任	准教授	大堀 道広 <平成29年4月> 博士(工学)	地域の防災・危機管理 ※
兼任	講師	本間 礼人 <平成29年4月> 博士(工学)	災害の科学 ※	兼任	講師	本間 礼人 <平成29年4月> 博士(工学)	災害の科学 ※	兼任	講師	本間 礼人 <平成29年4月> 博士(工学)	災害の科学 ※	兼任	講師	本間 礼人 <平成29年4月> 博士(工学)	災害の科学 ※
兼任	講師	Dylan Jones <平成29年4月> M.A. (ENGLISH) (カナダ)	ライティング I	兼任	准教授	Dylan Jones <平成29年4月> M.A. (ENGLISH) (カナダ)	ライティング I	兼任	准教授	Dylan Jones <平成29年4月> M.A. (ENGLISH) (カナダ)	ライティング I	兼任	准教授	Dylan Jones <平成29年4月> M.A. (ENGLISH) (カナダ)	ライティング I
兼任	講師	西沢 徹 <平成29年4月> 博士(理学)	地球科学コミュニケーション 植物の生活史と進化	兼任	准教授	西沢 徹 <平成29年4月> 博士(理学)	地球科学コミュニケーション 植物の生活史と進化	兼任	准教授	西沢 徹 <平成29年4月> 博士(理学)	地球科学コミュニケーション 植物の生活史と進化	兼任	教授	西沢 徹 <平成29年4月> 博士(理学)	地球科学コミュニケーション 植物の生活史と進化
兼任	講師	井上 圭一 <平成29年4月> 博士(工学)	災害の科学 ※	兼任	講師	井上 圭一 <平成29年4月> 博士(工学)	災害の科学 ※	兼任	准教授	井上 圭一 <平成29年4月> 博士(工学)	災害の科学 ※	兼任	准教授	井上 圭一 <平成29年4月> 博士(工学)	災害の科学 ※
兼任	講師	本田 安都子 <平成29年4月> 博士(文学)	アメリカの文化	兼任	准教授	本田 安都子 <平成29年4月> 博士(文学)	アメリカの文化	兼任	准教授	本田 安都子 <平成29年4月> 博士(文学)	アメリカの文化	兼任	准教授	本田 安都子 <平成29年4月> 博士(文学)	アメリカの文化
兼任	講師	山田 孝祺 <平成29年4月> 博士(学術)	健康メディアリテラシー	兼任	准教授	山田 孝祺 <平成29年4月> 博士(学術)	健康メディアリテラシー	兼任	准教授	山田 孝祺 <平成29年4月> 博士(学術)	健康メディアリテラシー	兼任	准教授	山田 孝祺 <平成29年4月> 博士(学術)	健康メディアリテラシー
兼任	講師	三好 雅也 <平成29年4月> 博士(理学)	火山のはなし	兼任	准教授	三好 雅也 <平成29年4月> 博士(理学)	火山のはなし	兼任	准教授	三好 雅也 <平成29年4月> 博士(理学)	火山のはなし	兼任	准教授	三好 雅也 <平成29年4月> 博士(理学)	火山のはなし
兼任	講師	中村 太一 <平成29年4月> 博士(文学)	リーディング	兼任	准教授	中村 太一 <平成29年4月> 博士(文学)	リーディング	兼任	准教授	中村 太一 <平成29年4月> 博士(文学)	リーディング	兼任	准教授	中村 太一 <平成29年4月> 博士(文学)	リーディング
兼任	講師	笹原 未来 <平成29年4月> 修士(教育学)	人間の科学特別演習C (障害児)	兼任	講師	笹原 未来 <平成29年4月> 修士(教育学)	人間の科学特別演習C (障害児)	兼任	准教授	笹原 未来 <平成29年4月> 修士(教育学)	人間の科学特別演習C (障害児)	兼任	准教授	笹原 未来 <平成29年4月> 修士(教育学)	人間の科学特別演習C (障害児)
兼任	講師	楳松 英之 <平成29年4月> 博士(工学)	繊維の世界 ※	兼任	講師	楳松 英之 <平成29年4月> 博士(工学)	繊維の世界 ※	兼任	講師	楳松 英之 <平成29年4月> 博士(工学)	繊維の世界 ※	兼任	准教授	楳松 英之 <平成29年4月> 博士(工学)	繊維の世界 ※
兼任	助教	田中 幸枝 <平成29年4月> 博士(医学)	健康科学・医科学概論 ※	兼任	助教	田中 幸枝 <平成29年4月> 博士(医学)	健康科学・医科学概論 ※								
兼任	助教	森川 美羽 <平成29年4月> 博士(医学)	健康科学・医科学概論 ※	兼任	助教	森川 美羽 <平成29年4月> 博士(医学)	健康科学・医科学概論 ※								
兼任	助教	島田 直樹 <平成29年4月> 博士(工学)	繊維の世界 ※	兼任	助教	島田 直樹 <平成29年4月> 博士(工学)	繊維の世界 ※								

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			
兼任	特命助教	佐藤 直樹 <平成29年4月> 博士(社会学)												
		環境問題と社会												
兼任	教授	末 慎一朗 <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	教授	末 慎一朗 <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	教授	末 慎一朗 <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	教授	末 慎一朗 <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	教授	末 慎一朗 <平成29年4月> 博士(工学)
		進化する組織の技術 ※			進化する組織の技術 ※			進化する組織の技術 ※			進化する組織の技術 ※			進化する組織の技術 ※
兼任	講師	鈴木 悠 <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	講師	鈴木 悠 <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	講師	鈴木 悠 <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	講師	鈴木 悠 <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	講師	鈴木 悠 <平成29年4月> 博士(工学)
		進化する組織の技術 ※			進化する組織の技術 ※			進化する組織の技術 ※			進化する組織の技術 ※			進化する組織の技術 ※
兼任	特命教授	吉田 史朗 <平成29年10月> ふくいを知る・見る・考えるⅡ	兼任	特命教授	吉田 史朗 <平成29年10月> ふくいを知る・見る・考えるⅡ	兼任	特命教授	吉田 史朗 <平成29年10月> ふくいを知る・見る・考えるⅡ	兼任	特命教授	吉田 史朗 <平成29年10月> ふくいを知る・見る・考えるⅡ	兼任	特命教授	吉田 史朗 <平成29年10月> ふくいを知る・見る・考えるⅡ
		ふくいを知る・見る・考えるⅡ			ふくいを知る・見る・考えるⅡ			ふくいを知る・見る・考えるⅡ			ふくいを知る・見る・考えるⅡ			ふくいを知る・見る・考えるⅡ
兼任	講師	岡田 敬志 <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	講師	岡田 敬志 <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	講師	岡田 敬志 <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	講師	岡田 敬志 <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	岡田 敬志 <平成29年4月> 博士(工学)
		科学技術と環境 ※			科学技術と環境 ※			科学技術と環境 ※			科学技術と環境 ※			科学技術と環境 ※
兼任	教授	徳永 雄次 <平成29年4月> 博士(薬学)	兼任	教授	徳永 雄次 <平成29年4月> 博士(薬学)	兼任	教授	徳永 雄次 <平成29年4月> 博士(薬学)	兼任	教授	徳永 雄次 <平成29年4月> 博士(薬学)	兼任	教授	徳永 雄次 <平成29年4月> 博士(薬学)
		地域の自然と環境(福井や日本海地域を中心に)			地域の自然と環境(福井や日本海地域を中心に)			地域の自然と環境(福井や日本海地域を中心に)			地域の自然と環境(福井や日本海地域を中心に)			地域の自然と環境(福井や日本海地域を中心に)
兼任	教授	柳澤 昌一 <平成29年10月> 教育学修士	兼任	教授	柳澤 昌一 <平成29年10月> 教育学修士	兼任	教授	柳澤 昌一 <平成29年10月> 教育学修士	兼任	教授	柳澤 昌一 <平成29年10月> 教育学修士	兼任	教授	柳澤 昌一 <平成29年10月> 教育学修士
		アクティブ・ラーニングと生涯学習 ※			アクティブ・ラーニングと生涯学習 ※			アクティブ・ラーニングと生涯学習 ※			アクティブ・ラーニングと生涯学習 ※			アクティブ・ラーニングと生涯学習 ※
兼任	特命講師	末本 智雄 <平成29年4月> 博士(学術)	兼任	特命講師	末本 智雄 <平成29年4月> 博士(学術)	兼任	特命講師	末本 智雄 <平成29年4月> 博士(学術)	兼任	特命講師	末本 智雄 <平成29年4月> 博士(学術)	兼任	特命講師	末本 智雄 <平成29年4月> 博士(学術)
		学園の入り口			学園の入り口			学園の入り口			学園の入り口			学園の入り口
兼任	講師	中切 正人 <平成29年10月> 博士(教育)	兼任	講師	中切 正人 <平成29年10月> 博士(教育)	兼任	講師	中切 正人 <平成29年10月> 博士(教育)	兼任	講師	中切 正人 <平成29年10月> 博士(教育)	兼任	講師	中切 正人 <平成29年10月> 博士(教育)
		「歴史」のトリビア(歴史文化論から歴史教育まで)			「歴史」のトリビア(歴史文化論から歴史教育まで)			「歴史」のトリビア(歴史文化論から歴史教育まで)			「歴史」のトリビア(歴史文化論から歴史教育まで)			「歴史」のトリビア(歴史文化論から歴史教育まで)
兼任	教授	塚本 充 <平成29年4月> 工学博士	兼任	教授	塚本 充 <平成29年4月> 工学博士	兼任	教授	塚本 充 <平成29年4月> 工学博士	兼任	教授	塚本 充 <平成29年4月> 工学博士	兼任	教授	塚本 充 <平成29年4月> 工学博士
		コンピュータと情報処理			コンピュータと情報処理			コンピュータと情報処理			コンピュータと情報処理			コンピュータと情報処理 ※
兼任	助教	浅井 幸子 <平成30年4月> 博士(科学)	兼任	助教	浅井 幸子 <平成30年4月> 博士(科学)	兼任	助教	浅井 幸子 <平成30年4月> 博士(科学)	兼任	助教	浅井 幸子 <平成30年4月> 博士(科学)	兼任	助教	浅井 幸子 <平成30年4月> 博士(科学)
		組織の世界 ※			組織の世界 ※			組織の世界 ※			組織の世界 ※			組織の世界 ※
兼任	講師	横井 良尚 <平成30年4月> 博士(工学)	兼任	講師	横井 良尚 <平成30年4月> 博士(工学)	兼任	講師	横井 良尚 <平成30年4月> 博士(工学)	兼任	講師	横井 良尚 <平成30年4月> 博士(工学)	兼任	講師	横井 良尚 <平成30年4月> 博士(工学)
		都市と産業の環境 ※			都市と産業の環境 ※			都市と産業の環境 ※			都市と産業の環境 ※			都市と産業の環境 ※
兼任	講師	鈴木 啓悟 <平成30年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	鈴木 啓悟 <平成30年4月> 博士(工学)	兼任	講師	鈴木 啓悟 <平成30年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	鈴木 啓悟 <平成30年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	鈴木 啓悟 <平成30年4月> 博士(工学)
		災害の科学 ※			災害の科学 ※			災害の科学 ※			災害の科学 ※			災害の科学 ※
兼任	講師	藤本 明宏 <平成30年4月> 博士(工学)	兼任	講師	藤本 明宏 <平成30年4月> 博士(工学)	兼任	講師	藤本 明宏 <平成30年4月> 博士(工学)	兼任	講師	藤本 明宏 <平成30年4月> 博士(工学)	兼任	講師	藤本 明宏 <平成30年4月> 博士(工学)
		災害の科学 ※			災害の科学 ※			災害の科学 ※			災害の科学 ※			災害の科学 ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等
担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名	
						寺嶋 寛孝 <平成30年4月> 博士(工学)	寺嶋 寛孝 <平成30年4月> 博士(工学)
						災害の科学 ※	災害の科学 ※
						新井 豊吉 <平成30年4月> 教育学修士	新井 豊吉 <平成30年4月> 教育学修士
						人間の科学特別演習C(障害児) ※	人間の科学特別演習C(障害児) ※
						沖 昌也 <平成30年4月> 理学博士	沖 昌也 <平成30年4月> 理学博士
						バイオの世界 ※	バイオの世界 ※
						小西 慶幸 <平成30年4月> 理学博士	小西 慶幸 <平成30年4月> 理学博士
						バイオの世界 ※	バイオの世界 ※
						前田 史郎 <平成30年4月> 理学博士	
						生体機能と化学物質 ※	
						高橋 遼 <平成30年4月> 博士(工学)	高橋 遼 <平成30年4月> 博士(工学)
						生体機能と化学物質 ※	生体機能と化学物質 ※
						梅田 幸寛 <平成30年4月> 医学博士	梅田 幸寛 <平成30年4月> 医学博士
						健康科学・医科学概論 ※	健康科学・医科学概論 ※
						森 真一郎 <平成30年4月> 博士(工学)	森 真一郎 <平成30年4月> 博士(工学)
						計算機システムの基礎 ※	計算機システムの基礎 ※
						高橋 智也 <平成30年4月> 博士(医学)	
						こころの成長 ※	
						後藤 綾文 <平成30年4月> 修士(臨床心理学)	
						こころの成長 ※	
							平田 豊孝 <平成31年4月> 博士(工学)
							進化する機械の技術 ※
							板元 博昭 <平成31年4月> 博士(工学)
							機械の世界 ※
							石川 裕也 <平成31年4月> 博士(工学)
							電磁波と物質 ※
							福成 理史 <平成31年4月> 博士(科学)
							電磁波と物質 ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等
担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名	
						半原 芳子 <平成31年4月> 博士(人文科学)	兼担 准教授 アクティブ・ラーニングと生涯学習
						血原 正純 <平成31年4月> 教育学士	兼担 准教授 アクティブ・ラーニングと生涯学習
						大塚内 多穂 <平成31年4月> 博士(理学)	兼担 准教授 コンピュータと情報処理
						萩中 奈穂美 <平成31年4月> 修士(教育学)	兼担 准教授 言語生活論
						岡崎 玲子 <平成31年4月>	兼担 講師 こころの成長
						林 亜希恵 <平成31年4月> 修士(臨床心理学)	兼担 特命講師 こころの成長
						村上 亜由美 <平成31年4月> 博士(家政学)	兼担 准教授 健康管理和食生活
						口分田 政史 <平成31年4月> 修士(教育学)	兼担 講師 数学的活動
						根本 篤司 <平成31年4月> 博士(理学)	兼担 教授 数と方程式
						石川 和彦 <平成31年4月> 博士(工学)	兼担 准教授 産業社会の中のセンサ技術
						瀬井 彰久 <平成31年4月> 修士(看護学)	兼担 助教 東日本大震災をどう受け止めるか ※
				兼任 講師	加藤 錦震 <平成29年4月>	兼任 講師	加藤 錦震 <平成29年4月>
					中国語の世界3 中国語の世界4		中国語の世界3 中国語の世界4

<国際地域学部 国際地域学科>

(1) ① 担当教員表 専門

【認可時又は届出時】		【平成28年度】		【平成29年度】		【平成30年度】		【令和元年度】	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	<就任(予定)年月>保有学位等	氏名(年齢)	<就任(予定)年月>保有学位等	氏名(年齢)	<就任(予定)年月>保有学位等	氏名(年齢)	<就任(予定)年月>保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名	
専	教授	寺岡 英男	<平成28年4月>教育学修士※	寺岡 英男	<平成28年4月>教育学修士※	寺岡 英男	<平成28年4月>教育学修士※	寺岡 英男	<平成28年4月>教育学修士※
		東日本大震災をどう受け止めるか※ 日本の学校教育 課題探求プロジェクト基礎B 課題探求プロジェクトI 課題探求プロジェクトII 課題探求プロジェクトIII A 卒業研究		東日本大震災をどう受け止めるか※ 日本の学校教育 課題探求プロジェクト基礎B 課題探求プロジェクトI 課題探求プロジェクトII 課題探求プロジェクトIII A 卒業研究		東日本大震災をどう受け止めるか※ 日本の学校教育 課題探求プロジェクト基礎B 課題探求プロジェクトI 課題探求プロジェクトII 課題探求プロジェクトIII A 卒業研究		東日本大震災をどう受け止めるか※ 日本の学校教育 課題探求プロジェクト基礎B 課題探求プロジェクトI 課題探求プロジェクトII 課題探求プロジェクトIII A 卒業研究	
専	教授	LEHNER ALBERT JOSEPH JR	<平成28年4月> Doctor of Philosophy, Second Language Acquisition(米国)	LEHNER ALBERT JOSEPH JR	<平成28年4月> Doctor of Philosophy, Second Language Acquisition(米国)	LEHNER ALBERT JOSEPH JR	<平成28年4月> Doctor of Philosophy, Second Language Acquisition(米国)	LEHNER ALBERT JOSEPH JR	<平成28年4月> Doctor of Philosophy, Second Language Acquisition(米国)
		哲学入門 国際地域概論 ※ 課題探求プロジェクト基礎B 課題探求プロジェクトI 課題探求プロジェクトII 課題探求プロジェクトIII B 課題探求プロジェクトIII C 世界共通語としての英語 西洋における人道的伝統 卒業研究		哲学入門 国際地域概論 ※ 課題探求プロジェクト基礎B 課題探求プロジェクトI 課題探求プロジェクトII 課題探求プロジェクトIII B 課題探求プロジェクトIII C 世界共通語としての英語 西洋における人道的伝統 卒業研究		哲学入門 国際地域概論 ※ 課題探求プロジェクト基礎B 課題探求プロジェクトI 課題探求プロジェクトII 課題探求プロジェクトIII B 課題探求プロジェクトIII C 世界共通語としての英語 西洋における人道的伝統 卒業研究		哲学入門 国際地域概論 ※ 課題探求プロジェクト基礎B 課題探求プロジェクトI 課題探求プロジェクトII 課題探求プロジェクトIII B 課題探求プロジェクトIII C 世界共通語としての英語 西洋における人道的伝統 卒業研究	
専	教授	伊藤 勇	<平成28年4月>文学修士※	伊藤 勇	<平成28年4月>文学修士※	伊藤 勇	<平成28年4月>文学修士※	伊藤 勇	<平成28年4月>文学修士※
		社会学A(相互行為論入門) 社会学B(現代農村の社会学) 国際地域概論 ※ リサーチ入門(J) 社会調査論 ※ 質的調査法(J) ※ 課題探求プロジェクト基礎A 課題探求プロジェクトI 課題探求プロジェクトII 課題探求プロジェクトIII A 課題探求プロジェクトIII B 社会学概論 農村社会学 卒業研究セミナー 卒業研究		社会学A(相互行為論入門) 社会学B(現代農村の社会学) 国際地域概論 ※ リサーチ入門(J) 社会調査論 ※ 質的調査法(J) ※ 課題探求プロジェクト基礎A 課題探求プロジェクトI 課題探求プロジェクトII 課題探求プロジェクトIII A 課題探求プロジェクトIII B 社会学概論 農村社会学 卒業研究セミナー 卒業研究		社会学A(相互行為論入門) 社会学B(現代農村の社会学) 国際地域概論 ※ リサーチ入門(J) 社会調査論 ※ 質的調査法(J) ※ 課題探求プロジェクト基礎A 課題探求プロジェクトI 課題探求プロジェクトII 課題探求プロジェクトIII A 課題探求プロジェクトIII B 社会学概論 農村社会学 卒業研究セミナー 卒業研究		社会学A(相互行為論入門) 社会学B(現代農村の社会学) 国際地域概論 ※ リサーチ入門(J) 社会調査論 ※ 質的調査法(J) ※ 課題探求プロジェクト基礎A 課題探求プロジェクトI 課題探求プロジェクトII 課題探求プロジェクトIII A 課題探求プロジェクトIII B 社会学概論 農村社会学 卒業研究セミナー 卒業研究	
専	教授	横井 正信	<平成28年4月>法学修士※	横井 正信	<平成28年4月>法学修士※	横井 正信	<平成28年4月>法学修士※	横井 正信	<平成28年4月>法学修士※
		政治学A(現代政治学入門) 政治学B(戦後日本の政治) 国際地域概論 ※ 課題探求プロジェクト基礎A 課題探求プロジェクトI 課題探求プロジェクトII 課題探求プロジェクトIII A 課題探求プロジェクトIII B 政治学概論 国際政治学 卒業研究セミナー 卒業研究		政治学A(現代政治学入門) 政治学B(戦後日本の政治) 国際地域概論 ※ 課題探求プロジェクト基礎A 課題探求プロジェクトI 課題探求プロジェクトII 課題探求プロジェクトIII A 課題探求プロジェクトIII B 政治学概論 国際政治学 卒業研究セミナー 卒業研究		政治学A(現代政治学入門) 政治学B(戦後日本の政治) 国際地域概論 ※ 課題探求プロジェクト基礎A 課題探求プロジェクトI 課題探求プロジェクトII 課題探求プロジェクトIII A 課題探求プロジェクトIII B 政治学概論 国際政治学 卒業研究セミナー 卒業研究		政治学A(現代政治学入門) 政治学B(戦後日本の政治) 国際地域概論 ※ 課題探求プロジェクト基礎A 課題探求プロジェクトI 課題探求プロジェクトII 課題探求プロジェクトIII A 課題探求プロジェクトIII B 政治学概論 国際政治学 卒業研究セミナー 卒業研究	
専	教授	木原 泰紀	<平成28年4月>文学修士※	木原 泰紀	<平成28年4月>文学修士※	木原 泰紀	<平成28年4月>文学修士※	木原 泰紀	<平成28年4月>文学修士※
		English Reading III English Reading IV 課題探求プロジェクト基礎B 課題探求プロジェクトI 課題探求プロジェクトII 課題探求プロジェクトIII A 課題探求プロジェクトIII B 課題探求プロジェクトIII C イギリス表裏文化 イギリス文学 卒業研究		English Reading III English Reading IV 課題探求プロジェクト基礎B 課題探求プロジェクトI 課題探求プロジェクトII 課題探求プロジェクトIII A 課題探求プロジェクトIII B 課題探求プロジェクトIII C イギリス表裏文化 イギリス文学 卒業研究		English Reading III English Reading IV 課題探求プロジェクト基礎B 課題探求プロジェクトI 課題探求プロジェクトII 課題探求プロジェクトIII A 課題探求プロジェクトIII B 課題探求プロジェクトIII C イギリス表裏文化 イギリス文学 卒業研究		English Reading III English Reading IV 課題探求プロジェクト基礎B 課題探求プロジェクトI 課題探求プロジェクトII 課題探求プロジェクトIII A 課題探求プロジェクトIII B 課題探求プロジェクトIII C イギリス表裏文化 イギリス文学 卒業研究	
専	教授	木村 亮	<平成28年4月>経済学修士※	木村 亮	<平成28年4月>経済学修士※	木村 亮	<平成28年4月>経済学修士※	木村 亮	<平成28年4月>経済学修士※
		大学教育入門セミナー 経済学A(金儲って何だろ?) 経済学B(現代社会とワークフル) 国際地域概論 ※ 課題探求プロジェクト基礎A 課題探求プロジェクトI 課題探求プロジェクトII 課題探求プロジェクトIII A 課題探求プロジェクトIII B 地域経済論 福井地域の歴史 ※ 卒業研究セミナー 卒業研究		大学教育入門セミナー 経済学A(金儲って何だろ?) 経済学B(現代社会とワークフル) 国際地域概論 ※ 課題探求プロジェクト基礎A 課題探求プロジェクトI 課題探求プロジェクトII 課題探求プロジェクトIII A 課題探求プロジェクトIII B 地域経済論 福井地域の歴史 ※ 卒業研究セミナー 卒業研究		大学教育入門セミナー 経済学A(金儲って何だろ?) 経済学B(現代社会とワークフル) 国際地域概論 ※ 課題探求プロジェクト基礎A 課題探求プロジェクトI 課題探求プロジェクトII 課題探求プロジェクトIII A 課題探求プロジェクトIII B 地域経済論 福井地域の歴史 ※ 卒業研究セミナー 卒業研究		大学教育入門セミナー 経済学A(金儲って何だろ?) 経済学B(現代社会とワークフル) 国際地域概論 ※ 課題探求プロジェクト基礎A 課題探求プロジェクトI 課題探求プロジェクトII 課題探求プロジェクトIII A 課題探求プロジェクトIII B 地域経済論 福井地域の歴史 ※ 卒業研究セミナー 卒業研究	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名				担当授業科目名	
専	教授	岡崎 英一 <平成28年4月> 商学修士※	岡崎 英一 <平成28年4月> 商学修士※	岡崎 英一 <平成28年4月> 商学修士※	岡崎 英一 <平成28年4月> 商学修士※	岡崎 英一 <平成28年4月> 商学修士※	岡崎 英一 <平成28年4月> 商学修士※
専	教授	松田 和之 <平成28年4月> 文学修士※	松田 和之 <平成28年4月> 文学修士※	松田 和之 <平成28年4月> 文学修士※	松田 和之 <平成28年4月> 文学修士※	松田 和之 <平成28年4月> 文学修士※	松田 和之 <平成28年4月> 文学修士※
専	教授	月原 敏博 <平成28年4月> 文学修士	月原 敏博 <平成28年4月> 文学修士	月原 敏博 <平成28年4月> 文学修士	月原 敏博 <平成28年4月> 文学修士	月原 敏博 <平成28年4月> 文学修士	月原 敏博 <平成28年4月> 文学修士
専	教授	皆島 博 <平成28年4月> 文学修士※	皆島 博 <平成28年4月> 文学修士※	皆島 博 <平成28年4月> 文学修士※	皆島 博 <平成28年4月> 文学修士※	皆島 博 <平成28年4月> 文学修士※	皆島 博 <平成28年4月> 文学修士※
専	教授	小幡 浩司 <平成28年4月> M.A. in International Relations (米国)	小幡 浩司 <平成28年4月> M.A. in International Relations (米国)	小幡 浩司 <平成28年4月> M.A. in International Relations (米国)	小幡 浩司 <平成28年4月> M.A. in International Relations (米国)	小幡 浩司 <平成28年4月> M.A. in International Relations (米国)	小幡 浩司 <平成28年4月> M.A. in International Relations (米国)
専	教授	細谷 龍平 <平成28年4月> 教養学士 Bachelor of Arts in Philosophy, Politics and Economics (哲学・政治・経済学士) Master of Arts (修士) (英国)	細谷 龍平 <平成28年4月> 教養学士 Bachelor of Arts in Philosophy, Politics and Economics (哲学・政治・経済学士) Master of Arts (修士) (英国)	細谷 龍平 <平成28年4月> 教養学士 Bachelor of Arts in Philosophy, Politics and Economics (哲学・政治・経済学士) Master of Arts (修士) (英国)	細谷 龍平 <平成28年4月> 教養学士 Bachelor of Arts in Philosophy, Politics and Economics (哲学・政治・経済学士) Master of Arts (修士) (英国)	細谷 龍平 <平成28年4月> 教養学士 Bachelor of Arts in Philosophy, Politics and Economics (哲学・政治・経済学士) Master of Arts (修士) (英国)	細谷 龍平 <平成28年4月> 教養学士 Bachelor of Arts in Philosophy, Politics and Economics (哲学・政治・経済学士) Master of Arts (修士) (英国)









専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専任	助教	LOMBARDI IVAN <平成28年4月> Ph. D. in Language Teaching Methodology Doctoral School of Language Sciences and Literature (イタリア)	専任	助教	LOMBARDI IVAN <平成28年4月> Ph. D. in Language Teaching Methodology Doctoral School of Language Sciences and Literature (イタリア)	専任	助教	LOMBARDI IVAN <平成28年4月> Ph. D. in Language Teaching Methodology Doctoral School of Language Sciences and Literature (イタリア)	専任	助教	LOMBARDI IVAN <平成28年4月> Ph. D. in Language Teaching Methodology Doctoral School of Language Sciences and Literature (イタリア)	専任	助教	LOMBARDI IVAN <平成28年4月> Ph. D. in Language Teaching Methodology Doctoral School of Language Sciences and Literature (イタリア)
		英語Ⅳ 英語Ⅲ 質的調査法(E) ※ 課題探求プロジェクト基礎B 課題探求プロジェクトⅠ 課題探求プロジェクトⅢB 言語学入門 第二言語習得 【隔年】 心理言語学 【隔年】 異文化コミュニケーション 教育におけるゲーム 【隔年】 卒業研究			英語Ⅳ 英語Ⅲ 質的調査法(E) ※ 課題探求プロジェクト基礎B 課題探求プロジェクトⅠ 課題探求プロジェクトⅢB 言語学入門 第二言語習得 【隔年】 心理言語学 【隔年】 異文化コミュニケーション 教育におけるゲーム 【隔年】 卒業研究			英語Ⅳ 英語Ⅲ 質的調査法(E) ※ 課題探求プロジェクト基礎B 課題探求プロジェクトⅠ 課題探求プロジェクトⅢB 言語学入門 第二言語習得 【隔年】 心理言語学 【隔年】 異文化コミュニケーション 教育におけるゲーム 【隔年】 卒業研究			英語Ⅳ 英語Ⅲ 質的調査法(E) ※ 課題探求プロジェクト基礎B 課題探求プロジェクトⅠ 課題探求プロジェクトⅢB 言語学入門 第二言語習得 【隔年】 心理言語学 【隔年】 異文化コミュニケーション 教育におけるゲーム 【隔年】 卒業研究			英語Ⅳ 英語Ⅲ 質的調査法(E) ※ 課題探求プロジェクト基礎B 課題探求プロジェクトⅠ 課題探求プロジェクトⅢB 言語学入門 第二言語習得 【隔年】 心理言語学 【隔年】 異文化コミュニケーション 教育におけるゲーム 【隔年】 卒業研究
兼任	教授	寺澤 秀一 <平成30年4月> 医学士	兼任	教授	寺澤 秀一 <平成30年4月> 医学士	兼任	特命教授	寺澤 秀一 <平成30年4月> 医学士	兼任	特命教授	寺澤 秀一 <平成30年4月> 医学士			
		医療概論Ⅰ ※			医療概論Ⅰ ※			医療概論Ⅰ ※			医療概論Ⅰ ※			
兼任	教授	上澤 悦子 <平成31年4月> 博士(心身健康科学)	兼任	教授	上澤 悦子 <平成31年4月> 博士(心身健康科学)									
		医療特論Ⅱ ※			医療特論Ⅱ ※									
兼任	教授	和田 有司 <平成30年4月> 医学博士	兼任	教授	和田 有司 <平成30年4月> 医学博士	兼任	教授	和田 有司 <平成30年4月> 医学博士						
		医療概論Ⅰ ※ 医療特論Ⅱ ※			医療概論Ⅰ ※ 医療特論Ⅱ ※			医療概論Ⅰ ※						
兼任	教授	松下 聡 <平成29年4月> 工学博士	兼任	教授	松下 聡 <平成29年4月> 工学博士									
		都市と建築の環境 ※ 建築計画各論第二			都市と建築の環境 ※ 建築計画各論第二									
						兼任	助教	木曾 久美子 <平成29年4月> 博士(工学)						
								都市と建築の環境 ※						
									兼任	講師	西本 雅人 <平成30年4月> 博士(工学)		兼任	講師
											建築計画各論第二 都市と建築の環境 ※			建築計画各論第二 都市と建築の環境 ※
兼任	教授	老木 成稔 <平成30年4月> 医学博士	兼任	教授	老木 成稔 <平成30年4月> 医学博士									
		医療概論Ⅰ ※			医療概論Ⅰ ※									
兼任	教授	日下 幸則 <平成30年4月> 医学博士	兼任	教授	日下 幸則 <平成30年4月> 医学博士	兼任	教授	日下 幸則 <平成30年4月> 医学博士						
		医療概論Ⅰ ※			医療概論Ⅰ ※			医療概論Ⅰ ※						
兼任	教授	佐野 和生 <平成30年4月> 歯学博士	兼任	教授	佐野 和生 <平成30年4月> 歯学博士									
		医療概論Ⅰ ※			医療概論Ⅰ ※									
兼任	教授	出口 洋二 <平成31年4月> 医学博士	兼任	教授	出口 洋二 <平成31年4月> 医学博士	兼任	教授	出口 洋二 <平成31年4月> 医学博士	兼任	教授	出口 洋二 <平成31年4月> 医学博士	兼任	教授	出口 洋二 <平成31年4月> 医学博士
		医療特論Ⅲ			医療特論Ⅲ			医療特論Ⅲ			医療特論Ⅲ			医療特論Ⅲ
兼任	教授	葛生 伸 <平成29年4月> 理学博士	兼任	教授	葛生 伸 <平成29年4月> 理学博士	兼任	教授	葛生 伸 <平成29年4月> 理学博士	兼任	教授	葛生 伸 <平成29年4月> 理学博士	兼任	教授	葛生 伸 <平成29年4月> 理学博士
		科学技術と社会 科学技術と倫理 生活の中の熱とエネルギー フロンタナー			科学技術と社会 科学技術と倫理 生活の中の熱とエネルギー フロンタナー			科学技術と社会 科学技術と倫理 生活の中の熱とエネルギー フロンタナー			科学技術と社会 科学技術と倫理 生活の中の熱とエネルギー フロンタナー			科学技術と社会 科学技術と倫理 生活の中の熱とエネルギー フロンタナー

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等		
	担当授業科目名							
兼任	教授	KING KRISTY <平成28年4月> Doctor of Education curriculum, Instruction & Technology in Education(米國)						
		英語II 英語VI Academic Reading I Academic Reading II リサーチ入門【Ⅱ】 発達心理学【隔年】 人間の発達【隔年】						
			兼任	特命助教	BOYD DARRYLE LAMONT <平成28年4月>	BOYD DARRYLE LAMONT <平成28年4月>		
					英語II 英語VI	英語II 英語VI		
兼任	教授	木村 浩彦 <平成30年4月> 博士(医学)	兼任	教授	木村 浩彦 <平成30年4月> 博士(医学)	木村 浩彦 <平成30年4月> 博士(医学)		
		医療概論I ※			医療概論I ※	医療概論I ※		
兼任	教授	藤地 孝昭 <平成30年4月> 医学士	兼任	教授	藤地 孝昭 <平成30年4月> 医学士	藤地 孝昭 <平成30年4月> 医学士		
		医療概論I ※			医療概論I ※	医療概論I ※ 医療特論II ※		
兼任	教授	横山 修 <平成30年4月> 医学博士	兼任	教授	横山 修 <平成30年4月> 医学博士	兼任	教授	横山 修 <平成30年4月> 医学博士
		医療概論I ※			医療概論I ※		医療概論I ※	
兼任	教授	酒井 明子 <平成29年4月> 修士(教育学)	兼任	教授	酒井 明子 <平成29年4月> 修士(教育学)	兼任	教授	酒井 明子 <平成29年4月> 修士(教育学)
		東日本大震災をどう受け止めるか ※ 放射線利用-医学と産業- ※ 医療特論II ※			東日本大震災をどう受け止めるか ※ 放射線利用-医学と産業- ※ 医療特論II ※			東日本大震災をどう受け止めるか ※ 放射線利用-医学と産業- ※ 医療特論II ※
兼任	教授	玉川 洋一 <平成29年4月> 医学博士	兼任	教授	玉川 洋一 <平成29年4月> 医学博士	兼任	教授	玉川 洋一 <平成29年4月> 医学博士
		放射線利用-医学と産業- ※ 放射線安全工学 ※			放射線利用-医学と産業- ※ 放射線安全工学 ※			放射線利用-医学と産業- ※ 放射線安全工学 ※
兼任	教授	吉田 拓生 <平成28年4月> 理学博士	兼任	教授	吉田 拓生 <平成28年4月> 理学博士	兼任	教授	吉田 拓生 <平成28年4月> 理学博士
		放射線安全工学 ※			放射線安全工学 ※			放射線安全工学 ※
兼任	教授	岩野 正之 <平成30年4月> 博士(医学)	兼任	教授	岩野 正之 <平成30年4月> 博士(医学)			
		医療概論I ※			医療概論I ※			
兼任	教授	松岡 達 <平成29年4月> 医学博士	兼任	教授	松岡 達 <平成29年4月> 医学博士	兼任	教授	松岡 達 <平成29年4月> 医学博士
		健康科学・医科学概論 ※ 医療概論I ※			健康科学・医科学概論 ※ 医療概論I ※			健康科学・医科学概論 ※ 医療概論I ※
兼任	教授	内木 宏延 <平成30年4月> 医学博士	兼任	教授	内木 宏延 <平成30年4月> 医学博士	兼任	教授	内木 宏延 <平成30年4月> 医学博士
		医療概論I ※			医療概論I ※			医療概論I ※
兼任	教授	岩崎 博道 <平成30年4月> 博士(医学)	兼任	教授	岩崎 博道 <平成30年4月> 博士(医学)	兼任	教授	岩崎 博道 <平成29年10月> 博士(医学)
		医療概論I ※			医療概論I ※			健康科学・医科学概論 ※
兼任	教授	石塚 全 <平成30年4月> 医学博士	兼任	教授	石塚 全 <平成30年4月> 医学博士			
		医療概論I ※			医療概論I ※			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	重見 研司 <平成30年4月> 医学博士	医療概論Ⅰ ※	兼任	教授	重見 研司 <平成30年4月> 医学博士	医療概論Ⅰ ※								
兼任	教授	歩田 浩 <平成30年4月> 博士(医学)	医療概論Ⅰ ※	兼任	教授	歩田 浩 <平成30年4月> 博士(医学)	医療概論Ⅰ ※								
兼任	教授	大嶋 勇成 <平成30年4月> 博士(医学)	医療概論Ⅰ ※	兼任	教授	大嶋 勇成 <平成30年4月> 博士(医学)	医療概論Ⅰ ※	兼任	教授	大嶋 勇成 <平成30年4月> 博士(医学)	医療概論Ⅰ ※	兼任	教授	大嶋 勇成 <平成30年4月> 博士(医学)	医療概論Ⅰ ※
兼任	教授	吉田 好雄 <平成29年4月> 医学博士	健康科学・医科学概論 ※ 医療概論Ⅰ ※	兼任	教授	吉田 好雄 <平成29年4月> 医学博士	健康科学・医科学概論 ※ 医療概論Ⅰ ※	兼任	教授	吉田 好雄 <平成29年4月> 医学博士	健康科学・医科学概論 ※ 医療概論Ⅰ ※	兼任	教授	吉田 好雄 <平成29年4月> 医学博士	健康科学・医科学概論 ※
兼任	教授	友田 明美 <平成30年4月> 博士(医学)	医療概論Ⅰ ※	兼任	教授	友田 明美 <平成30年4月> 博士(医学)	医療概論Ⅰ ※	兼任	教授	友田 明美 <平成30年4月> 博士(医学)	医療概論Ⅰ ※	兼任	教授	友田 明美 <平成30年4月> 博士(医学)	医療概論Ⅰ ※
兼任	教授	林 真之 <平成30年4月> 医学士	医療概論Ⅰ ※	兼任	教授	林 真之 <平成30年4月> 医学士	医療概論Ⅰ ※	兼任	教授	林 真之 <平成30年4月> 医学士	医療概論Ⅰ ※	兼任	教授	林 真之 <平成30年4月> 医学士	医療概論Ⅰ ※
兼任	教授	岡沢 秀彦 <平成30年4月> 博士(医学)	医療概論Ⅰ ※	兼任	教授	岡沢 秀彦 <平成30年4月> 博士(医学)	医療概論Ⅰ ※	兼任	教授	岡沢 秀彦 <平成30年4月> 博士(医学)	医療概論Ⅰ ※	兼任	教授	岡沢 秀彦 <平成30年4月> 博士(医学)	医療概論Ⅰ ※
兼任	教授	菅井 学 <平成30年4月> 博士(医学)	医療概論Ⅰ ※	兼任	教授	菅井 学 <平成30年4月> 博士(医学)	医療概論Ⅰ ※								
兼任	教授	中本 安成 <平成30年4月> 博士(医学)	医療概論Ⅰ ※	兼任	教授	中本 安成 <平成30年4月> 博士(医学)	医療概論Ⅰ ※	兼任	教授	中本 安成 <平成30年4月> 博士(医学)	医療概論Ⅰ ※	兼任	教授	中本 安成 <平成30年4月> 博士(医学)	医療概論Ⅰ ※
兼任	教授	深澤 有香 <平成30年4月> 博士(理学)	医療概論Ⅰ ※	兼任	教授	深澤 有香 <平成30年4月> 博士(理学)	医療概論Ⅰ ※								
兼任	教授	米沢 晋 <平成29年4月> 博士(工学)	フロントランナー	兼任	教授	米沢 晋 <平成29年4月> 博士(工学)	フロントランナー	兼任	教授	米沢 晋 <平成29年4月> 博士(工学)	フロントランナー	兼任	教授	米沢 晋 <平成29年4月> 博士(工学)	フロントランナー
兼任	教授	菊田 健一郎 <平成30年4月> 博士(医学)	医療概論Ⅰ ※	兼任	教授	菊田 健一郎 <平成30年4月> 博士(医学)	医療概論Ⅰ ※	兼任	教授	菊田 健一郎 <平成30年4月> 博士(医学)	医療概論Ⅰ ※	兼任	教授	菊田 健一郎 <平成31年4月> 博士(医学)	医療概論Ⅰ ※
兼任	教授	長谷川 美香 <平成29年4月> 修士(看護学)	医療特論Ⅱ ※	兼任	教授	長谷川 美香 <平成29年4月> 修士(看護学)	医療特論Ⅱ ※	兼任	教授	長谷川 美香 <平成29年4月> 修士(看護学)	医療特論Ⅱ ※	兼任	教授	長谷川 美香 <平成29年4月> 修士(看護学)	医療特論Ⅱ ※
兼任	教授	飯野 哲 <平成30年4月> 博士(医学)	医療概論Ⅰ ※	兼任	教授	飯野 哲 <平成30年4月> 博士(医学)	医療概論Ⅰ ※	兼任	教授	飯野 哲 <平成30年4月> 博士(医学)	医療概論Ⅰ ※	兼任	教授	飯野 哲 <平成30年4月> 博士(医学)	医療概論Ⅰ ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	定 清直 <平成30年4月> 博士(医学)	医療概論Ⅰ ※	兼任	教授	定 清直 <平成30年4月> 博士(医学)	医療概論Ⅰ ※	兼任	教授	定 清直 <平成30年4月> 博士(医学)	医療概論Ⅰ ※	兼任	教授	定 清直 <平成30年4月> 博士(医学)	医療概論Ⅰ ※
兼任	教授	長谷川 稔 <平成30年4月> 博士(医学)	医療概論Ⅰ ※	兼任	教授	長谷川 稔 <平成30年4月> 博士(医学)	医療概論Ⅰ ※	兼任	教授	長谷川 稔 <平成30年4月> 博士(医学)	医療概論Ⅰ ※	兼任	教授	長谷川 稔 <平成30年4月> 博士(医学)	医療概論Ⅰ ※
兼任	教授	松崎 秀夫 <平成29年4月> 博士(医学)	健康科学・医科学概論 ※ 医療概論Ⅰ ※	兼任	教授	松崎 秀夫 <平成29年4月> 博士(医学)	健康科学・医科学概論 ※ 医療概論Ⅰ ※	兼任	教授	松崎 秀夫 <平成29年4月> 博士(医学)	健康科学・医科学概論 ※	兼任	教授	松崎 秀夫 <平成29年4月> 博士(医学)	健康科学・医科学概論 ※ 医療概論Ⅰ ※
兼任	教授	泉 佳伸 <平成29年4月> 博士(工学)	放射線利用-医学と産業- ※ 放射線安全工学 ※	兼任	教授	泉 佳伸 <平成29年4月> 博士(工学)	放射線利用-医学と産業- ※ 放射線安全工学 ※	兼任	教授	泉 佳伸 <平成29年4月> 博士(工学)	放射線利用-医学と産業- ※ 放射線安全工学 ※	兼任	教授	泉 佳伸 <平成29年4月> 博士(工学)	放射線利用-医学と産業- ※ 放射線安全工学 ※
兼任	教授	安田 仲宏 <平成29年4月> 博士(理学)	東日本大震災をどう受け止めるか ※ 放射線利用-医学と産業- ※ 地域の防災・危機管理 ※ 原子力・災害関連法令と国際的関係 放射線安全工学 ※	兼任	教授	安田 仲宏 <平成29年4月> 博士(理学)	東日本大震災をどう受け止めるか ※ 放射線利用-医学と産業- ※ 地域の防災・危機管理 ※ 原子力・災害関連法令と国際的関係 放射線安全工学 ※	兼任	教授	安田 仲宏 <平成29年4月> 博士(理学)	東日本大震災をどう受け止めるか ※ 放射線利用-医学と産業- ※ 地域の防災・危機管理 ※ 原子力・災害関連法令と国際的関係 放射線安全工学 ※	兼任	教授	安田 仲宏 <平成29年4月> 博士(理学)	東日本大震災をどう受け止めるか ※ 放射線利用-医学と産業- ※ 地域の防災・危機管理 ※ 原子力・災害関連法令と国際的関係 放射線安全工学 ※
兼任	教授	小林 基弘 <平成29年4月> 博士(医学)	健康科学・医科学概論 ※ 医療概論Ⅰ ※	兼任	教授	小林 基弘 <平成29年4月> 博士(医学)	健康科学・医科学概論 ※ 医療概論Ⅰ ※	兼任	教授	小林 基弘 <平成29年4月> 博士(医学)	健康科学・医科学概論 ※	兼任	教授	小林 基弘 <平成29年4月> 博士(医学)	健康科学・医科学概論 ※
兼任	教授	青木 耕史 <平成30年4月> 博士(医学)	医療概論Ⅰ ※	兼任	教授	青木 耕史 <平成30年4月> 博士(医学)	医療概論Ⅰ ※								
兼任	准教授	松本 英樹 <平成29年4月> 博士(医学)	健康科学・医科学概論 ※ 医療概論Ⅰ ※	兼任	准教授	松本 英樹 <平成29年4月> 博士(医学)	健康科学・医科学概論 ※ 医療概論Ⅰ ※	兼任	准教授	松本 英樹 <平成29年4月> 博士(医学)	健康科学・医科学概論 ※	兼任	准教授	松本 英樹 <平成29年4月> 博士(医学)	健康科学・医科学概論 ※
兼任	准教授	鳥田 一部 <平成30年4月> 博士(医学)	医療概論Ⅰ ※	兼任	教授	鳥田 一部 <平成30年4月> 博士(医学)	医療概論Ⅰ ※	兼任	教授	鳥田 一部 <平成29年10月> 博士(医学)	健康科学・医科学概論 ※	兼任	教授	鳥田 一部 <平成29年10月> 博士(医学)	健康科学・医科学概論 ※ 医療概論Ⅰ ※
兼任	准教授	繁田 里美 <平成31年4月> 修士(教育学)	医療特論Ⅱ ※	兼任	准教授	繁田 里美 <平成31年4月> 修士(教育学)	医療特論Ⅱ ※	兼任	准教授	繁田 里美 <平成31年4月> 修士(教育学)	医療特論Ⅱ ※	兼任	准教授	繁田 里美 <平成31年4月> 修士(教育学)	医療特論Ⅱ ※
兼任	准教授	浅井 竜哉 <平成29年4月> Doctor of Philosophy (カナダ)	生体情報工学 放射線の生物影響と防護	兼任	准教授	浅井 竜哉 <平成29年4月> Doctor of Philosophy (カナダ)	生体情報工学 放射線の生物影響と防護	兼任	准教授	浅井 竜哉 <平成29年4月> Doctor of Philosophy (カナダ)	生体情報工学 放射線の生物影響と防護	兼任	准教授	浅井 竜哉 <平成29年4月> Doctor of Philosophy (カナダ)	生体情報工学 放射線の生物影響と防護
兼任	准教授	内田 研造 <平成30年4月> 博士(医学)	医療概論Ⅰ ※												
兼任	准教授	磯見 智恵 <平成29年4月> 修士(看護学)	医療特論Ⅱ ※	兼任	教授	磯見 智恵 <平成29年4月> 修士(看護学)	医療特論Ⅱ ※	兼任	教授	磯見 智恵 <平成29年4月> 修士(看護学)	医療特論Ⅱ ※	兼任	教授	磯見 智恵 <平成29年4月> 修士(看護学)	医療特論Ⅱ ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	職名	氏名 (年齢)	
		<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名	
兼任	准教授	桑原 陽子 <平成29年4月> 博士(学術)	桑原 陽子 <平成29年4月> 博士(学術)	准教授	桑原 陽子 <平成29年4月> 博士(学術)	桑原 陽子 <平成29年4月> 博士(学術)	准教授	桑原 陽子 <平成29年4月> 博士(学術)	桑原 陽子 <平成29年4月> 博士(学術)	准教授	桑原 陽子 <平成29年4月> 博士(学術)	桑原 陽子 <平成29年4月> 博士(学術)	兼任	准教授	桑原 陽子 <平成29年4月> 博士(学術)
		日本語C 日本語E 日本語H 多文化コミュニケーションA (異文化コミュニケーションA) 多文化コミュニケーションB (日本語コミュニケーションB) 多文化コミュニケーションC (異文化コミュニケーションC) 日本語学概論 コミュニケーションのための日本語教育論			日本語C 日本語E 日本語H 多文化コミュニケーションA (異文化コミュニケーションA) 多文化コミュニケーションB (日本語コミュニケーションB) 多文化コミュニケーションC (異文化コミュニケーションC) コミュニケーションのための日本語教育論			日本語C 日本語E 日本語H 多文化コミュニケーションA (異文化コミュニケーションA) 多文化コミュニケーションB (日本語コミュニケーションB) 多文化コミュニケーションC (異文化コミュニケーションC) コミュニケーションのための日本語教育論			日本語C 日本語E 日本語H 多文化コミュニケーションA (異文化コミュニケーションA) 多文化コミュニケーションB (日本語コミュニケーションB) 多文化コミュニケーションC (異文化コミュニケーションC) コミュニケーションのための日本語教育論				
兼任	准教授	佐藤 敏 <平成29年4月> 修士(教育学)	佐藤 敏 <平成29年4月> 修士(教育学)	准教授	佐藤 敏 <平成29年4月> 修士(教育学)	佐藤 敏 <平成29年4月> 修士(教育学)	准教授	佐藤 敏 <平成29年4月> 修士(教育学)	佐藤 敏 <平成29年4月> 修士(教育学)	兼任	日本語学概論 日本語A 日本語D 日本語F 応用日本語Ⅰ 応用日本語Ⅱ	日本語学概論 日本語A 日本語D 日本語F 応用日本語Ⅰ 応用日本語Ⅱ	兼任	准教授	日本語学概論 日本語A 日本語D 日本語F 応用日本語Ⅰ 応用日本語Ⅱ
		日本語学概論			日本語学概論			日本語学概論							
兼任	准教授	小川 泉 <平成29年4月> 博士(理学)	小川 泉 <平成29年4月> 博士(理学)	准教授	小川 泉 <平成29年4月> 博士(理学)	小川 泉 <平成29年4月> 博士(理学)	准教授	小川 泉 <平成29年4月> 博士(理学)	小川 泉 <平成29年4月> 博士(理学)	兼任	放射線安全工学 ※	放射線安全工学 ※	兼任	准教授	放射線安全工学 ※
		放射線安全工学 ※			放射線安全工学 ※			放射線安全工学 ※							
兼任	准教授	月田 佳寿美 <平成31年4月> 修士(看護学)	月田 佳寿美 <平成31年4月> 修士(看護学)	准教授	月田 佳寿美 <平成31年4月> 修士(看護学)	月田 佳寿美 <平成31年4月> 修士(看護学)	准教授	月田 佳寿美 <平成31年4月> 修士(看護学)	月田 佳寿美 <平成31年4月> 修士(看護学)	兼任	医療特論Ⅱ ※	医療特論Ⅱ ※	兼任	准教授	医療特論Ⅱ ※
		医療特論Ⅱ ※			医療特論Ⅱ ※			医療特論Ⅱ ※							
兼任	准教授	三浦 麻 <平成29年4月> 博士(農学)	三浦 麻 <平成29年4月> 博士(農学)	准教授	三浦 麻 <平成29年4月> 博士(農学)	三浦 麻 <平成29年4月> 博士(農学)	准教授	三浦 麻 <平成29年4月> 博士(農学)	三浦 麻 <平成29年4月> 博士(農学)	兼任	地域の局地気象 地域環境論	地域の局地気象 地域環境論	兼任	准教授	地域の局地気象 地域環境論
		地域の局地気象 地域環境論			地域の局地気象 地域環境論			地域の局地気象							
兼任	准教授	高村 佳弘 <平成30年4月> 博士(医学)	高村 佳弘 <平成30年4月> 博士(医学)	准教授	高村 佳弘 <平成30年4月> 博士(医学)	高村 佳弘 <平成30年4月> 博士(医学)	准教授	高村 佳弘 <平成30年4月> 博士(医学)	高村 佳弘 <平成30年4月> 博士(医学)	兼任	医療概論Ⅰ ※	医療概論Ⅰ ※	兼任	准教授	医療概論Ⅰ ※
		医療概論Ⅰ ※			医療概論Ⅰ ※			医療概論Ⅰ ※							
兼任	准教授	長谷川 裕子 <平成29年4月> 博士(文学)	長谷川 裕子 <平成29年4月> 博士(文学)	准教授	長谷川 裕子 <平成29年4月> 博士(文学)	長谷川 裕子 <平成29年4月> 博士(文学)	准教授	長谷川 裕子 <平成29年4月> 博士(文学)	長谷川 裕子 <平成29年4月> 博士(文学)	兼任	日本史(中世社会の転換) 日本史(近世社会の展開) 日本史概説 福井地域の歴史 ※	日本史(中世社会の転換) 日本史(近世社会の展開) 日本史概説 福井地域の歴史 ※	兼任	准教授	日本史(中世社会の転換) 日本史(近世社会の展開) 日本史概説 福井地域の歴史 ※
		日本史(中世社会の転換) 日本史(近世社会の展開) 日本史概説 福井地域の歴史 ※			日本史(中世社会の転換) 日本史(近世社会の展開) 日本史概説 福井地域の歴史 ※			日本史(中世社会の転換) 日本史(近世社会の展開) 日本史概説 福井地域の歴史 ※							
兼任	准教授	清水 泰幸 <平成29年4月> 修士(法学)	清水 泰幸 <平成29年4月> 修士(法学)	准教授	清水 泰幸 <平成29年4月> 修士(法学)	清水 泰幸 <平成29年4月> 修士(法学)	准教授	清水 泰幸 <平成29年4月> 修士(法学)	清水 泰幸 <平成29年4月> 修士(法学)	兼任	憲法概論 日本国憲法 地方自治法 社会保障法 労働法	憲法概論 日本国憲法 地方自治法 社会保障法 労働法	兼任	准教授	憲法概論 日本国憲法 地方自治法 社会保障法 労働法
		憲法概論 日本国憲法 地方自治法 社会保障法 労働法			憲法概論 日本国憲法 地方自治法 社会保障法 労働法			憲法概論 日本国憲法 地方自治法 社会保障法 労働法							
兼任	准教授	山次 俊介 <平成30年4月> 博士(学術)	山次 俊介 <平成30年4月> 博士(学術)	准教授	山次 俊介 <平成30年4月> 博士(学術)	山次 俊介 <平成30年4月> 博士(学術)	准教授	山次 俊介 <平成30年4月> 博士(学術)	山次 俊介 <平成30年4月> 博士(学術)	兼任	医療特論Ⅰ ※ 医療科学・医科学概論 ※	医療特論Ⅰ ※ 医療科学・医科学概論 ※	兼任	准教授	医療特論Ⅰ ※ 医療科学・医科学概論 ※
		医療特論Ⅰ ※ 医療科学・医科学概論 ※			医療特論Ⅰ ※ 医療科学・医科学概論 ※			医療特論Ⅰ ※ 医療科学・医科学概論 ※							
兼任	准教授	竹本 拓治 <平成29年4月> 博士(政策科学)	竹本 拓治 <平成29年4月> 博士(政策科学)	准教授	竹本 拓治 <平成29年4月> 博士(政策科学)	竹本 拓治 <平成29年4月> 博士(政策科学)	准教授	竹本 拓治 <平成29年4月> 博士(政策科学)	竹本 拓治 <平成29年4月> 博士(政策科学)	兼任	現代社会とビジネス 現代社会とキャリア・アントレプレナーシップ アントレプレナーシップ論	現代社会とビジネス 現代社会とキャリア・アントレプレナーシップ アントレプレナーシップ論	兼任	教授	現代社会とビジネス 現代社会とキャリア・アントレプレナーシップ アントレプレナーシップ論
		現代社会とビジネス 現代社会とキャリア・アントレプレナーシップ アントレプレナーシップ論			現代社会とビジネス 現代社会とキャリア・アントレプレナーシップ アントレプレナーシップ論			現代社会とビジネス 現代社会とキャリア・アントレプレナーシップ アントレプレナーシップ論							
兼任	准教授	原田 陽子 <平成29年4月> 修士(芸術工学)	原田 陽子 <平成29年4月> 修士(芸術工学)	准教授	原田 陽子 <平成29年4月> 修士(芸術工学)	原田 陽子 <平成29年4月> 修士(芸術工学)	准教授	原田 陽子 <平成29年4月> 修士(芸術工学)	原田 陽子 <平成29年4月> 修士(芸術工学)	兼任	建築計画各論第一	建築計画各論第一	兼任	准教授	建築計画各論第一 都市と建築の環境
		建築計画各論第一			建築計画各論第一 都市と建築の環境										
兼任	准教授	松本 智恵子 <平成28年4月> 博士(理学)	松本 智恵子 <平成28年4月> 博士(理学)	准教授	松本 智恵子 <平成28年4月> 博士(理学)	松本 智恵子 <平成28年4月> 博士(理学)	准教授	松本 智恵子 <平成28年4月> 博士(理学)	松本 智恵子 <平成28年4月> 博士(理学)	兼任	ランダム現象の記述 統計入門 データサイエンスⅠ	ランダム現象の記述 統計入門 データサイエンスⅠ	兼任	准教授	ランダム現象の記述 統計入門 データサイエンスⅠ
		ランダム現象の記述 統計入門 データサイエンスⅠ			ランダム現象の記述 統計入門 データサイエンスⅠ			ランダム現象の記述 統計入門 データサイエンスⅠ							



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			
兼任	特命助教	TSUSHIMA WALTER SATOSHI <平成28年4月> Master of Science (Major: TESOL) (未滿)	兼任	特命助教	TSUSHIMA WALTER SATOSHI <平成28年4月> Master of Science (Major: TESOL) (未滿)	兼任	特命助教	TSUSHIMA WALTER SATOSHI <平成28年4月> Master of Science (Major: TESOL) (未滿)	兼任	特命助教	TSUSHIMA WALTER SATOSHI <平成28年4月> Master of Science (Major: TESOL) (未滿)	兼任	特命助教	TSUSHIMA WALTER SATOSHI <平成28年4月> Master of Science (Major: TESOL) (未滿)
		英語Ⅰ 英語Ⅳ 英語Ⅴ 英語Ⅵ 弁論法 異文化コミュニケーション 日本の伝統文化入門			英語Ⅰ 英語Ⅳ 英語Ⅴ 英語Ⅵ 弁論法 異文化コミュニケーション 日本の伝統文化入門			英語Ⅰ 英語Ⅳ 英語Ⅴ 英語Ⅵ 弁論法 異文化コミュニケーション 日本の伝統文化入門			英語Ⅰ 英語Ⅳ 英語Ⅴ 英語Ⅵ 弁論法 異文化コミュニケーション 日本の伝統文化入門			英語Ⅰ 英語Ⅳ 英語Ⅴ 英語Ⅵ 弁論法 異文化コミュニケーション 日本の伝統文化入門
兼任	特命助教	松尾 陽一郎 <平成30年4月> 博士(工学)	兼任	特命助教	松尾 陽一郎 <平成30年4月> 博士(工学)	兼任	講師	松尾 陽一郎 <平成30年4月> 博士(工学)	兼任	講師	松尾 陽一郎 <平成30年4月> 博士(工学)	兼任	講師	松尾 陽一郎 <平成30年4月> 博士(工学)
		放射線利用-医学と産業- ※ 地域の防災・危機管理 ※ 放射線の生物影響と防護			放射線利用-医学と産業- ※ 地域の防災・危機管理 ※ 放射線の生物影響と防護			放射線利用-医学と産業- ※ 地域の防災・危機管理 ※ 放射線の生物影響と防護			放射線利用-医学と産業- ※ 地域の防災・危機管理 ※ 放射線の生物影響と防護			放射線利用-医学と産業- ※ 地域の防災・危機管理 ※ 放射線の生物影響と防護
兼任	副看護部長	江守 直美 <平成31年4月> 修士(看護学)	兼任	副看護部長	江守 直美 <平成31年4月> 修士(看護学)									
		医療特論Ⅱ ※			医療特論Ⅱ ※									
						兼任	教授	山内 高弘 <平成30年4月> 博士(医学)	兼任	教授	山内 高弘 <平成30年4月> 博士(医学)	兼任	教授	山内 高弘 <平成30年4月> 博士(医学)
								医療特論Ⅰ ※			医療特論Ⅰ ※			医療特論Ⅰ ※
						兼任	講師	大木 央 <平成30年10月> 医学博士	兼任	講師	大木 央 <平成30年10月> 医学博士	兼任	講師	大木 央 <平成30年10月> 医学博士
								医療特論Ⅰ ※			医療特論Ⅰ ※			医療特論Ⅰ ※
						兼任	教授	四谷 淳子 <平成31年4月> 博士(薬理学)	兼任	教授	四谷 淳子 <平成31年4月> 博士(薬理学)	兼任	教授	四谷 淳子 <平成31年4月> 博士(薬理学)
								医療特論Ⅱ ※			医療特論Ⅱ ※			医療特論Ⅱ ※
						兼任	教授	波崎 由美子 <平成31年4月> 看護学修士	兼任	教授	波崎 由美子 <平成31年4月> 看護学修士	兼任	教授	波崎 由美子 <平成31年4月> 看護学修士
								医療特論Ⅱ ※			医療特論Ⅱ ※			医療特論Ⅱ ※
						兼任	助教	藤井 千代美 <平成31年4月> 修士(教育学)	兼任	助教	藤井 千代美 <平成31年4月> 修士(教育学)			
								医療特論Ⅱ ※			医療特論Ⅱ ※			
						兼任	講師	栗田 智未 <平成31年4月> 博士(心理学)	兼任	講師	栗田 智未 <平成31年4月> 博士(心理学)	兼任	講師	栗田 智未 <平成31年4月> 博士(心理学)
								医療特論Ⅱ ※			医療特論Ⅱ ※			医療特論Ⅱ ※
						兼任	副看護部長	山内 順子 <平成31年4月> 修士(経営学)	兼任	副看護部長	山内 順子 <平成31年4月> 修士(経営学)	兼任	副看護部長	山内 順子 <平成31年4月> 修士(経営学)
								医療特論Ⅱ ※			医療特論Ⅱ ※			医療特論Ⅱ ※
						兼任	特命助教	谷川 明希子 <平成30年4月>	兼任	特命助教	谷川 明希子 <平成30年4月>			
								医療特論Ⅰ ※			医療特論Ⅰ ※			
						兼任	教授	藤枝 重治 <平成30年4月> 博士(医学)	兼任	教授	藤枝 重治 <平成30年4月> 博士(医学)	兼任	教授	藤枝 重治 <平成30年4月> 博士(医学)
								医療特論Ⅰ ※			医療特論Ⅰ ※			医療特論Ⅰ ※
						兼任	教授	松峯 昭彦 <平成30年4月> 博士(医学)	兼任	教授	松峯 昭彦 <平成30年4月> 博士(医学)			
								医療特論Ⅰ ※			医療特論Ⅰ ※			



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
														兼任 教授 平工 雄介 <平成31年4月> 博士(医学) 医療特論I ※
														兼任 講師 折坂 誠 <平成31年4月> 博士(医学) 医療特論I ※
														兼任 教授 小坂 清隆 <平成31年4月> 医学博士 医療特論I ※
														兼任 准教授 木村 秀樹 <平成31年4月> 博士(医学) 医療特論I ※
														兼任 教授 福谷 大 <平成31年4月> 博士(医学) 医療特論I ※
														兼任 准教授 中井 國博 <平成31年4月> 博士(医学) 医療特論I ※
														兼任 准教授 廣野 靖夫 <平成31年4月> 医学博士 医療特論I ※
														兼任 教授 清野 泰 <平成31年4月> 博士(薬学) 医療特論I ※
														兼任 教授 井筒 友貴 <平成31年4月> 医療特論I ※
														兼任 講師 山田 岳晴 <平成31年4月> 博士(文学) 論義史 モノから読み解く文化財学
														兼任 助教 高村 理織子 <平成31年4月> 医療特論II ※
														兼任 講師 前川 豊久子 <平成31年4月> 医療特論II ※
兼任	講師	高嶋 猛 <平成31年4月> 博士(工学)	兼任	講師	高嶋 猛 <平成31年4月> 博士(工学)	兼任	講師	高嶋 猛 <平成31年4月> 博士(工学)	兼任	講師	高嶋 猛 <平成31年4月> 博士(工学)	兼任	講師	前川 豊久子 <平成31年4月> 医療特論II ※
														兼任 講師 建築史
兼任	講師	金成 和喜 <平成31年4月> 経営学士	兼任	講師	金成 和喜 <平成31年4月> 経営学士	兼任	講師	金成 和喜 <平成31年4月> 経営学士	兼任	講師	金成 和喜 <平成31年4月> 経営学士	兼任	講師	金成 和喜 <平成31年4月> 経営学士
														兼任 講師 マーケティング論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	大磯 真一 <平成31年4月> 博士(経済学)	兼任	講師	大磯 真一 <平成31年4月> 博士(経済学)	兼任	講師	大磯 真一 <平成31年4月> 博士(経済学)	兼任	講師	大磯 真一 <平成31年4月> 博士(経済学)
		資源エネルギー概論			資源エネルギー概論			資源エネルギー概論			資源エネルギー概論
兼任	講師	高島 敏郎 <平成29年4月> 学士(工学)	兼任	講師	高島 敏郎 <平成29年4月> 学士(工学)	兼任	講師	高島 敏郎 <平成29年4月> 学士(工学)	兼任	講師	高島 敏郎 <平成29年4月> 学士(工学)
		知的財産の基礎知識			知的財産の基礎知識			知的財産の基礎知識			知的財産の基礎知識
兼任	講師	高原 裕一 <平成30年4月> 学士(法学)	兼任	講師	高原 裕一 <平成30年4月> 学士(法学)	兼任	講師	高原 裕一 <平成30年4月> 学士(法学)	兼任	講師	高原 裕一 <平成30年4月> 学士(法学)
		ベンチャービジネス概論			ベンチャービジネス概論			ベンチャービジネス概論			ベンチャービジネス概論
兼任	講師	吉村 臨兵 <平成30年4月> 修士(経済学)	兼任	講師	吉村 臨兵 <平成30年4月> 修士(経済学)	兼任	講師	吉村 臨兵 <平成30年4月> 修士(経済学)	兼任	講師	吉村 臨兵 <平成30年4月> 修士(経済学)
		医療概論Ⅱ			医療概論Ⅱ			医療概論Ⅱ			医療概論Ⅱ
兼任	講師	瓦井 昇 <平成30年4月> 修士(社会福祉学)	兼任	講師	瓦井 昇 <平成30年4月> 修士(社会福祉学)	兼任	講師	瓦井 昇 <平成30年4月> 修士(社会福祉学)	兼任	講師	瓦井 昇 <平成30年4月> 修士(社会福祉学)
		地域福祉論			地域福祉論			地域福祉論			地域福祉論
									兼任	講師	永井 裕子 <平成31年4月> 修士(社会福祉学)
											地域福祉論
兼任	講師	升田 法継 <平成30年4月> 学士(経済学)	兼任	講師	升田 法継 <平成30年4月> 学士(経済学)	兼任	講師	升田 法継 <平成30年4月> 学士(経済学)	兼任	講師	升田 法継 <平成30年4月> 学士(経済学)
		人間関係論			人間関係論			人間関係論			人間関係論
兼任	講師	島岡 哉 <平成31年4月> 修士(文学)	兼任	講師	島岡 哉 <平成31年4月> 修士(文学)	兼任	講師	島岡 哉 <平成31年4月> 修士(文学)	兼任	講師	島岡 哉 <平成31年4月> 修士(文学)
		メディア論			メディア論			メディア論			メディア論
									兼任	講師	丸山 真央 <平成31年4月> 博士(社会学)
											メディア論
兼任	講師	戸部 真澄 <平成29年4月> 博士(法学)	兼任	講師	戸部 真澄 <平成29年4月> 博士(法学)	兼任	講師	戸部 真澄 <平成29年4月> 博士(法学)	兼任	講師	戸部 真澄 <平成29年4月> 博士(法学)
		行政法Ⅰ(総論)			行政法Ⅰ(総論)			行政法Ⅰ(総論) 行政法Ⅱ(行政教養法)			行政法Ⅰ(総論) 行政法Ⅱ(行政教養法)
兼任	講師	今川 奈緒 <平成30年4月> 政治学修士	兼任	講師	今川 奈緒 <平成30年4月> 政治学修士	兼任	講師	今川 奈緒 <平成30年4月> 政治学修士			
		行政法Ⅱ(行政教養法)			行政法Ⅱ(行政教養法)			行政法Ⅱ(行政教養法)			
兼任	講師	平松 隆円 <平成30年4月> 博士(教育学)	兼任	講師	平松 隆円 <平成30年4月> 博士(教育学)	兼任	講師	平松 隆円 <平成30年4月> 博士(教育学)	兼任	講師	平松 隆円 <平成30年4月> 博士(教育学)
		観光学			観光学			観光学			観光学
									兼任	講師	田村(佐藤) 睿子 <平成29年10月> 文学修士
											中国の文化 中国語文章表現 中国文学 現代中国語読解 中国文化演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任 講師		薄崎 敏文 <平成28年4月> 修士(MBA/経営学)			薄崎 敏文 <平成28年4月> 修士(MBA/経営学)			薄崎 敏文 <平成28年4月> 修士(MBA/経営学)
					リサーチ入門(E)			リサーチ入門(E)			リサーチ入門(E)
									兼任 講師		青木 寛人 <平成30年4月> 博士(理学)
											地域環境論
									兼任 講師		BECCO NICOLANGELO <平成31年4月> PhD Comparative Literature (イタリア)
											アメリカの短編小説 アメリカ文学の興トピックス アジア系アメリカ文学 比較文学
									兼任 講師		熊谷 高幸 <平成30年10月> 教育学修士
											発達心理学 人間の発達

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
  - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
  - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成28年度】

- ・COC+事業に伴う地域志向科目の充実のため追加した科目「地方創生福井モデルの事例研究—鯖江学—」「ふくいを知る・見る・考える」について、岩井善郎理事が担当。
- ・萩原隆教授の退職により教員を見直し、当該科目は複数名で担当のため、後任なし。
- ・担当教員昇任のため、谷澤昭彦准教授、五井孝憲准教授、吉村治広准教授、伊達正起准教授、橋本康弘准教授、門井直哉准教授、島田一郎准教授、磯見智恵准教授が教授に変更。Dylan Jones講師、西沢徹講師、本田安都子講師、山田孝禎講師、三好雅也講師、中村太一講師が准教授に変更。
- ・吉田伸治准教授の退職により教員を見直し、「都市と建築の環境」は複数名で担当のため、後任なし。
- ・佐藤直樹特命助教の退職により教員を見直し、「環境問題と社会」については後任補充予定。
- ・KING KRISTY教授退職により教員を見直し、「英語Ⅱ」「英語Ⅵ」はBOYD DARRYLE LAMONT特命助教、「リサーチ入門(E)」は澤崎敏文講師が担当する。「Academic Reading I」「Academic Reading II」「発達心理学【隔年】」「人間の発達【隔年】」については後任補充予定。
- ・内田研造准教授の退職により教員を見直し、「医療概論Ⅰ」は複数名で担当のため、後任なし。
- ・担当科目の見直しのため、桑原陽子准教授が担当となっていた「日本語学概論」を佐藤綾准教授担当に変更。
- ・ECHELBERRY JAMES LEONARD特命講師の退職により教員を見直し、「英語Ⅱ」「英語Ⅵ」はREGINALD CLAUDE JULIUS GENTRY, Jr特命助教が担当する。「English Reading Ⅲ」「English Reading Ⅳ」「Academic Reading I」「Academic Reading II」については後任補充予定。
- ・GAGNON GREG特命助教の退職により教員を見直し、「英語Ⅱ」「英語Ⅵ」はCOOPER ELLIOT LLOYD特命助教が担当する。「English Reading Ⅲ」「English Reading Ⅳ」については後任補充予定。

【平成29年度】

- ・福原輝幸教授の退職により教員を見直し、「災害の科学」は複数名で担当のため、後任なし。
- ・教育効果向上のため教員体制を見直し、「健康科学・医科学概論」の担当を安田年博教授、田中幸枝助教から岩崎博道教授、島田一郎准教授、山次俊介准教授に変更。
- ・担当教員昇任のため、陳競篤准教授、松友一雄准教授、内村智博准教授が教授に変更。井上圭一講師、笹原未来講師が准教授に変更。松尾陽一郎特命助教が講師に変更。
- ・担当教員定年のため、寺澤秀一教授が特命教授に変更。
- ・教育効果向上のため教員体制を見直し、「医療概論Ⅰ」の担当を老木成稔教授、佐野和生教授、横山修教授、岩野正之教授、岩崎博道教授、石塚全教授、夢田浩教授、菅井学教授、深澤有吾教授、長谷川稔教授、松崎秀夫教授、小林基弘教授、青木耕史教授、松本英樹准教授、島田一郎教授、高村佳弘准教授から五井孝憲教授、山内高弘教授に変更。
- ・教育効果向上のため教員体制を見直し、「医療概論Ⅱ」の担当を上澤悦子教授、和田有司教授、江守直美副看護部長から藤地孝昭教授、四谷淳子教授、波崎由美子教授、藤井千代美助教、栗田智未講師、山内順子副看護部長、前川委久子講師に変更。
- ・稲垣良介准教授の退職により教員を見直し、「ネット型球技(バレーボール)指導の理論と実際」については後任補充予定。
- ・教育効果向上のため追加した科目「主権者意識をはぐくむ」について、橋本康弘教授が担当。
- ・小林泰三准教授の退職により教員を見直し、「災害の科学」は複数名で担当のため、後任なし。
- ・教育効果向上のため追加した科目「アクティブ・ラーニングと生涯学習」について、遠藤貴広准教授、柳澤昌一教授が担当。
- ・島田直樹助教の退職により教員を見直し、「繊維の世界」は複数名で担当のため、後任なし。
- ・教育効果向上のため「進化する繊維の技術」の担当に末信一朗教授、鈴木悠講師を追加。
- ・COC+事業に伴う地域志向科目の充実のため追加した科目「ふくいを知る・見る・考えるⅡ」について吉田史朗特命教授が、「地域の自然と環境(福井や日本海地域を中心に)」について徳永雄次教授が担当。
- ・教育効果向上のため「科学技術と環境」について、岡田敬志講師が担当。
- ・教育効果向上のため追加した科目「学問の入り口」について、末本哲雄特命講師が担当。
- ・教育効果向上のため追加した科目「歴史」のトリビア(歴史文化論から歴史教育まで)について、中切正人講師が担当。
- ・教育効果向上のため追加した科目「コンピュータと情報処理」について、塚本充教授が担当。
- ・田村(佐藤)容子准教授福井大学退職後、兼任となり専任教員(永井崇弘准教授)と共同で授業を受け持つため、永井崇弘准教授の担当科目に「現代中国語講読」「中国文化演習」を追加。平成29年1月A C教員審査済み。
- ・田村(佐藤)容子准教授福井大学退職により教員見直しの結果、「中国語の世界3」「中国語の世界4」については兼任教員(加藤錦霞講師)で対応。「課題探求プロジェクト基礎A」「課題探求プロジェクトⅠ」「課題探求プロジェクトⅡ」「課題探求プロジェクトⅢA」「課題探求プロジェクトⅢB」「課題探求プロジェクトⅢC」「卒業研究」については、複数名で担当のため後任なし。
- ・田村(佐藤)容子准教授福井大学退職後、兼任となり「中国の文化」「中国語文章表現」「中国文学」「現代中国語講読」「中国文化演習」の授業を受け持つ。
- ・教育課程の充実を図るため、中村友哉講師の担当科目に「マネジメント入門」「課題探求プロジェクト基礎A」「課題探求プロジェクトⅠ」「課題探求プロジェクトⅡ」「課題探求プロジェクトⅢA」「課題探求プロジェクトⅢB」「卒業研究セミナー」「卒業研究」追加。平成29年1月A C教員審査済み。
- ・松下聡教授の退職により教員を見直し、「都市と建築の環境」については木曾久美子助教が担当する。「建築計画各論第二」については後任補充予定。
- ・後任未定であった「Academic Reading I」「Academic Reading II」についてKING KELLY JEAN准教授が複数授業担当。
- ・後任未定であった「English Reading Ⅲ」「English Reading Ⅳ」についてREGINALD CLAUDE JULIUS GENTRY, Jr特命助教が担当。
- ・教育課程の充実を図るため、「医療概論Ⅰ」の担当教員に大木央講師を追加。

【平成30年度】

- ・川上洋司教授の退職により教員を見直し、「まちづくり論」は複数名で担当のため、後任なし。
- ・齊藤輝雄教授、小川勇教授の退職により教員を見直し、「電磁波と物質」は複数名で担当のため、後任なし。
- ・瀬和則准教授の退職により教員を見直し、「新素材の世界」について、入江聡准教授が担当。
- ・担当教員昇任のため、磯雅人准教授、高橋泰岳准教授が教授に変更。植松英之講師が准教授に変更。
- ・教育効果向上のため教員体制を見直し、「健康科学・医科学概論」の担当を森川美羽助教から梅田幸寛助教に変更。
- ・教育効果向上のため「ふくいを知る・見る・考える」について、吉田史朗特命教授が担当。
- ・教育効果向上のため「繊維の世界」について、浅井華子助教が担当。
- ・教育効果向上のため「都市と建築の環境」について、木曾久美子助教から桃井良尚講師、西本雅人講師が担当。
- ・教育効果向上のため「災害の科学」について、鈴木啓悟講師、藤本明宏講師、寺崎寛幸助教が担当。
- ・教育効果向上のため「人間の科学特別演習C(障害児)」について、新井豊吉准教授が担当。
- ・教育効果向上のため「バイオの世界」について、沖昌也教授、小西慶幸准教授が担当。
- ・教育効果向上のため「生体機能と化学物質」について、前田史郎教授、高橋透准教授が担当。
- ・教育効果向上のため「計算機システムの基礎」について、森真一郎教授が担当。
- ・教育効果向上のため追加した科目「こころの成長」について、高橋哲也准教授、後藤綾文特命講師が担当。
- ・後任未定であった「建築計画各論第二」について、西本雅人講師が担当。
- ・教育効果向上のため「日本語A」「日本語D」「日本語F」「応用日本語Ⅰ」「応用日本語Ⅱ」について佐藤綾准教授が担当。
- ・担当科目の見直しのため、三浦麻准教授が担当となっていた「地域環境論」を青木賢人講師担当に変更。
- ・今川奈緒講師の就任辞退のため、「行政法II(行政救済法)」を戸部真澄講師が担当。
- ・教育効果向上のため教員体制を見直し、「医療概論Ⅰ」の担当を和田有司教授、日下幸則教授、重見研司教授、菊田健一郎教授から横山修教授、長谷川稔教授、藤枝重治教授、松峯昭彦教授、谷川明希子特命助教に変更。
- ・Malcolm Wayne Anthony講師の退職により、「英語Ⅲ」「英語Ⅶ」についてREGINALD CLAUDE JULIUS GENTRY, Jr.特命助教が担当。「異文化コミュニケーション」については、複数名で担当のため、後任補充なし。「民族音楽学」については後任補充予定。
- ・Cooper Elliot Lloyd特命助教の退職により、「英語Ⅱ」「英語Ⅵ」について逸見洋二郎特命講師が担当。
- ・芹生正史准教授死亡により、「宇宙の成り立ち」について後任補充予定。

【令和元年度】

- ・内田博之教授の退職により教員を見直し、「バイオの世界」は複数名で担当のため、後任なし。
- ・寺尾健夫教授死亡により教員を見直し、「批判的思考を伸ばす」については後任補充予定。
- ・後任補充としていた「民族音楽学」について濫谷政子教授が担当。
- ・教育効果向上のため教員体制を見直し、「電磁波と物資」の担当を光藤誠太郎教授、山本晃司准教授から石川裕也助教、福成雅史助教に変更。
- ・竹内恵子准教授の退職により教員を見直し、「生まれること、産むこと」については後任補充予定。
- ・担当科目の見直しのため、松友一雄教授が担当となっていた「言語生活論」を萩中奈穂美准教授担当に変更。
- ・教育効果向上のため教員体制を見直し、「繊維の世界」の担当を入江聡准教授から坂元博昭准教授に変更。
- ・教育効果向上のため教員体制を見直し、「進化する繊維の技術」の担当を末信一朗教授、鈴木悠講師から平田豊章助教に変更。
- ・前田史郎教授の退職により教員を見直し、「生体機能と化学物質」は複数名で担当のため、後任なし。
- ・高橋哲也准教授、後藤綾文特命講師の退職により教員を見直し、「こころの成長」は岡崎玲子講師、林亜希恵特命講師が担当。
- ・教育効果向上のため「アクティブ・ラーニングと生涯学習」について、半原芳子准教授、血原正純准教授が担当。
- ・教育効果向上のため「都市と建築の環境」について、原田陽子准教授が担当。
- ・教育効果向上のため「コンピュータと情報処理」について、大垣内多徳准教授が担当。
- ・岩井善郎理事・副学長の退職により教員を見直し、「ふくいを知る・見る・考える」は複数名で担当のため、後任なし。
- ・COC+事業に伴う地域志向科目の充実のため追加した科目「情報化社会の現在と未来」について、岸俊行教授、大西将史准教授が担当。
- ・教育効果向上のため追加した科目「心理学的支援法」について、廣澤愛子准教授が担当。
- ・教育効果向上のため追加した科目「健康管理と食生活」について、村上亜由美准教授が担当。
- ・教育効果向上のため追加した科目「数学史入門」について、風間寛司准教授が担当。
- ・教育効果向上のため追加した科目「近現代文化昆虫学」について、保科英人准教授が担当。
- ・教育効果向上のため追加した科目「モノから読み解く文化財学」について、山田岳晴講師が担当。
- ・教育効果向上のため追加した科目「日本文学の楽しみ」について、中川智寛講師が担当。
- ・教育効果向上のため追加した科目「対話と直感と共感で学ぶ物理」について、山田吉英准教授が担当。
- ・教育効果向上のため追加した科目「数学的活動」について、口分田政史講師が担当。
- ・教育効果向上のため追加した科目「数と方程式」について、櫻本篤司教授が担当。
- ・教育効果向上のため追加した科目「産業社会の中のセンサ技術」について、石川和彦准教授が担当。
- ・教育効果向上のため教員体制を見直し、「東日本大震災をどう受け止めるか」について、酒井彰久助教が担当。
- ・後任未定であった「発達心理学」、「人間の発達」について、熊谷高幸講師が担当。
- ・教育効果向上のため教員体制を見直し、「医療概論Ⅰ」の担当を寺澤秀一特命教授、木村浩彦教授、横山修教授、吉田好雄教授、長谷川稔教授、谷川明希子特命助教、松峯昭彦教授から平工雄介教授、島田一郎教授、折坂誠講師、小坂浩隆教授、木村秀樹准教授、菊田健一郎教授、稲谷大教授、中井國博准教授、廣野靖夫准教授、松崎秀夫教授、清野泰教授、井階友貴教授に変更。
- ・教育効果向上のため教員体制を見直し、「医療特論Ⅱ」の担当を藤井千代美助教から高村理恵子助教に変更。
- ・担当教員昇任のため、川本義海准教授、小西慶幸准教授、西沢徹准教授、竹本拓治准教授が教授に、岡田敬志講師、鈴木啓悟講師、岡田将人講師が准教授に変更。
- ・隼瀬悠里講師の准教授昇任については、教員審査受審（H31.4）済。
- ・BECCE NICOLANGELO 福井大学退職（H31.3）により教員を見直し、「英作文Ⅰ」、「英作文Ⅱ」、「Academic English Writing I」、「Academic English Writing II」について、専任教員の教員審査受審（H31.4）済。「質的調査法（E）」、「課題探求プロジェクト基礎B」、「課題探求プロジェクトⅠ」、「課題探求プロジェクトⅢB」、「卒業研究」については、専任教員等の配置の助教を1名減。複数名で担当のため、後任なし。
- ・教育効果向上のため担当教員を見直し、「建築史」の担当を高嶋猛講師から山田岳晴講師に変更。
- ・瓦井昇講師就任辞退のため、「地域福祉論」について永井裕子講師が担当。
- ・教育効果向上のため担当教員を見直し、「メディア論」の担当を島岡哉講師から丸山真央講師に変更。
- ・BECCE NICOLANGELO 福井大学退職（H31.3）兼任となり、「アメリカの短編小説」、「アメリカ文学の諸トピックス」、「アジア系アメリカ文学」、「比較文学」の授業を受け持つ。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（A C）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
12 名	6 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
12	9	6	3	30	12	8	6	2	28
(12)	(9)	(6)	(3)	(30)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	教授	准教授	講師	助教	計 (D)
12	9	5	2	28	12	9	5	2	28
[ 0 ]	[ 0 ]	[Δ1]	[Δ1]	[Δ2]	[ 0 ]	[ 0 ]	[Δ1]	[Δ1]	[Δ2]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	3 名	3 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況 (C)}}{\text{設置時の計画 (A)}} = \frac{28}{30} = \boxed{93.33} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況 (B)}} = \frac{3}{28} = \boxed{10.71} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
該当なし									
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	0	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
1	准教授	田村（佐藤）容子	H29.3	選択	中国語の世界3	②	他大学へ転出に伴い、就任辞退（29）						
				選択	中国語の世界4	②							
				選択	中国の文化	②							
				自由	中国語文章表現	②							
				必修	課題探求プロジェクト基礎A	①							
				必修	課題探求プロジェクトI	①							
				必修	課題探求プロジェクトII	①							
				選択	課題探求プロジェクトⅢA	①							
				選択	課題探求プロジェクトⅢB	①							
				選択	課題探求プロジェクトⅢC	①							
				選択	中国文学	②							
				選択	現代中国語講読	①							
				選択	中国文化演習	①							
				必修	卒業研究	①							
2	助教	BECCE NICOLANGELO	H31.3	選択	英作文I	①	他機関へ転出に伴い、就任辞退（元）						
				選択	英作文II	①							
				選択	Academic English Writing I	①							
				選択	Academic English Writing II	①							
				選択	質的調査法（E）	①							
				必修	課題探求プロジェクト基礎B	①							
				必修	課題探求プロジェクトI	①							
				選択	課題探求プロジェクトⅢB	①							
				選択	アメリカの短編小説	②							
				選択	アメリカ文学の諸トピックス	②							
				選択	アジア系アメリカ文学	②							
				選択	比較文学	②							
必修	卒業研究	①											
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)								
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)	③の合計数 (c)					
2	人	必修	5	科目	必修	5	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	18	科目	選択	10	科目	選択	8	科目	選択	0	科目
		自由	1	科目	自由	0	科目	自由	1	科目	自由	0	科目
		計	24	科目	計	15	科目	計	9	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計(D)+(F)			後任補充状況の集計(E)+(G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
2	必修	5	必修	5	必修	0	必修	0
	選択	18	選択	10	選択	8	選択	0
	自由	1	自由	0	自由	1	自由	0
	計	24	計	15	計	9	計	0

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{2}{30} = 6.66\%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
					該当なし			
合計			後任補充状況の集計					
辞任した教員数	担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
人	必修	0	必修		必修		必修	
	選択	0	選択		選択		選択	
	自由	0	自由		自由		自由	
	計	0	計	0	計	0	計	0

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>(大学の所見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 田村(佐藤) 容子退職について</li> </ul> <p>必修科目は、複数名の専任教員が担当のため、後任がなくとも支障はない。選択科目(共通教育科目)は、兼任教員で対応するため支障はない。選択科目(専門教育科目)と自由科目は、非常勤講師として5科目の授業(うち2科目は専任教員との共同授業)を引き続き受け持つため、支障はない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ BECCE NICOLANGELO退職について</li> </ul> <p>必修科目は、複数名の専任教員が担当のため、後任がなくとも支障はない。選択科目(専門教育科目)10科目の内1科目(質的調査法(E))は複数名の専任教員が担当のため、後任がなくとも支障はない。4科目(英作文Ⅰ、英作文Ⅱ、Academic English WritingⅠ、Academic English WritingⅡ)は、専任教員の教員審査を受審済みである。他の5科目のうち1科目は、専任教員との共同授業であり、4科目は、非常勤講師として引き続き受け持つため、支障はない。</p> <p>(学生への周知方法)</p> <p>掲示板及びシラバスで周知している。</p>
--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。



## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (28年)	「専門教育科目」に含まれる「日本語教授法」について、「審査意見への対応を記載した書類」にある期待される4つの教育効果を踏まえ、「教授法」との科目名称が適切な表現と言えるか。科目の概要を踏まえつつ、明確に説明するか、科目名称を再検討すること。	留意事項  4つの教育効果（①日本語に対する新たな発見で、日本文化に対する知識、理解が深化。②自文化との比較から、異文化に対する興味を高め、その知識、理解がさらに深化。③言語に対する視野を広げ、自らの英語学習、第2外国語習得に役立てる。④理解させようとする態度やその技法から、発信力、コミュニケーション能力が高まる。）を踏まえ、科目名称を『日本語教授法』から『コミュニケーションのための日本語教育論』に変更した。(28)	履行済
認 可 時 (28年)	外国語に関する科目として、基礎教育科目に「〇〇語Ⅰ～Ⅳ」、共通教養科目に「教養〇〇語1～4」があるが、両科目の違い及び履修順等の説明はなされているものの、審査意見への対応と「授業科目の概要」に記載されている「講義等の内容」の整合性がとられるよう適切に対応すること。	留意事項  共通教育で開講される「教養ドイツ語1」等の科目は、外国語の運用能力よりも、外国語の学習を通じて異文化に触れ、外国語が使用される文化圏や外国語を通して見た場合の世界観の違い等、多様な価値観に対する理解を深めることを重点とする科目であるため、そのことを表す名称に、【別表1】の通り改めた。(28)	履行済
認 可 時 (28年)	「リサーチ・リテラシー科目」の「リサーチ入門Ⅱ」と「リサーチ方法論」について、「審査意見への対応を記載した書類」への記載内容から、両科目については、使用言語が異なる同一内容の科目が置かれているものと表現されている。履修方法について説明すること。（使用言語の違いはあるものの、同一内容の科目を履修できないように制限を設けることに期待。）	留意事項  使用言語が異なる同一内容の科目は、「リサーチ入門Ⅱ」（英語）と「リサーチ入門Ⅰ」（日本語）、「リサーチ方法論」（英語）と「社会調査法Ⅱ」（日本語）であり、それぞれ何れか1科目のみを選択履修できるものとし、社会調査士の資格取得を目指す学生には「リサーチ入門Ⅰ」及び「社会調査法Ⅱ」を、また、特に資格取得にこだわらず、2年次にグローバルアプローチを選択しようとする学生及び留学生には「リサーチ入門Ⅱ」及び「リサーチ方法論」の履修を、それぞれ指導することとした。 なお、履修指導に関しては、教育課程表にその旨を記載した。 また、上記の対応に合わせて、授業科目の名称、配当年次及び科目配列を【別表2】のとり改めた。(28)	履行済

<p>認可時 (28年)</p>	<p>「現代社会科目(国際)」に配置されている「国際政策」について、講義内容に国際的な観点が多く含まれるよう改めること。また、「教育における社会正義の問題」は、当初配置されていた「多文化理解科目」へ戻すこと。</p>	<p>留意事項</p>	<p>「国際政策」は、元外務省の特命全権大使で、OECDやユネスコでも勤務経験のある専任教員が担当することとし、講義内容に国際的な観点が多く含まれるよう改めた。(28) また、「教育における社会正義の問題」は、当初配置されていた科目区分(多文化理解科目)に改めた。(28)</p>	<p>履行済</p>	
<p>認可時 (28年)</p>	<p>アクティブラーニングにより行われる科目については、事前指導に加え、事後指導も必要と考えられるため、例えば学生間で学びをシェアできるような仕掛けや教育内容を検討の上、導入すること。</p>	<p>留意事項</p>	<p>各プロジェクトに取り組む学生間で、経過発表や意見交換を行う機会を適宜設ける。なお、学年末には下級生も交えた最終報告会を開催するとともに、最終成果報告書を作成して各活動を総括し、経験を共有する。また、下級生の活動の参考に供する。(28)</p>	<p>履行済</p>	
<p>認可時 (28年)</p>	<p>「リサーチ・リテラシー科目」について、各科目区分の体系性は整理されたが、科目名称の統一感が感じられない。社会調査士の資格取得に必要な科目であることや学生から見て、科目内容に誤解が生じないよう、全ての科目をカリキュラムに対応した適切な科目名称に改めること。</p>	<p>留意事項</p>	<p>カリキュラムや社会調査士の資格取得に適切に対応するため、授業科目の名称、配当年次及び科目配列を【別表2】の通り改めた。(28)</p>	<p>履行済</p>	

<p>認可時 (28年)</p>	<p>「福井大学の留学条件」である「GPA2.5」について、留学を必修とする本学部グローバルアプローチにおいても、同様の取扱いとすることで、学部内の成績上位層のみが留学可能となる仕組みになるのではないかと。このことが、結果として、学生の成績に起因するグローバルアプローチと地域創生アプローチの履修上の分化につながることで、留学の運用方法について、再検討すること。</p>	<p>留意事項</p>	<p>本学部では、1年次で徹底した英語教育を行い、海外留学が効果的に行われる基礎的な能力の形成を図った上で、両アプローチとも3年次以降に留学を位置付けている。</p> <p>なお、北米大学、アジア・オセアニア・欧州の主要大学の交換留学生としての入学最低条件はGPA2.5(≧4.0)以上であり、北米大学では、質の保証の観点から、派遣生に対しGPA3.0(≧4.0)以上を求めており、受入生に対してもGPA2.8(≧4.0)あるいは3.0(≧4.0)を求めている大学は少なくない。この流れはアジアの主要大学でも同様である。</p> <p>また、留学先での学習を成功裡に終了するためには、リスク回避の下限がGPA2.5であると考えられる。</p> <p>このように、本学部では全ての学生が海外留学を行うことを想定しており、その最低条件としてGPA2.5(≧4.0)は必要であるとともに、最大18単位/半期というGAP制を導入し、授業時間以外に十分な学習時間を確保することとしていることから、留学申請する前の段階でGPA2.5(≧4.0)を満たすことは、アプローチの違いを超えて到達可能なレベルと考えられる。</p> <p>これらのことから、留学条件である「GPA2.5」によって、学部内の成績上位層のみが留学可能となり、結果として、学生の成績に起因するグローバルアプローチと地域創成アプローチの履修上の分化につながるといふ危惧はない。(28)</p>	<p>履行済</p>	
<p>認可時 (28年)</p>	<p>「留学先大学の教員から指導・アドバイスを得る体制を準備することも発展的な支援体制として検討」とあるが、留学によるメリットを最大限に活かすためにも、留学先における指導体制を実質化することが望ましい。</p>	<p>その他意見</p>	<p>留学先で指導・アドバイスを日常的に受ける指導教員を予め決め、留学期間中においても、メールやスカイプ等の通信手段を用いて指導教員同士が定期的に連絡を取り合い、必要に応じて本学の教員が先方に出向き留学先の指導教員と協議する等の体制を構築する。(28)</p>	<p>履行済</p>	

<p>認可時 (28年)</p>	<p>「国際地域」の名称に含まれる国際問題と地域問題には共通したアプローチが適用可能であることも確かであるが、一方で両者の相違点についても正しく認識させることが学士課程教育においては必要なことと考えられる。教育課程において、その点に留意して教育を進めることが望ましい。</p>	<p>その他意見</p>	<p>本学部の教育課程において、国際問題と地域問題の異同の比較を通して、両者の相違点についても正しく認識させる教育を進める。 (28)</p>	<p>履行済</p>	
<p>認可時 (28年)</p>	<p>「福井とその近隣という地域に止まらない、国内の他の多くの地域に共通する現れでもあり、」とあるが、他の地域と比較する視点についても、「設置の趣旨等を記載した書類」の中で説明することが望ましい。</p>	<p>その他意見</p>	<p>他の地域と比較する視点についての説明を、「設置の趣旨等を記載した書類(10~11頁)」に記述した。(28)</p>	<p>履行済</p>	
<p>認可時 (28年)</p>	<p>意見11への対応の中で、「必要単位数を追加できる柔軟な履修方法を取らせる」とあるが、意図することが分かるよう、記述を工夫すること。</p>	<p>その他意見</p>	<p>学生は2年次開始時点までに、グローバルアプローチ、地域創生アプローチの何れかのアプローチを選択するが、興味関心の深まり等に応じて、その後のアプローチの変更を認める。 なお、アプローチを変更した学生が変更後のアプローチに必要な単位数を取得することに関し、アプローチ別に指定する授業科目群毎の卒業要件単位数の差を変更前のアプローチの卒業要件単位数に単純に加算した場合、グローバルアプローチを地域創生アプローチに変更する場合は81単位+16単位、地域創生アプローチをグローバルアプローチに変更する場合は86単位+11単位が必要となるが、十分に調整可能である。 また、地域創生アプローチからグローバルアプローチに変更した場合において、外国語科目(英語)に関しては、最大5単位の履修が必要となるが、この点については、当該外国語科目の内容に相当する海外留学先の大学の科目を予め確認し、留学先で履修した上で、その科目の成績評価をみて、本学部の相当科目の単位として認定すること等で対応する。 「必要単位数を追加できる柔軟な履修方法」とは、以上のようなことを意図しており、この趣旨を「設置の趣旨等を記載した書類」に加筆した。(28)</p>	<p>履行済</p>	

認可時  (28年)	「医療概論Ⅱ」シラバス中の「講義等の内容」について、同科目の内容が端的に分かるよう、書きぶりを工夫することが望ましい。	その他 意見	シラバスの授業概要を、医学が専門ではない学生にも内容が分かる書き方に修正した。(28)	履行済	
------------------	---	-----------	---	-----	--

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

【別表 1】

(旧)	(新)
教養中国語 1	中国語の世界 1
教養中国語 2	中国語の世界 2
教養中国語 3	中国語の世界 3
教養中国語 4	中国語の世界 4
教養ドイツ語 1	ドイツ語の世界 1
教養ドイツ語 2	ドイツ語の世界 2
教養ドイツ語 3	ドイツ語の世界 3
教養ドイツ語 4	ドイツ語の世界 4
教養フランス語 1	フランス語の世界 1
教養フランス語 2	フランス語の世界 2
教養フランス語 3	フランス語の世界 3
教養フランス語 4	フランス語の世界 4

【別表 2】

(旧)		(新)	
授業科目の名称	配当年次	授業科目の名称	配当年次
リサーチ入門Ⅰ (→リサーチ入門 (J))	1①②	リサーチ入門 (J)	1①②
リサーチ入門Ⅱ (→リサーチ入門 (E))	2③④	リサーチ入門 (E)	1①②
統計入門	1③④	統計入門	1③④
情報技術基礎	1③④	情報技術基礎	1③④
データ分析入門 (→量的データ分析)	2①②	データサイエンスⅠ	2①②
データサイエンスⅠ	2①②	データサイエンスⅡ	2③④
データサイエンスⅡ	2③④	社会調査論	2③④
地域分析 (→地域データ分析)	2③④	地域データ分析	2③④
社会調査法Ⅰ (→社会調査論)	2③④	量的データ分析	3①②
社会調査法Ⅱ (→質的調査法 (J))	3①②	質的調査法 (J)	3①②
リサーチ方法論 (→質的調査法 (E))	2①②	質的調査法 (E)	2③④

注)

- ・同一内容で使用言語が異なる「リサーチ入門Ⅰ」と「リサーチ入門Ⅱ」については、名称を、日本語開講科目であることを示す「リサーチ入門 (J)」と、英語開講科目であることを示す「リサーチ入門 (E)」に改める。
- ・社会調査士資格科目を中心に、「データ分析入門」を「量的データ分析」(授業科目の概要も精査)に、「地域分析」を「地域データ分析」に、「社会調査法Ⅰ」を「社会調査論」にそれぞれ改める。併せて、同一内容で使用言語が異なる「社会調査法Ⅱ」と「リサーチ方法論」については、名称を、日本語開講科目であることを示す「質的調査法 (J)」と、英語開講科目であることを示す「質的調査法 (E)」に改める。
- ・以上の見直しも踏まえ、「リサーチ入門 (E)」、「量的データ分析」及び「質的調査法 (E)」の配当年次をより適切な年次に改める。
- ・「社会調査法Ⅰ・Ⅱ」の科目名を「社会調査論」と「質的調査法」に変更したのは、留意事項6の「社会調査士の資格に必要な科目であることや学生から見て科目内容に誤解が生じないよう」との指摘を受け、見直した結果である。見直しに際しては、資格認定団体の(社)社会調査協会が示す科目認定の基準(確認事項)や他大学で申請許可された科目名称を参照し、一般的でかつ内容を適切に表す名称を選択した。

## 7 その他全般的事項

<国際地域学部 国際地域学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

【全学】福井大学高等教育推進センター FD・教育企画部門会議が主体となって、全学的にFD・SDシンポジウムを開催した。

【学部】福井大学国際地域学部教授会において、総合グローバル領域ファカルティ・ディベロップメント委員会と連携し、必要に応じてFD研修を実施した。

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

○高等教育推進センター FD・教育企画部門会議  
必要に応じて開催(各学部教員、事務職員含め9名)

○国際地域学部教授会  
原則、月に1回開催

○学術研究院教育・人文社会系部門総合グローバル領域ファカルティ・ディベロップメント委員会  
必要に応じて開催

c 委員会の審議事項等

○高等教育推進センター FD・教育企画部門会議

- (1)カリキュラムの調査・分析・検討
- (2)授業内容・方法の改善及び教材開発
- (3)GP等の教育プロジェクト
- (4)e-Learning・ICT利用教育及び双方向遠隔授業
- (5)教育に係る地域連携及び国際連携
- (6)教育に係る評価及び教育評価法の開発
- (7)その他センターが必要と認めた事項

○国際地域学部教授会

- (1)教育課程の編成・実施に関する事項
- (2)教育研究組織の教育研究上の目的及び編成に関する事項(教育に関する事項に限る。)
- (3)自己評価(教育に関する事項に限る。)に関する事項

○学術研究院教育・人文社会系部門総合グローバル領域ファカルティ・ディベロップメント委員会

- (1)FDの企画及び実施に関すること
- (2)FDに関する情報を収集し、本学部教員に提供すること
- (3)FDに関する講演会及び研修会等を企画し、実施すること
- (4)FDの自己点検・評価に関すること
- (5)その他FDに関すること

② 実施状況

a 実施内容

- 高等教育推進センター F D・教育企画部門会議
  - ・第1回F D・教育企画部門会議（平成30年9月25日）
  - ・福井大学F D・S Dシンポジウム（平成31年2月22日）
- 国際地域学部教授会，総合グローバル領域ファカルティ・ディベロップメント委員会
  - ・障害のある学生に対する合理的配慮について（平成30年9月14日）
  - ・研究費不正使用防止について（平成31年2月1日）
  - ・学生対応について（平成31年3月8日）

b 実施方法

- 高等教育推進センター F D・教育企画部門会議  
F D・S Dシンポジウム開催にあたっては，事前に開催日時を周知し，TV会議システムにより他キャンパスにも配信するなど，可能な限り多くの教員が参加できるようにしている。
- 国際地域学部教授会  
原則，毎月第2金曜日に定例開催（8月は除く）する。その他，学部長が必要と認めたとき，又は，教授会構成員から要請があったとき臨時に開催する。
- 学術研究院教育・人文社会系部門総合グローバル領域ファカルティ・ディベロップメント委員会  
F D委員会が企画した研修については，事前に日程調整を行い，最も参加者の多い日時で開催する。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- 高等教育推進センター F D・教育企画部門会議（福井大学F D・S Dシンポジウム）
  - ・平成30年 9月25日 9名参加（第1回F D・教育企画部門会議）
  - ・平成31年 2月22日 77名参加（福井大学F D・S Dシンポジウム）
- 国際地域学部教授会，総合グローバル領域ファカルティ・ディベロップメント委員会
  - ・平成30年 9月14日 17名参加
  - ・平成31年 2月 1日 20名参加
  - ・平成31年 3月 8日 20名参加

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

実施結果を踏まえて，次年度以降の授業改善等に役立てている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

学期末（平成30年7月～8月，平成31年1月～2月）に実施した。

b 教員や学生への公開状況、方法等

担当教員に対し評価結果を文書で通知した。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）



(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況（各区分を踏ま

該当なし

委員の追加や交代状況含む)

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

##### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

平成28年度に開設し順調に進んでいる。引き続き、設置の趣旨・目的に沿って教育・研究活動を計画通り実施していきたい。

##### ② 自己点検・評価報告書

###### a 公表（予定）時期

・令和5年3月公表予定

###### b 公表方法

・自己点検・評価報告書を作成し、大学ホームページ上に公開予定

##### ③ 認証評価を受ける計画

・令和4年度に評価機関の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (5) 情報公表に関する事項

##### ○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 (  有 ・  無 )

b 公表有の場合の公表（予定）時期 ( 令和元年 7月 1日 )

b 公表無の場合の特段の理由 ( )

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

## 福井大学高等教育推進センターの部門に関する要項

平成 21 年 9 月 15 日

学 長 裁 定

(目的)

第 1 条 この要項は、福井大学高等教育推進センター規程（平成 21 年福大規程第 45 号）第 7 条第 2 項の規定に基づき、福井大学高等教育推進センター（以下「センター」という。）の各部門について、必要な事項を定めるとともに、同第 4 条第 6 項の規定に基づく兼任の事務職員について、必要な事項を定める。

第 2 条 削除

(FD・教育企画部門)

第 3 条 FD・教育企画部門においては、教育内容・方法の充実及び教育評価に係る課題に取り組み、次の各号について、全学的な方策等の企画立案・提言を行い、又は実施する。

- (1) カリキュラムの調査・分析・検討
- (2) 授業内容・方法の改善及び教材開発
- (3) GP等の教育プロジェクト
- (4) e-Learning・ICT利用教育及び双方向遠隔授業
- (5) 教育に係る地域連携及び国際連携
- (6) 教育に係る評価及び教育評価法の開発
- (7) その他センターが必要と認めた事項

(学生支援部門)

第 4 条 学生支援部門においては、学生支援の在り方について総合的に検討し、次の各号について、全学的な方策等の企画立案・提言を行う。

- (1) 修学支援
- (2) 心身の健康の保持増進支援
- (3) 就職支援及びキャリア教育
- (4) 留学生支援
- (5) 修学環境の改善
- (6) その他センターが必要と認めた事項

(COC教育部門)

第 5 条 COC教育部門においては、文部科学省「地（知）の拠点整備事業」プログラム（以下「COC事業」という。）の推進も含め、地域志向の教育活動の推進について検討し、次の各号について、全学的な方策等の企画立案・提言を行う。

- (1) 地域を志向した人材育成及び地域の課題解決の視点を踏まえたカリキュラム
- (2) その他センターが必要と認めた事項

(各部門の構成)

第6条 次の各号に掲げる部門に、それぞれ必要な教員及び兼任の事務職員を置く。

(1) 削除

(2) FD・教育企画部門

イ センターの専任教員

ロ 各学部（研究科）教員 各1名（ハ又はニの委員の兼務可）

ハ 文京地区共通教育委員会委員 1名

ニ 松岡地区共通教育委員会委員 1名

ホ 学務部教務課長

ヘ 学務部松岡キャンパス学務室長

ト その他センター長が必要と認めた者

(3) 学生支援部門

イ 各学部（研究科）教員 各1名

ロ 国際センター教員 1名

ハ 保健管理センター教員 1名

ニ 学務部教務課長

ホ 学務部学生サービス課長

ヘ 学務部国際課長

ト 学務部学術情報課長

チ 学務部キャリア支援室長

リ 学務部松岡キャンパス学務室長

(4) COC教育部門

イ 各学部（研究科）地域志向教育研究推進のコア教員 若干名

ロ 学務部教務課長

ハ 学務部松岡キャンパス学務室長

ニ その他センター長が必要と認めた者

2 各部門に、当該部門の業務を管理する部門長を置く。

3 部門長は、部門員の中からセンター長が指名する。

(庶務)

第7条 部門の庶務は、FD・教育企画部門及びCOC教育部門にあつては学務部教務課、学生支援部門にあつては学務部学生サービス課において処理する。

附 則

この要項は、平成21年9月15日から施行する。

附 則（平成22年4月23日改正）

この要項は、平成22年4月23日から施行し、改正後の規定は、平成22年4月1日から適用する。

附 則（平成 23 年 2 月 23 日改正）

この要項は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 25 年 2 月 20 日改正）

この要項は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 25 年 6 月 28 日改正）

この要項は、平成 25 年 7 月 1 日から施行する。

附 則（平成 25 年 11 月 13 日改正）

この要項は、平成 25 年 11 月 13 日から施行する。

附 則（平成 28 年 3 月 11 日改正）

この要項は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

## 福井大学国際地域学部教授会規程

平成 28 年 4 月 1 日

福大国規程第 2 号

(趣旨)

第 1 条 この規程は、福井大学教授会規則（平成 27 年規則第 3 号、以下「教授会規則」という。）第 10 条の規定に基づき、福井大学国際地域学部（以下「本学部」という。）に置く教授会（以下「教授会」という。）の議事及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(組織)

第 2 条 教授会は、国際地域学部長（以下「学部長」という。）、本学部の専任教員及び特別教授をもって構成する。

2 教授会には、学長の了承を得て、本学部以外の教員を加えることができる。

(任務)

第 3 条 教授会は、学長が次に掲げる教育研究に関する事項（本学部に関する事項に限る。）について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

- (1) 学生の入学、卒業及び課程の修了に関する事項
- (2) 学位の授与に関する事項
- (3) 教育課程の編成・実施に関する事項
- (4) 学生の表彰に関する事項
- (5) 学生の懲戒に関する事項
- (6) 教育研究組織の教育研究上の目的及び編成に関する事項（教育に関する事項に限る。）

2 教授会は、学長がつかさどる教育研究に関する次の事項について審議し、及び学長の求めに応じ、意見を述べることができる。

- (1) 自己評価（教育に関する事項に限る。）に関する事項
- (2) その他教育研究に関する事項で、教授会の意見を聴いて学長が定める事項

3 教授会は、学部長がつかさどる次の事項について審議し、及び学部長の求めに応じ、意見を述べることができる。

- (1) 学部の教育に係わる要請に関する事項
- (2) 学部長適任候補者の推薦に関する事項
- (3) その他学部長が定める事項

(会議の主宰及び議長)

第 4 条 学部長は、教授会を主宰し、その議長となる。

2 議長に事故あるときは、構成員の中からあらかじめ議長が指名した教授が、その職務を代理する。

(会議)

第5条 教授会は定例教授会及び臨時教授会とする。

2 定例教授会は、原則として月1回招集する。

3 臨時教授会は、学部長が必要と認めたとき、又は教授会の構成員（学部長を除く。）の3分の1以上の者から議題を付し、文書で要請があったとき招集する。

（会議の成立等）

第6条 教授会は、当該教授会の構成員である教授の2分の1以上が出席し、かつ、構成員の過半数の出席がなければ議事を開き、議決することができない。ただし、次の各号に掲げる者は、定足数から除くものとする。

(1) 外国出張中の者又は海外研修中の者

(2) 1か月以上の病気休暇中の者

(3) 休職中の者

(4) 育児休業中の者

(5) 介護休業中の者

2 教授会の議事は、出席した構成員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長がこれを決する。

（構成員以外の出席）

第7条 議長は、必要があると認めたときは、教授会規則第9条に基づき、教授会の議を経て構成員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

（議事及び運営等）

第8条 この規程に定めるもののほか、教授会の議事及び運営等については、教授会が定める。

（事務）

第9条 教授会に関する事務は、総務部国際地域学部運営管理課において処理する。

（規程の改廃等）

第10条 この規程の改廃については、構成員の3分の2以上の出席により、出席者の3分の2以上の賛成を必要とする。

2 教授会がこの規定の改廃、第3条第3項に規定する事項について定めたときは、学長に報告しなければならない。

附 則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

附 則 （平成30年3月22日福大規程第40号）

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

附 則 （平成31年3月30日福大規程第67号）

この規程は、平成31年4月1日から施行する。

福井大学学術研究院教育・人文社会系部門総合グローバル領域  
ファカルティ・ディベロップメント委員会要項

平成 28 年 4 月 1 日  
教育・人文社会系部門長裁定

(設置)

第 1 総合グローバル領域（以下「本領域」という。）に、福井大学学術研究院教育・人文社会系部門総合グローバル領域ファカルティ・ディベロップメント委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(目的)

第 2 委員会は、次に掲げる事項を審議し、その実施に当たる。

- (1) ファカルティ・ディベロップメント（以下「FD」という。）の企画及び実施に関すること
- (2) FDに関する情報を収集し、本学部教員に提供すること
- (3) FDに関する講演会及び研修会等を企画し、実施すること
- (4) FDの自己点検・評価に関すること
- (5) その他FDに関すること

(組織)

第 3 委員会は、領域長が指名する本領域に所属する教員をもって組織する。

(任期)

第 4 委員の任期は1年とし、再任を妨げない。

- 2 委員に欠員が生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第 5 委員会に委員長を置き、第 3 の委員の中から領域長が指名する。

- 2 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名した委員がその職務を代行する。

(会議)

第 6 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

(委員以外の者の出席)

第 7 委員会が必要と認めるときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(庶務)

第 8 委員会の庶務は、学務部教務課において処理する。

附 則

この要項は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。